

# 令和6年度第2回佐賀市立図書館協議会

令和7年3月21日(金) 14:30~15:30

佐賀市立図書館2階 多目的ホール

## 会 次 第

1. 館長挨拶

2. 協議会

(1) 会長挨拶

(2) 議事

① 前回協議会報告

② 令和7年度佐賀市立図書館事業計画について

# 佐賀市立図書館協議会委員名簿

(任 期) 令和5年12月1日～令和7年11月30日

| No. | 種 別 |      | 氏 名                | 備 考              |
|-----|-----|------|--------------------|------------------|
| 1   | 会長  | 推薦   | しらね けいこ<br>白根 恵子   | 佐賀女子短期大学 名誉教授    |
| 2   | 委員  | 推薦   | いえなが ひろゆき<br>家永 裕行 | 佐賀市立城西中学校 校長     |
| 3   | 委員  | 推薦   | あらき けん<br>荒木 健     | 佐賀市 PTA 協議会 会長   |
| 4   | 委員  | 推薦   | おおつか あつこ<br>大塚 敦子  | 図書館を友とする会・さが 世話人 |
| 5   | 委員  | 推薦   | はらだ たかひろ<br>原田 隆博  | 佐賀新聞社 生活文化部 デスク  |
| 6   | 委員  | 一般公募 | うめざき よしたか<br>梅崎 義高 |                  |
| 7   | 委員  | 一般公募 | たかはら ようこ<br>高原 陽子  |                  |
| 8   | 委員  | 一般公募 | いのうえ あきよ<br>井上 章代  |                  |
| 9   | 委員  | 一般公募 | ふくだ えみこ<br>福田 重満子  |                  |
| 10  | 委員  | 一般公募 | ほりかわ ちあき<br>堀川 千晶  |                  |

# 図書館協議会関係法令

## 『図書館法』(抄)

(図書館協議会)

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会(特定図書館に置く図書館協議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長)が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

## 『佐賀市立図書館条例』(抄)

(図書館協議会)

第9条 法第14条の規定に基づき、図書館に佐賀市立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、15人以内の委員をもって組織する。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、及び学識経験のある者並びに公募した者の中から、教育委員会が任命する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

## 『佐賀市立図書館条例施行規則』(抄)

(図書館協議会)

第16条 条例第9条に規定する佐賀市立図書館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。(平12教委規則7・旧第15条繰下)

(会議)

第17条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。(平12教委規則7・旧第16条繰下)

(庶務)

第18条 協議会の庶務は、図書館において処理する。(平12教委規則7・旧第17条繰下)

# 議事①: 前回協議会報告

## 1. 議事録

別添のとおり

## 2. 対応を行った案件

### (1) 外国語の利用案内について(総務企画係)

#### 【指摘内容】

- ・外国語の利用案内について、これからまた言語を増やしていくことは非常によいことだと思います。この利用案内について、図書館以外の場所にはどのようなところに置いているか。外国籍の方がよく集まれるようなところにも置くと良いのではないかと。
- ・大学などに海外からの留学生が入っていると思う。外国語の図書館利用案内について、大学にも送付しているか。沢山は置けないと思うが、何部か置いていただいたら良いのではないかと。

#### 【対応状況】

- ・国際課、佐賀県国際交流プラザ、佐賀大学、西九州大学、西九州短期大学部に加えて、佐賀女子短期大学へ日本語と外国語の利用案内(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語)の設置依頼を行った。

### (2) 館内案内の多言語/やさしい日本語対応について(総務企画係)

#### 【指摘内容】

- ・外国の方が困らないように図書館利用案内を新しくして頂いているようだが、館内の掲示について利用者からの声があったので紹介させていただく。漢字の熟語が多く理解しづらいため、簡単な言葉に置き換えて欲しいとの声だった。また、トイレについて英語案内がないので手を入れていただけたら良いと思う。
- ・使い方まで多言語で表記するとなると大変かなと思う。場所だけなら絵などで表示できると思う。

#### 【対応状況】

- ・トイレの緊急呼出ボタンについて、流水ボタンと誤認されて押されることが多いため、「水を流す(Flush)」ボタンと「緊急呼び出しボタン(Emergency Call Button)」について、ふりがなと英語表記を行った。
- ・児童コーナーの表示において、漢字熟語などわかりにくいものについては、やさしい日本語へ表現を変えてひらがな表記とした。

## 議事①: 前回協議会報告

### (3) わかりやすい案内表示について(総務企画係・サービス二係)

#### 【指摘内容】

- ・小学校1年生の子どもが図書館で折り紙の本を探す際に、まず自分で探してみて、わからなければ図書館の人に聞くように伝えた。結局自分では見つけられず、どの人に尋ねてよいか分からなかったということだった。大人の意見としては、カウンターにいる人やエプロンをしている人に尋ねればよいと勝手に思っていたが、子どもからしたらみんな大人で、どの人に聞いたらよいかわからないのだと感じた。これは、障がいのある方や日本語を母国語としない方などにも共通する意見なのかもしれない。
- ・誰に聞いたらよいのか、という案内はとても大切だと思う。困ったときは誰に聞けばよいのか、やさしい日本語で案内があればよいのではないかと思った。

#### 【対応状況】

- ・子どもに職員がわかるように、「聞きたいことがあるときは青いエプロンのひとにきいてね」という表示のイラスト入りポスターを児童カウンター前面に掲示した。また、児童カウンターに掲示している「こども相談カウンター」の案内をわかりやすい内容に変更した。
- ・天井から下げている表示「児童郷土」「SF・推理小説」などが漢字で書かれているので、にフリガナをつけたり、わかりやすい日本語の表示を作成したりする予定である。

## 3. 継続対応中の案件

### (1) 障がい者向けサービスについて(サービス一係)

#### 【指摘内容】

- ・宅配サービスの周知強化を行って欲しい。

#### 【対応状況】

- ・現在は、サービス内容について図書館のホームページや市報において周知している。また、市が作成し、障がい者の方へ配布している冊子「障がい者福祉サービスのご案内」の中でも「図書等の宅配郵送サービスについて」案内を行っている。
- ・今後もサービスが必要な方へ情報が届くよう工夫しながら周知を図っていきたい。

### (2) 利用者等へのインタビュー調査について(総務企画係・サービス一係・サービス二係)

#### 【指摘内容】

- ・利用者から意見を聞き取りするためにインタビュー調査を行ってはどうか。また、市内に多くの外国籍の方がいるが、その方たちの希望を聞き取りする取り組みを行ってはどうか。

#### 【対応状況】

- ・読書バリアフリーに関する計画を策定したり、外国籍の方へのサービスを再検討したりするにあたり、個別に当事者の方々に意見を伺う場が必要だと考えている。

## 議事①: 前回協議会報告

### (3) シンポジウムの開催について(総務企画係)

#### 【指摘内容】

- ・「図書館を語る会」のようなシンポジウムを開き、色々な立場の人から図書館に対する思いや利用の仕方などを語ってもらうような機会をつくっても良いのではないか。

#### 【対応状況】

- ・ボランティアの皆様や市民の皆様と図書館について語り合う意見交換会等の開催も検討していきたい。

## 4. 大規模改修に関する意見

### ① 展示スペースについて

- ・2階で展示を行ったが、わざわざ2階まで上がって展示に来てくれる方が少なかった。1階で展示ができると、通るついでに見てくれる人もいると思う。有料でもいいので1階や閲覧室内などに展示ができるスペースがあればいいと感じた。何か1階に皆さんの作品など展示できるスペースが少しでもあれば嬉しい。
- ・1階のスペースでそういった展示があると、2階の本展示にも興味を持つ人が出てくるかもしれない。

### ② ボランティアについて

- ・地域に根差した図書館ということであれば、もっとボランティアの活用に積極的であってほしい。
- ・今度の大規模改修の際も、ボランティアの活動をもっと広げるように考えていくとよいと思う。そういう目で見えていくと凄く面白い図書館になるのではないかと思う。

### ③ 子どもの利用について

- ・小中学生にこそ本に出会って、親しんで欲しいと感じるが、ゲームに夢中の子供が多い世の中であり、ゲームは音が出る=図書館とは相容れない存在となっている。ゲームはAIに情報が操作されて、自分の趣味・指向に向けたものしか入ってこないが、図書館は思いがけない情報や本を手にしたたり、出会ったりできるきっかけとなり得る存在である。「子供の成長に役立つ図書館」に向けて、ゲームを好む子供でも来館しやすい、ハードルの低い環境づくりをお願いしたい。
- ・DVや児童虐待について、特に子どもは携帯も持たず、助けを求めにくいケースが多いことから、図書館に警察、民生委員、スクールカウンセラー等のプロ市民が定期的に来てもらうようにして、その来館日時を表示するような仕組み作りが出来ないだろうか。

## 議事①: 前回協議会報告

### 【その他 施設・設備に関する要望】

- ・2階書架へのアクセス、授乳室、トイレの洋式化等。
- ・安全性や緊急性を要する部分については、大規模改修を待たず早急に対応していただきたい。
- ・今の一階の照明について、黄緑っぽい色をしている。もし普通の色にできるならそうして欲しい。
- ・バスケットボール用のゴールを一基公園に設置するなどしても良いのではないかと感じた。公園で運動して疲れたら本を読みに来るなど出来るのではないかと感じた。

### 【その他 ソフト面に関する要望】

- ・大規模改修について非常に期待している。図書館について力を入れている自治体も沢山あるので、モデルになる図書館も多いと思う。今の図書館の良いところも沢山あるので、あまり奇抜な方向に走らずに検討して頂ければと思う。
- ・「多様な人々が集う図書館」として、本と人が出会うだけでなく、人と人が出会う場所になって欲しいと思う。
- ・これからの世の中高齢化が進むし、高齢者にとって図書館はサードプレイスというよりセカンドプレイスという意味合いが強いとも感じている。子どもに対する施策も大事だが、こちらの施策も検討していただけたらと思う。
- ・行きたい図書館にするためには、楽しくないと駄目だと思う。その楽しさというのは、職員の皆さんが自分の楽しさを前面に出せている場所が、楽しい図書館なのだと思う。佐賀市立図書館は、子どものスペースはすごく楽しいと思う。色々工夫されていて、子どもも楽しく利用している。しかし、郷土コーナーや郷土の作家コーナーなど、大人のスペースは少し寂しく感じる。そこには図書館職員顔などは全然出ていないような気がする。
- ・全ての仕事を同時に同じだけ進める必要はないと思う。皆で話し合い、遅れてもよい仕事、仕訳してよい事業などを整理して、楽しさが出てくるような図書館にしてもらおうとよいと思う。
- ・大規模改修の建築士は既に決まっているか。テレビを見ていて、佐賀県出身の建築士で非常に感銘を受けた方がいた。図書館のリニューアルを行った際に、建築士がおはなしボランティアの要望を聞く場を設けたりされていた。そういう機会が今回のリニューアルでもあれば参加したい。

## 令和7年度

# 佐賀市立図書館事業計画

### 【第3次佐賀市立図書館サービス計画の成果指標】

・佐賀市立図書館のサービス(分館等含む)が充実していると思う市民の割合

| 令和4年度実績 | 令和5年度実績 | 令和6年度目標値 | 令和7年度目標値 |
|---------|---------|----------|----------|
| 65.2%   | 62.6%   | 67.1%    | 68.0%    |

・佐賀市立図書館のサービスに満足している利用者の割合

| 令和4年度実績 | 令和5年度実績 | 令和6年度目標値 | 令和7年度目標値 |
|---------|---------|----------|----------|
| 87.10%  | 87.40%  | 85.0%    | 85.0%    |

### 【令和7年度の重点事業】

◎電子図書館システム運用管理事業

【総務企画係】

◎本館大規模改修事業(令和6～7年度:基本設計・実施設計)

【総務企画係】

○学習成果を発表するための取組

【サービス二係】

○図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組

【サービス二係】

○高齢者が健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることの検討

【サービス一係】

○業務継続性の向上や危機管理に関する取組

【総務企画係】

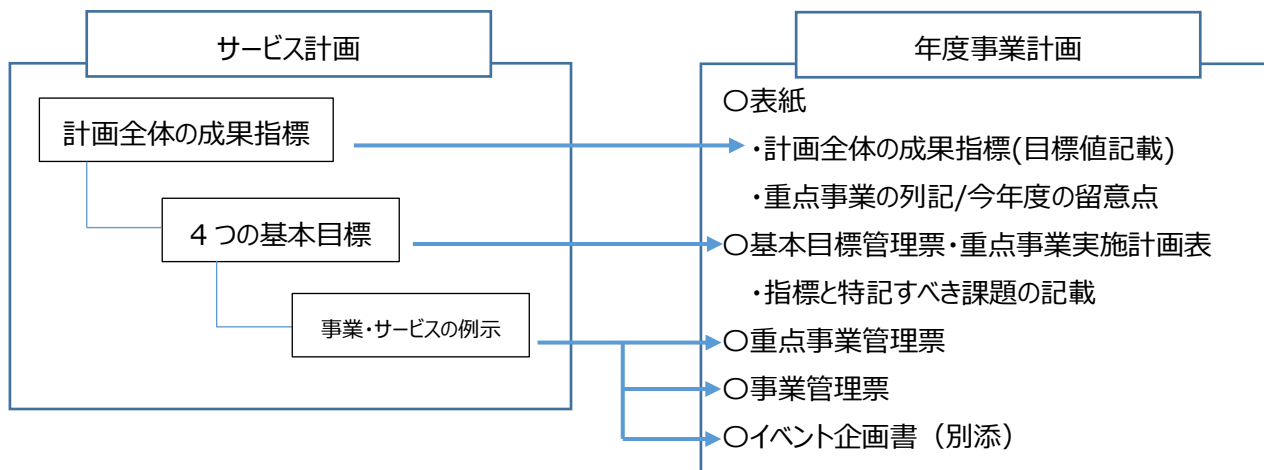
### 【令和7年度の事業実施にかかる留意点】

○「電子図書館システム運用管理事業」は、商用電子書籍は紙の書籍に比べて高額、かつ利用期限があるものが多いため、補助金の活用や、寄附による資料の充実を目指す。また、郷土関連資料や行政資料の登録に継続的に取り組むとともに、紙ベースの行政資料等の電子書籍化を進める体制づくりを検討する。

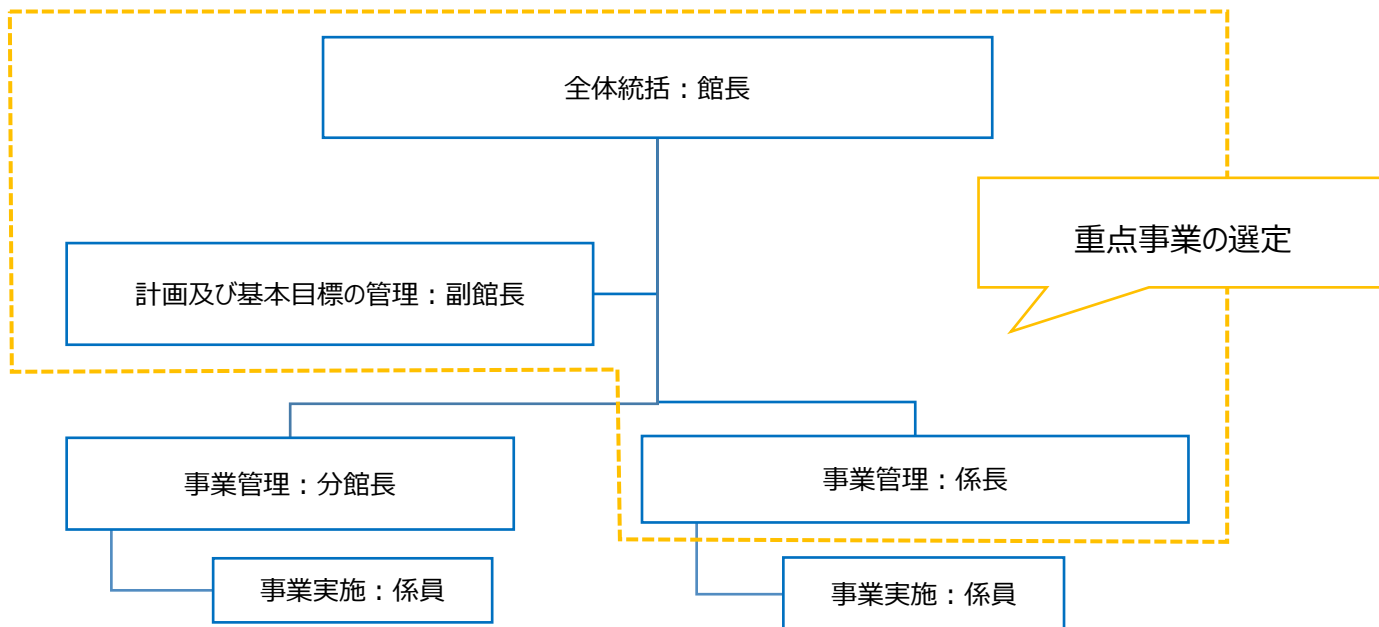
○「本館大規模改修事業」は、基本構想・基本計画に基づく施設内外の配置や機能性の向上など、建物整備に関する基本設計に取り組むとともに、業務内容やサービス供給など、管理運営面についての検討も行う。

# 年度事業計画の構成及び推進体制について

## 1. 計画の構成



## 2. 推進体制



| 基本目標                     |  |          |          |         |         |         |         |         |                  |
|--------------------------|--|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|------------------|
| 1. 個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館 |  |          |          |         |         |         |         |         |                  |
| 目標概要                     | 市内全域への基本的な図書館サービスの提供によって、個人や地域における読書活動や生涯学習、課題解決に貢献します。また、市民の知的好奇心を刺激することで、市民の生きがいづくりや図書館利用に繋がっていきます。  |          |          |         |         |         |         |         |                  |
| 施策の方向性                   | 方向性①：市内全域で図書館の資料を利用できるようにします。<br>方向性②：くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。<br>方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。<br>方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。   |          |          |         |         |         |         |         |                  |
| 成果指標                     | 指標   | (R1年度実績) | (R2年度実績) | R3年度実績  | R4年度実績  | R5年度実績  | R6年度目標  | R7年度目標  | 調査方法             |
|                          | 市民の図書館利用登録率  | 37.4%    | 37.2%    | 37.6%   | 38.0%   | 38.3%   | 41.0%   | 42.1%   | 市内在住者の個人登録数÷住基人口 |
|                          | 貸出サービスを利用した市民の数  | 26,251人  | 22,140人  | 23,146人 | 22,839人 | 22,432人 | 26,787人 | 28,000人 | 図書館業務統計          |
|                          | 市民一人あたりの貸出点数   | 6.97点    | 6.41点    | 6.92点   | 6.57点   | 6.22点   | 6.99%   | 7.00点   | 総貸出点数÷住基人口       |
| その他指標                    | 仕事や学校以外で、何らかの知識や技術を身につけるための取組をしている市民の割合  | 27.9%    | 30.0%    | 27.6%   | 26.6%   | 29.3%   | -       | -       | 市民意向調査           |
| 特記すべき課題と対応方針             | <p>(1) 図書館の新規利用者を増やすため、未利用者をターゲットにした企画や広報のあり方を検討する必要がある。<b>【総務企画係・各分館】</b><br/>                     広報に関しては、普段からメディアの特性を考慮したうえで、市民や利用者との良好な関係性の構築を念頭に置いた情報発信を行う必要がある。<b>【総務企画係・各分館】</b><br/>                     →現在開設しているSNSを充実させたり、20代30代の新規利用者を増やすためのイベント等の企画を工夫する。同時に、対象や目的の明確化と対象となる市民への確に情報を届けるための広報手段等、広報のあり方について再検討する。(令和3年度重点事業)</p> <p>(2) 市民が生涯学習などの学習成果を発表する機会を提供するための取組を検討する必要がある。<b>【総務企画係】</b><br/>                     →市民が学習成果を発表する場として、館内施設であるギャラリーや多目的ホール等、図書館機能の再検討を行う。(令和6～7年度重点事業)</p> <p>(3) 利用が減少している視聴覚資料やマンガ資料の収集方針について再検討する必要がある。<b>【サービス係(分室)・各分館】</b><br/>                     →出版状況や現在の収集状況、貸出状況の現状を分析し、収集方針について分館・分室も含め再度検討する。(令和6年度重点事業)</p> <p>(4) ビジネス支援や郷土資料分野について、佐賀県立図書館や専門機関、関連部署との連携を念頭に置いて今後のサービスのあり方を検討する必要がある。<b>【サービス係】</b><br/>                     →佐賀県立図書館のサービス状況や関連部署の現状を把握し、必要な情報をより効果的に提供できるように検討する。(令和5年度重点事業)</p> |          |          |         |         |         |         |         |                  |
|                          | <p>[令和4年度追加]<br/>                     (5) 利用者用無線LANAP増設事業 <b>【総務企画係】</b><br/>                     →本館2Fの多目的ホール・大集会室・学習室での公衆無線LANの利用ができるよう、無線LANアクセスポイントを増設する。(令和4年度重点事業)</p>   |          |          |         |         |         |         |         |                  |

| 基本目標         |  | 2. 子どもの成長に役立つ図書館 |          |        |        |        |        |        |                               |
|--------------|--|------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------------------|
| 目標概要         | <p>子どもが生涯にわたって読書に親しみ、様々な資料や情報を利用して自ら学ぶ力を養うための取組を行います。<br/>また、小中学校や幼稚園・保育園・認定こども園や、読み語りボランティア活動を行う団体など、子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。</p>   |                  |          |        |        |        |        |        |                               |
| 施策の方向性       | <p>方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。<br/>方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。<br/>方向性③：子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。</p>  |                  |          |        |        |        |        |        |                               |
| 成果指標         | 指標   | (R1年度実績)         | (R2年度実績) | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度実績 | R6年度目標 | R7年度目標 | 調査方法                          |
|              | 佐賀市立図書館のサービス(分館等含む)が充実していると思う市立小中学校の保護者の割合   | 75.6%            | 72.8%    | 78.0%  | 83.1%  | 77.7%  | 79.5%  | 80.0%  | 市民満足度調査(教育政策)                 |
|              | 佐賀市立図書館の児童コーナー利用者の満足度  | 95.5%            | 97.3%    | 95.3%  | 94.8%  | 94.9%  | 97.7%  | 98.0%  | 図書館利用者アンケート(全館)               |
|              | 0歳～18歳の市民の利用登録率  | 37.6%            | 36.0%    | 35.3%  | 34.3%  | 33.7%  | 42.6%  | 45.0%  | 市内在住者の個人登録数÷住民人口              |
|              | 0歳～18歳の市民一人あたりの貸出点数  | 7.92点            | 7.12点    | 8.35点  | 7.83点  | 7.41点  | 8.39点  | 8.40点  | 0-18歳の市内在住者への総貸出点数÷住民人口       |
| その他指標        | 子どもに本を読んでもらっている家庭の割合   | 90.9%            | 92.6%    | 93.6%  | 93.2%  | 93.0%  | -      | -      | 「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載(健康づくり読書) |
|              | 学校の授業時間以外に読書をする小学生の割合  | 84.0%            | 77.6%    | 80.4%  | 74.3%  | 77.8%  | -      | -      | 「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載(学校教育読書)  |
|              | 学校の授業時間以外に読書をする中学生の割合  | 68.5%            | 60.6%    | 69.5%  | 67.9%  | 67.9%  | -      | -      | 「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載(学校教育読書)  |
| 特記すべき課題と対応方針 | <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、お話し会やイベントを再開する必要がある。【サービスマニエール・各分館】<br/>         → 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、できる方法や時期等を検討し、実施する側も安心して参加できる対策が可能なものから再開する。 ※3.(5)に含む。<br/>         (例) ・本館での図書館職員によるお話し会(毎週木曜日実施)を大集会室で令和2年12月から再開<br/>         ・読み語りボランティア養成講座はリモートによる講座とし令和3年1月に実施<br/>         ・図書館たんけん隊を通常の参加人数で令和2年12月に実施</p> <p>(2) 「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載した子ども読書講座について、市立小中学校の学校図書館と連携しながら実施する必要がある。【サービスマニエール】<br/>         → 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、その時々に行える方法で学校図書館との意見交換や情報共有を行い、令和2年度に試行的に実施する子ども読書体験講座の状況もふまえて、小中学校図書館でも活躍できる「子ども読書」を養成する子ども読書講座を実施する。(令和3～4年度重点事業)</p> <p>(3) 子どもの利用登録率や貸出点数を増加させるための取組を実施する必要がある。【サービスマニエール・各分館】<br/>         → より多くの人に図書館や利用カードについて紹介する方法や、継続して本を借りたくなるような取組を検討する。(令和6年度重点事業)</p> <p>(4) 学校図書館との情報交換の機会を設けるとともに、団体貸出に留まらない支援のあり方を検討する必要がある。【サービスマニエール】<br/>         → 調べ学習講座や子ども読書講座、郷土資料の情報提供等において、情報交換を行いながら連携できる方法を考えていく。(令和5～6年度重点事業)</p> <p>(5) 佐賀市立図書館と接点がない保護者に対して、子ども読書や図書館利用に興味を持ってもらう取組が必要である。【サービスマニエール・総務企画係】<br/>         → 図書館と接点がない保護者に対しては、学校や幼稚園等と連携しながら図書館を紹介することで、新たな利用を図っていく。また、今までと違う角度からの広報戦略も検討していく。<br/>         (令和6～7年度重点事業)</p> <p>(6) 子どもを対象とした郷土の歴史や文化などに関する取組の検討を行う必要がある。【サービスマニエール】<br/>         → 本館・分館・分室に所蔵する郷土資料をテーマ別にリストアップし、それをもとにテーマを決めて子どもを対象としたパスファインダーを作成し紹介する。(令和3～4年度重点事業)</p> |                  |          |        |        |        |        |        |                               |

| 基本目標         |   |          |          |        |        |        |        |        |  |
|--------------|---|----------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| 基本目標         | <b>3. 多様な人々が集う図書館</b>   |          |          |        |        |        |        |        |  |
| 目標概要         | 市民のサーブドブレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。また、多様な考え方や生き方に応える資料を提供するとともに、日本語を母国語としない人や、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人でも気軽に利用できる図書館づくりを行います。  |          |          |        |        |        |        |        |  |
| 施策の方向性       | 方向性①：市民のサーブドブレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。<br>方向性②：日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。   |          |          |        |        |        |        |        |  |
| 成果指標         | 指標  | (R1年度実績) | (R2年度実績) | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度実績 | R6年度実績 | R7年度実績 | 調査方法   |
|              | 佐賀市立図書館の居心地への満足度  | 94.3%    | 94.2%    | 95.7%  | 91.0%  | 95.5%  | 95.9%  | 96.0%  | 図書館利用者アンケート(本館分)<br>※「未回答・分からない・利用しない」を母数から除く。 |
| その他指標        |   |          |          |        |        |        |        |        |  |
| 特記すべき課題と対応方針 | <p>(1) 日本語を母国語としない人が図書館を利用できるよう、外国語での図書館サービス案内作成や多言語の表示を追加する必要がある。【総務企画係】<br/>→市内在住者の母国語の傾向について国際課や学校教育課等の意見を聞きながら、外国語の利用案内の作成や館内表示を追加していく。(令和3～5年度重点事業)</p> <p>(2) 市内在住者の母国語の傾向や日常の情報行動を調査し、今後の外国語資料のあり方を検討する必要がある。【サービス二係】<br/>→日本語を母国語としない人の実態を把握し、日本語を母国語とする人への提供も含め、外国語資料について検討する。(令和6年度重点事業)</p> <p>(3) 令和元年6月に読書バリアフリー法が施行されたことに伴い、佐賀県立点字図書館などの関連団体・関連部署と連携しながら、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を再検討する必要がある。【サービス一係】<br/>→県内の状況を把握し、対応方針を検討する。(令和4年度重点事業)<br/>→本館大規模改修を踏まえ障害者等がより円滑に利用できるようサービスのあり方を再検討する。(令和5～6年度重点事業)</p> <p>(4) 高齢者が健康で生きがいを持って生活するために、図書館ができることを検討する必要がある。【サービス一係】<br/>→高齢者の余暇の充実や活動の場の提供等、サービスのあり方を検討する。(令和6～7年度重点事業)</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「新しい生活様式」にあわせた図書館のあり方を検討する必要がある。【総務企画係】<br/>→現在行っている新型コロナウイルス感染拡大防止対策は、佐賀市の対策本部の行動指針に基づいているものであることから、それを踏まえううえで、より市民に安全安心な図書館利用を行ってもらえるよう「新しい生活様式」にあわせた図書館の運営と施設管理を行っていく。<br/>同時にフェーズに合わせた図書館の体制の中で可能なサービスについて再検討する。(令和3～4年度重点事業)</p> |          |          |        |        |        |        |        |  |
|              | <p>[令和4年度追加]<br/>(6) 電子図書館システム試験導入事業 【総務企画係】<br/>→図書館利用に障がいがある市民へのサービスの拡充と、郷土関連資料(郷土資料、行政資料、市民の学習成果等)のアーカイブ及び利用促進を目的として電子図書館システムの試験導入を行う。(令和4～7年度重点事業)</p>  |          |          |        |        |        |        |        |  |

| 基本目標              |  |          |          |        |        |        |        |        |        |                      |
|-------------------|--|----------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------------|
| 4. 市民と共に変革を進める図書館 |  |          |          |        |        |        |        |        |        |                      |
| 目標概要              | 市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。また、限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。  |          |          |        |        |        |        |        |        |                      |
| 施策の方向性            | 方向性①：限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。<br>方向性②：市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。   |          |          |        |        |        |        |        |        |                      |
| 成果指標              | 指標   | (R1年度実績) | (R2年度実績) | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度実績 | R6年度実績 | R7年度実績 | R7年度目標 | 調査方法                 |
|                   | 各年度の事業計画の目標達成率   | -        | -        | 44.2%  | 43.7%  | 47.0%  | 90.0%  | 90.0%  | 90.0%  | 各年度の事業計画で設定した目標値の達成率 |
|                   | 図書館ボランティアの満足度  | -        | 72.7%    | 87.5%  | 73.5%  | 86.6%  | 77.8%  | 80.0%  | 80.0%  | 図書館ボランティアへのアンケート調査   |
| その他指標             |  |          |          |        |        |        |        |        |        |                      |
| 特記すべき課題と対応方針      | <p>(1) 長期的な視点で施設の利用形態を考慮した改修を実施するため、施設整備計画(令和4～8年度)を策定する必要がある。<b>【総務企画係】</b><br/>         大規模改修の計画にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点などを踏まえて、図書館の空間デザインを再検討する必要がある。<b>【総務企画係】</b><br/>         →施設整備計画の策定 (令和3年度重点事業) / 本館施設の一部改修 (令和4年度重点事業) / 大規模改修基本構想・基本計画を策定 (令和5年度重点事業)<br/>         →【スケジュール見直し】令和6年度中に基本構想・基本計画を策定、令和6～7年度に基本設計・実施設計を実施、令和8年度以降に整備工事を行う。</p> <p>(2) 令和5年1月に現行電算システムのリース期間が満了することから、更新に向けて機能等の検討を行う必要がある。<b>【総務企画係】</b><br/>         →令和3年6月までに方針を作成し佐賀市CIO審査に諮る。電子書籍・RPAの導入検討についても、電算システム更新にあわせて実施する。<br/>         また、令和3年度中にプロポーザル実施要領、システム要件定義書を作成する。(令和3年度重点事業)<br/>         →CIO審査の結果、業務システムやホームページ(図書館情報ネットワークシステムの更新は1年延伸となった。<br/>         →(2-1) 図書館情報ネットワークシステム更新 (令和4～5年度重点事業) / ①-⑤) 利用者用無線LANAP増設事業 (令和4年度重点事業) /<br/>         ③-(6) 電子図書館システム試験導入事業 (令和4～7年度重点事業)</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、ボランティアの活動機会を確保するための取組を行う必要がある。<b>【サービス係・サービスマニ】</b><br/>         →新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、実施方法や時期等を検討し、実施側と参加側双方が安心して参加できる対策を協議しながら行い、再開する。 ※3. (5)に含む。</p> <p>(4) 大規模災害発生時や感染症蔓延時に、できるだけ安全かつ早急に図書館サービスを再開できるよう、業務継続性の向上や危機管理に関する取組を行う必要がある。<b>【総務企画係】</b><br/>         →災害時の対応や感染症対策について、市の防災行動計画や対策本部の行動指針を踏まえつつ、非常時に備えて、非常時に備えながら行い、再開する。 ※3. (5)に含む。</p> <p>(5) 限られた人員や予算のなかで図書館サービスを効率的に提供するため、業務効率化や外部資金の活用について検討する必要がある。<b>【総務企画係】</b><br/>         →厳しい財政状況の中で、職員及び会計年度任用職員(司書の人数も余裕のない状況で図書館運営を行っているため、司書の業務の効率化を図ることはもとより、雑誌スポンサー制度以外の新たな収入源や外部団体等の活用、協働事業等、有効な手段について検討していく。(令和5～6年度重点事業)<br/>         →令和3年度は、電算更新にあわせてRPAの導入検討を行う。→有効な導入事例がないためRPAは導入見送り。R5年度に自動貸出機の増設と配置見直しを実施</p> <p>(6) 先進図書館の事例や有識者による講演会・講座への参加を行うことで、将来のサービスのあり方を検討しつづける必要がある。<b>【総務企画係】</b><br/>         →職員及び会計年度任用職員に対しその資質向上のための先進図書館の事例を学ぶよう働きかけるとともに、職員研修等でも意識向上の啓蒙等に努める。<br/>         また限られた予算を有効に活用しながら司書を講演会に参加させたり、有識者を招き研修会を開催するなど、将来の図書館のあり方を検討していく。(令和5～6年度重点事業)</p> |          |          |        |        |        |        |        |        |                      |

## 重点事業実施計画表(令和3年度～7年度)

| 基本目標                    |                                   | 課題                              |  |  |                             |       |
|-------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|--|--|-----------------------------|-------|
|                         |                                   | 令和3年度                           | 令和4年度  | 令和5年度                                    | 令和6年度                       | 令和7年度 |
| 1.個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館 | 未利用者をターゲットにした広報のあり方検討             | 利用者用無線LANAP増設事業                 | ビジネス支援・郷土資料分野についてのサービスのあり方検討                                       | 学習成果を発表する機会を提供するための取組                    | ↑                           |       |
|                         | おはなし会やイベントの再開(コロナ関連)              |                                 |  | 視聴覚資料・マンガ資料の収集方針検討                       |                             |       |
|                         | 郷土に関する資料等の情報を小中学校への提供             | ↑                               | ↑  | 子どもの利用登録率や貸出点数を増加させるための取組                | ↑                           |       |
| 2.子どもの成長に役立つ図書館         | 小中学校図書館と連携した子ども司書講座の開催            | ↑                               | ↑  | 学校図書館との情報交換や支援のあり方検討                     | ↑                           |       |
|                         | 「新しい生活様式」にあわせた図書館のあり方検討(コロナ関連)    | ↑                               | ↑  | 高年齢者が健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることの検討      | ↑                           |       |
| 3.多様な人々が集う図書館           | 外国語での図書館サービス案内作成や多言語の表示を追加        | ↑                               | ↑  | 今後の外国語資料のあり方検討                           | ↑                           |       |
|                         |                                   | 電子図書館システム試験導入事業(構築)             | 電子図書館システム試験導入事業(運用・効果検証)   | 電子図書館システム運用管理事業                          | ↑                           |       |
| 4.市民と共に変革を進める図書館        | 読書が困難な人々に対するサービスに関する県内の状況調査       | 読書が困難な人々に対するサービスに関する県内の状況調査     | 障がいにより読書が困難な人々に対するサービスのあり方再検討                                      | ↑  | ↑                           |       |
|                         | 施設整備計画(令和4～8年度)の策定                | ・本館の一部改修<br>・大規模改修実施計画策定        | ・本館の一部改修<br>・大規模改修事業<br>(R5:基本構想・基本計画策定)                           | 大規模改修事業<br>(R6:基本構想・基本計画、R6～7:基本設計・実施設計) | 大規模改修事業<br>(R6～7:基本設計・実施設計) |       |
|                         | 電算システム更新に向けて機能等の検討(電子書籍・RPAの導入検討) | 図書館情報ネットワークシステム更新事業(R4:要件定義等作成) | 図書館情報ネットワークシステム更新事業(R5:システム更新)                                     | 業務継続性の向上や危機管理に関する取組                      | ↑                           |       |
|                         | ボランティアの活動機会を確保するための取組(コロナ関連)      |                                 | 業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討<br>講演会等へ参加し職員への資質向上や将来のサービスのあり方検討 | ↑  | ↑                           |       |

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

|              |  |          |       |         |                           |               |
|--------------|--|----------|-------|---------|---------------------------|---------------|
| 事業名          | 学習成果を発表するための取組                                     |          |       |         |                           |               |
| 事業年度         | 令和7年度(単年度)   | 令和7年度事業費 | 115千円 | 担当係・担当者 | 総務企画係<br>サービス一係<br>サービス二係 | 豊福<br>淵<br>宮地 |
| 関連する基本目標/方向性 | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館 方向性④: 市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。 |          |       |         |                           |               |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 事業概要<br>(目的・内容) | <p>図書館の役割として、市民の生涯学習のための資料や情報の提供や各種講座等のイベントの開催だけでなく、それらも含め、市民が学んだ学習の成果を発表する機会を提供することも重要であるとする。</p> <p>現在、多目的ホールやギャラリー等の館内施設の貸し出しについては、団体に限定して貸し出しを行っているため、個人単位での学習の成果を発表できる機会の提供はできていない。</p> <p>そこで、より多くの市民に学習の成果を発表できる機会を提供するために、図書館主催による個人の作品を集めた展示会等の開催などを検討する。この他に、現在行っている以下の事業についても引き続き継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○電子図書館での「調べる学習コンクール優秀作品」の登録による提供</li> <li>○図書館主催による「対面朗読ボランティア初級養成講座」および「読み語り講座」の開催</li> <li>○「花ボランティア」による館内の花による飾り付けについて、図書館公式Instagramでの発信</li> <li>○図書館の施設を利用し編集されている詩誌「立夏」、「扉」の受け入れによる図書館資料としての提供</li> </ul> |
|-----------------|---|

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館の大規模改修を踏まえて多目的ホールやギャラリー等の2階施設やその他のスペースの整備について、またそれに合わせた運用方法について検討していく必要がある。</li> <li>○団体による活動について、チラシ・ポスターの設置依頼で来館される団体に図書館施設の利用についての情報提供や、普段、図書館施設を利用して活動されている団体に学習の成果の発表することについての提案も必要であるとする。</li> <li>○図書館で作品等を公募する際は、「図書館の資料を参考に作った作品」などのテーマを設定し、図書館資料の紹介から利用にまで繋げる展示内容とするなどの工夫をすることも必要であるとする。</li> </ul> |
|-----------------------------|--|

| 内容                            |      | 上半期 |   |   |   |   | 下半期 |    |    |    |   | 進捗 | 詳細 |   |   |
|-------------------------------|------|-----|---|---|---|---|-----|----|----|----|---|----|----|---|---|
|                               |      | 4   | 5 | 6 | 7 | 8 | 9   | 10 | 11 | 12 | 1 |    |    | 2 | 3 |
| 市民が学習成果を発表するイベント等の検討          | 年間計画 | *   | * | * | * | * | *   | *  | *  | *  | * | *  | *  |   |   |
|                               | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
| 電子図書館へ「調べる学習作品コンクール優秀作品」の資料登録 | 年間計画 |     |   |   |   |   |     |    | *  | *  |   |    |    |   |   |
|                               | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
| 対面朗読ボランティア初級養成講座の開催           | 年間計画 |     |   |   | * |   |     | *  | *  |    |   |    |    |   |   |
|                               | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
| 対面朗読ボランティアによる対面朗読の実施          | 年間計画 | *   | * | * | * | * | *   | *  | *  | *  | * | *  | *  |   |   |
|                               | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
| 読み語り講座の開催                     | 年間計画 |     |   |   |   |   |     |    | *  | *  |   |    |    |   |   |
|                               | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
| 図書音楽フェスの開催                    | 年間計画 |     |   |   |   |   |     |    | *  | *  |   |    |    |   |   |
|                               | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
| 花ボランティアによる館内等の花による飾り付け        | 年間計画 | *   | * | * | * | * | *   | *  | *  | *  | * | *  | *  |   |   |
|                               | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                               | 年間計画 |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                               | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |

| 成果 | 成果指標もしくは成果品       | R5年度実績 | R6年度実績 | R7年度中間実績 | R7年度目標値 | 調査方法                           |
|----|-------------------|--------|--------|----------|---------|--------------------------------|
|    | 対面朗読ボランティアの新規登録者数 | 16人    | 18人    |          | 20人     | 対面朗読ボランティア初級養成講座受講者のボランティア登録者数 |
|    | 読み語り講座受講者数 * 延べ人数 | 34人    | 58人    |          |         | 読み語り講座の受講者数 * 延べ人数             |
|    | 図書館音楽フェスへの参加者数    | -      | 3組     |          | 10組     | 市民の学習成果を発表するイベントへの参加者数         |
|    |                   |        |        |          |         |                                |
|    |                   |        |        |          |         |                                |

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

|                                    |  |                                    |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|------------------------------------|--|------------------------------------|----------------------------------|----------|---------|------|---|---|----|----|----|----|----|---|---|
| <b>事業名</b>                         |  | <b>図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組</b> |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
| 事業年度                               | 令和7年度(単年度)   | 令和7年度事業費                           | 0千円                              | 担当係・担当者  | サービス二係  | 原口   |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
| 関連する基本目標/方向性                       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |                                    | 方向性①:子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。 |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
| <b>事業概要<br/>(目的・内容)</b>            | <p>乳幼児を含む子ども達を楽しめる資料やイベント等があることを知ってもらい、図書館に足を運んでもらうために、保護者である子育て世代に図書館の情報を広く届くようにする。</p> <p>①「佐賀市公式LINE」を利用した子育て世代への情報配信<br/>         ・定例おはなし会の情報発信<br/>         館内チラシ・ポスター・ホームページと県立図書館経由の「ワイヤーママ」だけでなく、「佐賀市公式LINE」で情報配信をする。<br/>         ・新着「赤ちゃん絵本」の案内<br/>         4か月に一度程度、新たに受け入れた赤ちゃん絵本等の紹介をするとともに、利用登録等についても案内する。</p> <p>②赤ちゃん絵本ガイドブックの配布<br/>         図書館各館で配布するとともに、健康づくり課が行っている乳児家庭全戸訪問の際に配布する。</p> |                                    |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
| <b>本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など</b> | <p>・現在のおはなし会の案内は、館内チラシ・ポスター・ホームページと県立図書館経由の「ワイヤーママ」のみである。図書館にある程度関心がある人しか知ることができないので、「佐賀市公式LINE」で子育て世代への情報配信をする。</p>   |                                    |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
| <b>事業内容</b>                        |  |                                    | 上半期                              |          |         | 下半期  |   |   | 進捗 | 詳細 |    |    |    |   |   |
|                                    |  |                                    | 4                                | 5        | 6       | 7    | 8 | 9 |    |    | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 |
|                                    | 定例おはなし会の案内   | 年間計画                               | *                                | *        | *       | *    | * | * | *  | *  | *  | *  | *  | * | * |
|                                    |  | 実績                                 |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    | 新着「赤ちゃん絵本」の紹介  | 年間計画                               |                                  |          | *       |      |   |   |    | *  |    |    | *  |   |   |
|                                    |  | 実績                                 |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    | 赤ちゃん絵本ガイドブックの配布  | 年間計画                               | *                                | *        | *       | *    | * | * | *  | *  | *  | *  | *  | * | * |
|                                    |  | 実績                                 |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    |  | 年間計画                               |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    |  | 実績                                 |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    |  | 年間計画                               |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    |  | 実績                                 |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    |  | 年間計画                               |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    |  | 実績                                 |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    | 年間計画   |                                    |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    | 実績   |                                    |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
| <b>成果</b>                          | 成果指標もしくは成果品  | R5年度実績                             | R6年度実績                           | R7年度中間実績 | R7年度目標値 | 調査方法 |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    | 定例おはなし会の参加者  | 1,624                              | 1348※                            |          | 1,800   |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    | 23歳～39歳(子育て世代)の登録者数(市内在住)  | 17,373                             | 17168※                           |          | 17,600  |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    |  |                                    | ※R6.12.31現在                      |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    |  |                                    |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |
|                                    |  |                                    |                                  |          |         |      |   |   |    |    |    |    |    |   |   |

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

|              |   |          |   |         |       |    |
|--------------|---|----------|---|---------|-------|----|
| <b>事業名</b>   | <b>高齢者が健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることの検討</b> |          |   |         |       |    |
| 事業年度         | 令和7年度(単年度)                                | 令和7年度事業費 | 0千円   | 担当係・担当者 | サービス係 | 内山 |
| 関連する基本目標/方向性 | ③多様な人々が集う図書館                              |          | 方向性②:日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。 |         |       |    |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <b>事業概要<br/>(目的・内容)</b> | 高齢社会において、高齢者とその家族や関係者等が、高齢者が健康で生きがいを持って生活するための情報を得る場として、図書館が果たす役割は重要だと考えられる。<br>健康維持や生きがいづくり、介護や認知症サポートなど、高齢者等に提供できる情報について検討する。<br>情報を提供する方法について検討し、可能なものについて実施する。 |
|-------------------------|--|

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <b>本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など</b> | 高齢者に向けた情報のほか、家族や関係者等、高齢者を支える人も視野に入れて、提供する情報を検討する。 |
|------------------------------------|---|

| 内容                 |      | 上半期 |   |   |   |   | 下半期 |    |    |    |   | 進捗 | 詳細 |   |   |
|--------------------|------|-----|---|---|---|---|-----|----|----|----|---|----|----|---|---|
|                    |      | 4   | 5 | 6 | 7 | 8 | 9   | 10 | 11 | 12 | 1 |    |    | 2 | 3 |
| 他の公共図書館等での実例等の調査   | 年間計画 | *   | * | * | * |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
| 調査等の内容を参考に具体案の検討   | 年間計画 |     |   | * | * | * | *   |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
| 検討した案から展示等可能なものを実施 | 年間計画 |     |   |   |   | * | *   | *  | *  |    |   |    |    |   |   |
|                    | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 年間計画 |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 年間計画 |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 年間計画 |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 年間計画 |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |
|                    | 実績   |     |   |   |   |   |     |    |    |    |   |    |    |   |   |

|           |                 |        |        |          |         |      |
|-----------|-----------------|--------|--------|----------|---------|------|
| <b>成果</b> | 成果指標もしくは成果品     | R5年度実績 | R6年度実績 | R7年度中間実績 | R7年度目標値 | 調査方法 |
|           | テーマ展示等情報発信の実施回数 | -      | -      |          | 1回      |      |
|           |                 |        |        |          |         |      |
|           |                 |        |        |          |         |      |
|           |                 |        |        |          |         |      |

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

|              |   |          |                          |         |       |     |
|--------------|---|----------|--------------------------|---------|-------|-----|
| 事業名          | 電子図書館システム運用管理事業   |          |                          |         |       |     |
| 事業年度         | 令和4年度～令和7年度   | 令和7年度事業費 | 4,551千円<br>(本運用含む・予算要求額) | 担当係・担当者 | 総務企画係 | 矢ヶ部 |
| 関連する基本目標/方向性 | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館/②子どもの成長に役立つ図書館/③多様な人々が集う図書館<br>①-2: 大らかしいこと、趣味・地域の課題解決に貢献します。②-1: 子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。/③-2: 日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。 |          |                          |         |       |     |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 事業概要<br>(目的・内容) | <p>・「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの試験導入を行う。特に子ども(小学生～高校生)向けの資料を中心に提供を行う。</p> <p><b>【スケジュール】</b><br/>システムの調達及び構築: 令和4年度<br/>試験運用期間: 令和5年6月～令和7年5月<br/>本運用: 令和7年6月～</p> <p><b>【予算額】</b> R7年度予算要求額: 4,551,000円(税込) ※うち一般財源: 1,140,000円<br/>◎内訳 サービス利用料: 660,000円(月額税込55,000円) 商用電子書籍使用料: 3,890,994円</p> |
|-----------------|--|

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <p>・本運用開始(R7.6.1)までに、運用要綱を改めて定める必要がある。</p> <p>・商用電子書籍は紙の書籍に比べて2～3倍高額かつ利用期限があるものが多い。「地域生活支援促進事業(国1/2、県1/4)」を活用するとともに、他の財源の調査や寄附による購入によって資料の充実を図っていく。</p> <p>・商用電子書籍とは別に、郷土関連資料(子どもの学習に役立つ郷土資料・行政資料・市民や子どもの学習成果)の登録を継続して実施していく。また、大規模改修中・大規模改修後に図書館内部で行政資料等の電子書籍化を進める体制づくりを検討する。</p> |
|-----------------------------|--|

| 内容                             |      | 上半期 |   |     |     |     | 下半期 |     |     |     |     | 進捗  | 詳細  |   |  |
|--------------------------------|------|-----|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|--|
|                                |      | 4   | 5 | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 1   |     |     | 2 | 3  |
| サービスの運用                        | 年間計画 | *   | * | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) |   |  |
|                                | 実績   |     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |  |
| 利用者データ登録・更新作業<br>・学校利用者及び一般利用者 | 年間計画 | *   | * | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) |   | 一般分はサービス1係と連携して作業を行う。<br>【学校】随時分: 学校教育課から連絡があった場合に随時作業。<br>3月: 新小学校1年生分のデータ登録<br>4月: 卒業生(中学3年生)分のデータ削除<br>【一般】毎週水曜日及び毎月最終木曜日 |
|                                | 実績   |     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |  |
| 商用電子書籍の選書・発注                   | 年間計画 | *   | * | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) |   | サービス2係児童担当が選書を行う。  |
|                                | 実績   |     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |  |
| 独自資料(郷土関連資料)登録                 | 年間計画 | *   | * | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) |   | サービス2係レファレンスサービス担当と連携して登録作業を行う。  |
|                                | 実績   |     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |  |
| 利用統計データの取得                     | 年間計画 | *   | * | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) |   |  |
|                                | 実績   |     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |  |
| 本運用に向けた要綱作成                    | 年間計画 | *   | * |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   | R7年5月までに、電子図書館の運営に関する要綱を作成する。  |
|                                | 実績   |     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |  |
| 利用促進に関する取組<br>(学校への活用事例展開等)    | 年間計画 | *   | * | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) |   | ・学校図書館の研修会への参加<br>・各学校の教職員向け研修への参加等を検討   |
|                                | 実績   |     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |  |
| 独自資料の充実に向けた取り組み                | 年間計画 |     |   | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) |   | リフロー型での郷土関連資料の整備について、大規模改修中・改修後の体制の検討を行う。  |
|                                | 実績   |     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |  |
| 商用電子書籍の充実に向けた財源の調査等            | 年間計画 | *   | * | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) | (*) |   |  |
|                                | 実績   |     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |  |

| 成果 | 成果指標もしくは成果品 | R5年度実績      | R6年度実績             | R7年度中間実績           | R7年度目標値               | 調査方法                     |
|----|-------------|-------------|--------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------|
|    |             | 商用電子書籍の閲覧回数 | 7,126回             | 8,450回<br>※12/24時点 |                       | 18,000回<br>(1,500回×12ヶ月) |
|    | 郷土関連資料の閲覧回数 | 3,873回      | 3,903回<br>※12/24時点 |                    | 4,800回<br>(400回×12ヶ月) | 統計データの取得                 |
|    | 本運用に向けた要綱作成 | -           | -                  |                    | R7.5未までの要綱施行          |                          |
|    |             |             |                    |                    |                       |                          |

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

|              |                             |          |   |         |       |       |
|--------------|-----------------------------|----------|---|---------|-------|-------|
| 事業名          | 大規模改修事業(R7年度:基本設計策定・実施設計着手) |          |   |         |       |       |
| 事業年度         | 令和5年度～令和7年度                 | 令和7年度事業費 | 75,128千円(債務負担行為分)                               | 担当係・担当者 | 総務企画係 | 増本・若松 |
| 関連する基本目標/方向性 | ④市民と共に変革を進める図書館             |          | 方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。 |         |       |       |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 事業概要<br>(目的・内容) | <p>図書館本館の建築物や設備の劣化等による不具合を解消するために、全体的な改修を行う。<br/>あわせて、バリアフリー化やデジタル化による利便性の向上や、滞在できる居場所づくりに向けたレイアウトの見直しなど、これからの図書館に求められる施設機能向上のための改修にも取り組み、「SAGA LIBRARY PARK」を体現する。</p> <p>【事業スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和7年10月以降 ～ 令和8年度中を予定</li> <li>○実施設計完了次第 ～ 令和10年度中を予定</li> <li>○実施設計完了次第 ～ 令和10年度中を予定</li> <li>○令和10年度中を予定</li> </ul> <p style="text-align: right;">実施設計業務<br/>基本設計・実施設計<br/>整備工事<br/>完成及び開館</p> |
|-----------------|--|

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施内容の早急な議論(劣化、老朽化等による補修、機器類の更新は最優先)</li> <li>○工事の方針の早急な決定が必要(休館期間、図書資料の仮移転先、代替サービス)</li> <li>○リニューアル後の運営体制の検討が必要(自動車図書館、分館のあり方、開館時間等)</li> <li>※現職員体制での事務の見直しレベルではなく、抜本的な検討を要す</li> <li>○人件費高騰、物価高騰に伴い、工事実施時には費用が大きく上振れする恐れあり(市村記念体育館、アサヒビール鳥栖工場等)</li> <li>○資材調達の都合、人材不足、労働基準法改正(働き方改革)の影響等による工期延伸の恐れあり</li> </ul> |
|-----------------------------|---|

| 内容              |      | 上半期 |   |   |   | 下半期 |   |    |    | 進捗 | 詳細 |    |   |   |   |                                 |
|-----------------|------|-----|---|---|---|-----|---|----|----|----|----|----|---|---|---|---------------------------------|
|                 |      | 4   | 5 | 6 | 7 | 8   | 9 | 10 | 11 |    |    | 12 | 1 | 2 | 3 |                                 |
| 基本設計事務          | 年間計画 | *   | * | * | * | *   | * |    |    |    |    |    |   |   |   | 建築住宅課と連携しながら事務を実施               |
|                 | 実績   |     |   |   |   |     |   |    |    |    |    |    |   |   |   |                                 |
| 実施設計予算事務        | 年間計画 |     |   |   | * | *   | * |    |    |    |    |    |   |   |   | 建築住宅課と連携しながら事務を実施               |
|                 | 実績   |     |   |   |   |     |   |    |    |    |    |    |   |   |   |                                 |
| 実施設計契約事務        | 年間計画 |     |   |   |   |     |   | *  | *  | *  |    |    |   |   |   | 建築住宅課と連携しながら事務を実施               |
|                 | 実績   |     |   |   |   |     |   |    |    |    |    |    |   |   |   |                                 |
| 実施設計事務          | 年間計画 |     |   |   |   |     |   |    |    |    | *  | *  | * |   |   | 建築住宅課と連携しながら事務を実施               |
|                 | 実績   |     |   |   |   |     |   |    |    |    |    |    |   |   |   |                                 |
| リニューアル後の運営体制の検討 | 年間計画 | *   | * | * | * | *   | * | *  | *  | *  | *  | *  | * | * | * | 有識者との意見交換、情報収集<br>サウンディング調査等の反映 |
|                 | 実績   |     |   |   |   |     |   |    |    |    |    |    |   |   |   |                                 |
| 仮移転先調整事務        | 年間計画 | *   | * | * | * | *   | * | *  | *  | *  | *  | *  | * | * | * | 関係部局・機関と連携しながら事務を実施             |
|                 | 実績   |     |   |   |   |     |   |    |    |    |    |    |   |   |   |                                 |
|                 | 年間計画 |     |   |   |   |     |   |    |    |    |    |    |   |   |   |                                 |
|                 | 実績   |     |   |   |   |     |   |    |    |    |    |    |   |   |   |                                 |

| 成果 | 成果指標もしくは成果品     | R5年度実績  | R6年度実績           | R7年度中間実績           | R7年度目標値 | 調査方法    |
|----|-----------------|---------|------------------|--------------------|---------|---------|
|    |                 | 基本設計の完成 | —                | 委託業者の選定<br>基本設計に着手 |         | 基本設計の完成 |
|    | 実施設計の着手         | —       | —                |                    | 委託業者の選定 | —       |
|    | リニューアル後の運営体制の決定 | —       | サウンディング<br>調査の実施 |                    | 方針の決定   | —       |
|    |                 |         |                  |                    |         |         |
|    |                 |         |                  |                    |         |         |

令和7年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

|                                    |  |                            |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|------------------------------------|--|----------------------------|---|----------------|----------|-----------|------|------------|----|----|-----------|-----------|----|---|---|
| <b>事業名</b>                         |  | <b>業務継続性の向上や危機管理に関する取組</b> |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
| <b>事業年度</b>                        | 令和5年度～令和7年度  | <b>令和7年度事業費</b>            | 445千円   | <b>担当係・担当者</b> | 総務企画係    | <b>若松</b> |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
| <b>関連する基本目標/方向性</b>                | ④市民と共に変革を進める図書館  |                            | 方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。 |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
| <b>事業概要<br/>(目的・内容)</b>            | サービスの継続性を高め、災害時や大規模改修時の変化に対応できるように、図書館本館の設備のDXを検討する。<br><b>【事業スケジュール】</b><br>(R6年度) 電話設備DXの計画検討<br>(R9年度以降リニューアルに合わせて) 電話設備のDX実施 |                            |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
| <b>本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など</b> | ○大規模改修事業(リニューアル)の時期・内容に影響を受ける。<br>○大規模改修の工事に入る前に実施するため、事前の予算化が必要。<br>○先進事例や新サービスの情報収集が必要。  |                            |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
| <b>事業内容</b>                        | <b>内容</b>  |                            | <b>上半期</b>                                      |                |          |           |      | <b>下半期</b> |    |    | <b>進捗</b> | <b>詳細</b> |    |   |   |
|                                    |  |                            | 4   | 5              | 6        | 7         | 8    | 9          | 10 | 11 |           |           | 12 | 1 | 2   |
|                                    | 電話設備DX   | 年間計画                       | *   | *              | *        | *         | *    | *          | *  | *  | *         | *         | *  | * | <ul style="list-style-type: none"> <li>電話自動応答の実施</li> <li>主装置のクラウド化の検討</li> <li>電話自動送信の検討</li> <li>内線スマートフォン化の検討</li> </ul> |
|                                    |  | 実績                         |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 年間計画                       |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 実績                         |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 年間計画                       |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 実績                         |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 年間計画                       |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 実績                         |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 年間計画                       |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 実績                         |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 年間計画                       |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 実績                         |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 年間計画                       |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  | 実績                         |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
| <b>成果</b>                          | 成果指標もしくは成果品  |                            | R5年度実績  | R6年度実績         | R7年度中間実績 | R7年度目標値   | 調査方法 |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    | 電話設備DX計画策定   |                            | -   | 電話自動応答の実施      |          | 計画策定      |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  |                            |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  |                            |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  |                            |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |
|                                    |  |                            |   |                |          |           |      |            |    |    |           |           |    |   |   |

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 基本目標                        | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 方向性                         | ①市内全域で図書館の資料が利用できるようにします   |
| サービス計画に記載した具体例              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○分館・分室の運営と自動車図書館の運行</li> <li>○資料の貸出/返却/予約サービスの提供</li> <li>○団体貸出サービスの提供</li> <li>○WebOPAC/館内OPACの提供</li> </ul>           |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の蔓延期(令和2～4年度)に大きく落ち込んだ貸出点数は、令和5年度も低い状況にある。</li> <li>・ただし、来館者数は回復傾向にあるため、貸し出しに繋げる仕掛けづくりを講じていきたい。</li> </ul> |

サービス・事業

|      | 内容                     | サービス・事業の概要                  | 種別<br>企画書 | 指標(実績)   | R7目標値  | R7実績 | 担当係(館)<br>担当者 |
|------|------------------------|-----------------------------|-----------|--|--|------|---------------|
| 事業内容 | 大和館の運営<br>及び貸出サービスの提供  | 主に大和町の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。  | 通年サービス    | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 大和町の利用登録率 (38.4%/R5年度末)</li> <li>② 大和町の人口当たり貸出点数 (5.7点/R5年度)</li> <li>③ 大和館の貸出点数 (152,471点/R5年度)</li> <li>④ 大和館の利用満足度 (87.3%/R6年5月調査)</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 42.1%(+3.7%)</li> <li>② 7.0点(+1.3点)</li> <li>③ 171,482点(+19,011点)</li> <li>④ 86.7%(R4同等)</li> </ul> |      | 大和館<br>宮崎     |
|      | 諸富館の運営<br>及び貸出サービスの提供  | 主に諸富町の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。  | 通年サービス    | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 諸富町の人口当たり貸出点数 (3.9点/R5年度)</li> <li>② 諸富館の貸出点数 (51,591点/R5年度)</li> <li>③ 諸富館の利用満足度 (81.6%/R6年5月調査)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 35.8%(+3.1%)</li> <li>② 5.1点(+1.2点)</li> <li>③ 58,024点(+6,433点)</li> <li>④ 89.5%(R4同等)</li> </ul>   |      | 諸富館<br>大塚     |
|      | 東与賀館の運営<br>及び貸出サービスの提供 | 主に東与賀町の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。 | 通年サービス    | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 東与賀町の利用登録率 (41.8%/R5年度末)</li> <li>② 東与賀町の人口当たり貸出点数 (4.2点/R5年度)</li> <li>③ 東与賀館の貸出点数 (45,258点/R5年度)</li> <li>④ 東与賀館の利用満足度 (91.7%/R6年5月調査)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 45.8%(+4.0%)</li> <li>② 5.5点(+1.2点)</li> <li>③ 50,901点(+5,643点)</li> <li>④ 85.0%(+6.4%)</li> </ul>  |      | 東与賀館<br>江頭    |
|      | 富士館の運営<br>及び貸出サービスの提供  | 主に富士町の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。  | 通年サービス    | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 富士町の利用登録率 (36.9%/R5年度末)</li> <li>② 富士町の人口当たり貸出点数 (4.7点/R5年度)</li> <li>③ 富士館の貸出点数 (16,579点/R5年度)</li> <li>④ 富士館の利用満足度 (91.4%/R6年5月調査)</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 40.5%(3.5%)</li> <li>② 5.9点(+1.2点)</li> <li>③ 18,646点(+2,067点)</li> <li>④ 93.8%(R4同等)</li> </ul>    |      | 富士館<br>副島     |
| 事業内容 | 三瀬館の運営<br>及び貸出サービスの提供  | 主に三瀬村の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。  | 通年サービス    | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 三瀬村の利用登録率 (34.8%/R5年度末)</li> <li>② 三瀬村の人口当たり貸出点数 (4.6点/R5年度)</li> <li>③ 三瀬館の貸出点数 (5,431点/R5年度)</li> <li>④ 三瀬館の利用満足度 (92.0%/R6年5月調査)</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 38.1%(3.3%)</li> <li>② 5.9点(+1.3点)</li> <li>③ 6,108点(+677点)</li> <li>④ 85.0%(R4同等)</li> </ul>       |      | 三瀬館<br>副島     |
|      | 川副館の運営<br>及び貸出サービスの提供  | 主に川副町の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。  | 通年サービス    | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 川副町の利用登録率 (27.1%/R5年度末)</li> <li>② 川副町の人口当たり貸出点数 (3.1点/R5年度)</li> <li>③ 川副館の貸出点数 (17,510点/R5年度)</li> <li>④ 川副館の利用満足度 (89.7%/R6年5月調査)</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 29.7%(+2.6%)</li> <li>② 4.3点(+1.2点)</li> <li>③ 19,693点(+2,183点)</li> <li>④ 90.3%(R4同等)</li> </ul>   |      | 川副館<br>大塚     |
|      | 久保田館の運営<br>及び貸出サービスの提供 | 主に久保田町の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。 | 通年サービス    | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 久保田町の利用登録率 (31.9%/R5年度末)</li> <li>② 久保田町の人口当たり貸出点数 (4.1点/R5年度)</li> <li>③ 久保田館の貸出点数 (21,325点/R5年度)</li> <li>④ 久保田館の利用満足度 (87.5%/R6年5月調査)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 34.9%(+3.0%)</li> <li>② 5.3点(+1.2点)</li> <li>③ 23,984点(+2,659点)</li> <li>④ 85.0%(+3.2%)</li> </ul>  |      | 久保田館<br>江頭    |

| 事業内容                    | 主に開成校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。                         | 通年サービス | 開成分室の貸出点数 (23,256点/R5年度)   | 26,156点(+2,900点)  | サービス係<br>坂本           |
|-------------------------|---|--------|--|---|-----------------------|
|                         |   |        |  |   |                       |
| 開成分室での貸出サービスの提供         | 主に開成校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。                         | -      | -  | -   | サービス係<br>坂本           |
| 金立分室での貸出サービスの提供         | 主に金立校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。                         | 通年サービス | 金立分室の貸出点数 (23,565点/R5年度)   | 26,503点(+2,938点)  | サービス係<br>坂本           |
| 鍋島分室での貸出サービスの提供         | 主に鍋島校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。                         | 通年サービス | 鍋島分室の貸出点数 (42,177点/R5年度)   | 47,436点(+5,259点)  | サービス係<br>坂本           |
| 高木瀬分室での貸出サービスの提供        | 主に高木瀬校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。                        | 通年サービス | 高木瀬分室の貸出点数 (37,760点/R5年度)  | 42,468点(+4,708点)  | サービス係<br>坂本           |
| 本庄分室での貸出サービスの提供         | 主に本庄校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。                         | 通年サービス | 本庄分室の貸出点数 (40,368点/R5年度)   | 45,401点(+5,033点)  | サービス係<br>坂本           |
| 巨勢分室での貸出サービスの提供         | 主に巨勢校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。                         | 通年サービス | 巨勢分室の貸出点数 (27,987点/R5年度)   | 31,477点(+3,490点)  | サービス係<br>坂本           |
| 自動車図書館による貸出サービスの提供      | 自動車図書館の運行により、本館・分室でカバーできない地域でも資料を利用できるようにする。        | 通年サービス | ① サービスポイント数 (14箇所/R5年度)<br>② サービスポイント巡回回数 (204回/R5年度)<br>※同日に複数箇所を巡回する場合は、それぞれ1回としてカウント<br>※イベントによる巡回も含む<br>③ 自動車図書館貸出点数 (3,365点/R5年度) | ① 14箇所<br>② 216回<br>③ 5,000点  | 総務企画係<br>豊福           |
| 各館間の資料の配送               | 資料の効率的な共有と、より多くの資料を利用者に提供するために、本館・分室・分室間での資料の搬送を行う。 | その他事業  | ※指標の設定なし   | -   | サービス係<br>内山           |
| 本館での貸出サービスの提供           | 旧佐賀市内を中心に、住民及び市内に通勤・通学する方への貸出サービスの提供を行う。            | 通年サービス | ① 旧佐賀市内の利用登録率 (39.9%/R5年度末)<br>② 旧佐賀市内の人口当たり貸出点数 (6.4点/R5年度)<br>③ 本館の貸出点数 (892,935点/R5年度)<br>④ 本館の利用満足度 (90.1%/R6年5月調査)                | ① 43.7% (+3.8%)<br>② 7.6点 (+1.2点)<br>③ 1,004,271点 (+111,336点)<br>④ 90.1% (R4同等) | サービス係<br>真子           |
| 資料の予約(順番待ち・取り寄せ)サービスの提供 | 利用館の書架にない本を利用できるよう、貸出中の資料の順番待ちと、他館の資料を取り寄せるサービスを行う。 | 通年サービス | ① 年間予約受付件数 (184,543件/R5年度)<br>② Web及び館内OPACからの予約割合 (81.2%/R5年度)  | ① 183,000件<br>② 80%   | サービス係<br>真子           |
| 団体貸出(一般団体向け)サービスの提供     | 読書活動を行うグループや、公民館・保育園、市立図書館から遠い場所へ活動する団体等を対象に貸出を行う。  | 通年サービス | ① 年間利用一般団体数 (51団体/R5年度)<br>② 一般団体への年間貸出点数 (4,585点/R5年度)  | ① 70団体<br>② 5,000点  | 総務企画係・各分館<br>豊福       |
| OPACの提供                 | いつでもどこでも市立図書館の資料を探ることができるように、オンライン蔵書目録(OPAC)を提供する。  | 通年サービス | ① WebOPACの障害発生件数 (0件/R6.4~R6.12末時点)<br>② 館内OPACの障害発生件数 (0件/R6.4~R6.12末時点)<br>※端末単独の障害除く  | ① 2件以内<br>② 2件以内  | サービス係・総務企画係<br>真子・矢ヶ部 |

事業内容

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |  |   |
|-----------------------------|--|---|
| 基本目標                        | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |   |
| 方向性                         | ②くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。  |   |
| サービス計画に記載した具体例              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○レファレンス（調べもの相談）サービス</li> <li>○図書館資料の整備</li> <li>○図書館資料の複写サービス</li> <li>○他の図書館等と連携した課題解決支援</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○リクエスト/相互貸借サービス</li> <li>○商用データベースやデジタル化資料などの提供</li> <li>○インターネット接続サービス</li> </ul> |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用が減少している視聴覚資料やマンガ資料の収集方針について再検討する必要がある。</li> <li>・ビジネス支援や郷土資料分野について、佐賀県立図書館や専門機関との連携を念頭に置いて、今後のサービスのあり方を整理する必要がある。</li> </ul> |   |

サービス・事業

| 内容               | サービス・事業の概要          | 種別<br>企画書   | 指標(実績)  | R7目標値                          | R7実績 | 担当係(館)<br>担当者 |
|------------------|---------------------|-------------|---|--------------------------------|------|---------------|
| 本館レファレンスカウンターの運営 | 本館レファレンスカウンターの運営を行う | 通年サービス<br>- | ① 本館調べもの相談件数 (19,024件/R5年度)<br>※本館及び団体・自動車<br>② 調べものコーナーの利用者満足度 (89.7%/R6.5月調査) | ①19,287件(R4同等)<br>②89.7%(R6同等) |      | サービス二係<br>宮地  |
| 調べもの相談(大和館)      | 大和館で調べもの相談の対応を行う    | 通年サービス<br>- | ① 大和館調べもの相談件数 (3,267件/R5年度)<br>② 大和館の調べもの相談への利用者満足度 (96.4%/R6.5月調査)             | ①3,393件(R3同等)<br>②92.5%(R4同等)  |      | 大和館<br>宮崎     |
| 調べもの相談(諸富館)      | 諸富館で調べもの相談の対応を行う    | 通年サービス<br>- | ① 諸富館調べもの相談件数 (539件/R5年度)<br>② 諸富館の調べもの相談への利用者満足度 (94.6%/R6.5月調査)               | ①900件(R4同等)<br>②100%(R4同等)     |      | 諸富館<br>大塚     |
| 調べもの相談(東与賀館)     | 東与賀館で調べもの相談の対応を行う   | 通年サービス<br>- | ① 東与賀館調べもの相談件数 (1,248件/R5年度)<br>② 東与賀館の調べもの相談への利用者満足度 (96.3%/R6.5月調査)           | ①1,250件(R5同等)<br>②96.3%(R5同等)  |      | 東与賀館<br>江頭    |
| 調べもの相談(富士館)      | 富士館で調べもの相談の対応を行う    | 通年サービス<br>- | ① 富士館調べもの相談件数 (658件/R5年度)<br>② 富士館の調べもの相談への利用者満足度 (98.1%/R6年5月調査)               | ①520件(R4同等)<br>②100%(R4同等)     |      | 富士館<br>副島     |
| 調べもの相談(三瀬館)      | 三瀬館で調べもの相談の対応を行う    | 通年サービス<br>- | ① 三瀬館調べもの相談件数 (272件/R5年度)<br>② 三瀬館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R6年5月調査)                | ①260件(R4同等)<br>②100%(R4同等)     |      | 三瀬館<br>副島     |

事業内容

| 事業内容                  |   | 川副館    | 大塚 | 久保田館   | 江頭                                 | サービス一係(分室) | 坂本 | サービス二係 | 宮地 | サービス二係 | 本社 | サービス二係・分館 | 宮地 | サービス二係・分館 | 本社 | サービス二係・各分館 | 折原 | サービス二係・各分室 | 坂本(星) | サービス二係 | 西村 | サービス二係・各分館 | 梶本 | サービス二係・各分館 | 天野 | サービス二係 | 宮地 |  |
|-----------------------|---|--------|----|--|------------------------------------|------------|----|--------|----|--------|----|-----------|----|-----------|----|------------|----|------------|-------|--------|----|------------|----|------------|----|--------|----|--|
| 調べもの相談(川副館)           | 川副館で調べもの相談の対応を行う  | 通年サービス | -  | ①川副館調べもの相談件数(366件/R5年度)<br>②川副館の調べもの相談への利用者満足度(100%/R6.5月調査)                       | ①620件(R4同等)<br>②96%(R4同等)          |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 調べもの相談(久保田館)          | 久保田館で調べもの相談の対応を行う   | 通年サービス | -  | ①久保田館調べもの相談件数(309件/R5年度)<br>②久保田館の調べもの相談への利用者満足度(72.7%/R6.5月調査)                    | ①340件(R4同等)<br>②100%(R4同等)         |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 調べもの相談(6分室)           | 各分室で調べもの相談の対応を行う  | 通年サービス | -  | ・分室調べもの相談件数(6,412件/R5年度)   | 6,100件(R1同等)                       |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| バスファインダーの作成           | 特定のテーマに関する文献、情報の探し方や調べ方の案内をまとめた「バスファインダー」を作成し、館内やホームページで配布する。 | 通年サービス | -  | ・バスファインダー提供数(8点/R5年度)  | 8点                                 |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| リクエストサービス             | 市立図書館で所蔵していない資料の購入の要望ができるサービスを行う。                             | 通年サービス | -  | ・「本、雑誌、新聞の充実」への利用者満足度(87.3%/R6.5月調査)   | 88.5%(R4同等)                        |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 相互貸借サービス              | 市立図書館で所蔵していない資料を、他の図書館から取り寄せるサービスを行う。                         | 通年サービス | -  | ・相互貸借(借入)点数(1665点/R5年度)  | 1,857点(R4同等)                       |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 図書館資料整備事業             | 市民のニーズに応じた資料提供ができるよう、図書館資料の整備を行う。                             | 通年サービス | -  | ①「本、雑誌、新聞の充実」への利用者満足度(87.3%/R6.5月調査)<br>②「CD、DVDなど視聴覚資料の充実」への利用者満足度(70.4%/R6.5月調査) | ①87.3%(R6同等)<br>②70.4%(R6同等)       |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 新聞の収集・提供              | 全国紙や地方紙、業界紙などを提供する。   | 通年サービス | -  | ・提供誌数(のべ)61紙(本館36紙・分館25紙/R6年度)   | 61紙(R6同等)                          |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 雑誌の収集・提供              | 趣味や仕事に役立つ雑誌資料を提供する。   | 通年サービス | -  | ①提供誌数(のべ)560誌(本館288誌・分室60誌・分館212誌/R6年度当初)<br>②貸出点数(66,687点/R5年度)                   | ①540誌<br>②60,000点<br>※雑誌の値上がりによる減少 |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 全国の観光情報の収集・提供         | 全国の観光パンフレットを収集し、本館内で閲覧できるようにする。                               | 通年サービス | -  | ・全国を5つの地区に分け順に観光パンフレットの収集・入替を行う。R7は中部地方の県および市町村に依頼                                 | 中部地方の観光パンフレットの収集・入替                |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 地域資料の収集・提供            | 佐賀の歴史や地理、地場産業や観光等、佐賀に関する地域資料を提供する。                            | 通年サービス | -  | ※指標の設定なし(館内閲覧のため利用数の確認ができない。)  | -                                  |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 行政情報の収集・提供            | 佐賀市や佐賀県等の行政情報(統計情報・各種計画・議会資料など)を提供する。                         | 通年サービス | -  | ※指標の設定なし(館内閲覧のため利用数の確認ができない。収集点数も自治体の部署の作成状況に依存する。)                                | -                                  |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |
| 佐賀新聞記事デジタル化データの閲覧サービス | 明治17年の創刊号から平成30年3月までの佐賀新聞記事を提供する。                             | 通年サービス | -  | ・利用回数(89回/R5年度)  | 132回(11回/月)                        |            |    |        |    |        |    |           |    |           |    |            |    |            |       |        |    |            |    |            |    |        |    |  |

| 事業内容   |        | 商用データベースの提供   | 所蔵検索サービス                                   | 国立国会図書館のデジタル化資料の閲覧サービス                                | 「歴史的音源」の提供   | 複写サービス | モバイルインターネットコーナー  | 公衆無線LANサービス | レファラルサービス                                       | 電子図書館システム運用管理事業         |
|--|--------|---|--|---|--------------|--------|--|-------------|---|-------------------------|
| 本館調べものコーナーの電子メディア閲覧用パソコンで、新聞記事や農業・法律情報などの商用データベースを館内で閲覧できるように提供する。 | 通年サービス | ① 提供データベース数 (7件/R5年度)<br>② 利用回数 (57回/R5年度)                      | ※指標の設定なし<br>(レファレンスサービスを含む)                | ① 5件<br>※契約数の減少<br>(260回(5回/月))                       | サービス二係<br>宮地 | 通年サービス | 市立図書館や他の図書館にある資料の所蔵検索サービスを行う。  | 通年サービス      | 市立図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。 | サービス二係<br>各分館・各分室<br>宮地 |
| 市立図書館や他の図書館にある資料の所蔵検索サービスを行う。                                      | 通年サービス | ① 利用者数 (6,698人/R5年度)<br>※各月ごとのユニーク数<br>② のべ利用時間 (32,320時間/R5年度) | ※指標の設定なし<br>(レファレンスサービスを含む)                | ① 6,600人<br>(550人×12月)<br>② 30,000時間<br>(2,500時間×12月) | サービス二係<br>宮地 | 通年サービス | 国立国会図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。  | 通年サービス      | 市立図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。 | サービス二係<br>宮地            |
| 国立国会図書館のデジタル化資料の閲覧サービス   | 通年サービス | ① 複写件数 (2,280件/R5年度)  | ① 提供データベース数 (7件/R5年度)<br>② 利用回数 (57回/R5年度) | ① 5件<br>※契約数の減少<br>(260回(5回/月))                       | サービス二係<br>宮地 | 通年サービス | 歴史的音源アーカイブ推進協議会がデジタル化した、1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源を、館内で提供する。   | 通年サービス      | 市立図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。 | サービス二係<br>宮地            |
| 「歴史的音源」の提供   | 通年サービス | ① 利用者数 (146回/R5年度)<br>※「LANケーブル」の貸出点数で算出。                       | ① 提供データベース数 (7件/R5年度)<br>② 利用回数 (57回/R5年度) | ① 5件<br>※契約数の減少<br>(260回(5回/月))                       | サービス二係<br>宮地 | 通年サービス | 市立図書館所蔵の資料について、著作権法第31条(図書館等における複製)の範囲内で複写するサービスを提供する。   | 通年サービス      | 市立図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。 | サービス二係<br>宮地            |
| 複写サービス   | 通年サービス | ① 複写件数 (2,280件/R5年度)  | ① 提供データベース数 (7件/R5年度)<br>② 利用回数 (57回/R5年度) | ① 5件<br>※契約数の減少<br>(260回(5回/月))                       | サービス二係<br>宮地 | 通年サービス | 調査研究等のために持ち込んだパソコンを使ってインターネットに接続できるコーナーを設置する。(有線LAN接続)   | 通年サービス      | 市立図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。 | サービス二係<br>宮地            |
| モバイルインターネットコーナー  | 通年サービス | ① 利用者数 (6,698人/R5年度)<br>※各月ごとのユニーク数<br>② のべ利用時間 (32,320時間/R5年度) | ① 提供データベース数 (7件/R5年度)<br>② 利用回数 (57回/R5年度) | ① 5件<br>※契約数の減少<br>(260回(5回/月))                       | サービス二係<br>宮地 | 通年サービス | インターネット上の情報資源を調査研究に活用するため、公衆無線LANサービスを提供する。  | 通年サービス      | 市立図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。 | サービス二係<br>宮地            |
| 公衆無線LANサービス  | 通年サービス | ① 複写件数 (2,280件/R5年度)  | ① 提供データベース数 (7件/R5年度)<br>② 利用回数 (57回/R5年度) | ① 5件<br>※契約数の減少<br>(260回(5回/月))                       | サービス二係<br>宮地 | 通年サービス | レファレンス(調べもの相談)サービスにおいて、市立図書館の資料で回答を提供できない場合には、他機関に照会し、資料の入手や専門機関の紹介を行う。  | 通年サービス      | 市立図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。 | サービス二係<br>宮地            |
| レファラルサービス  | 通年サービス | ① 利用者数 (146回/R5年度)<br>※「LANケーブル」の貸出点数で算出。                       | ① 提供データベース数 (7件/R5年度)<br>② 利用回数 (57回/R5年度) | ① 5件<br>※契約数の減少<br>(260回(5回/月))                       | サービス二係<br>宮地 | 通年サービス | レファレンス(調べもの相談)サービスにおいて、市立図書館の資料で回答を提供できない場合には、他機関に照会し、資料の入手や専門機関の紹介を行う。  | 通年サービス      | 市立図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。 | サービス二係<br>宮地            |
| 電子図書館システム運用管理事業  | 通年サービス | ① 複写件数 (2,280件/R5年度)  | ① 提供データベース数 (7件/R5年度)<br>② 利用回数 (57回/R5年度) | ① 5件<br>※契約数の減少<br>(260回(5回/月))                       | サービス二係<br>宮地 | 通年サービス | 「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの運用管理を行う。特に子ども(小学生～高校生)をメインターゲットとする。 | 通年サービス      | 市立図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。 | サービス二係<br>宮地            |

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |   |  |
|-----------------------------|---|--|
| 基本目標                        | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |  |
| 方向性                         | ③市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。                                      |  |
| サービス計画に記載した具体例              | <p>○様々なメディアによる情報発信</p> <p>○来館のきっかけとなるイベントの開催</p>              |  |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <p>・図書館の新規利用者を増やすため、未利用者をターゲットにした企画や効果的な広報のあり方を検討する必要がある。</p> |  |

サービス・事業

| 内容                       | サービス・事業の概要  | 種別<br>企画書   | 指標(実績)  | R7目標値        | R7実績 | 担当係(館)<br>担当者 |
|--------------------------|---|-------------|---|--------------|------|---------------|
| ホームページによる情報発信            | 市立図書館のサービスについて、ホームページで情報発信する。   | 通年サービス<br>- | ・ホームページアクセス件数 (156,529件/R5年度)   | 160,000件     |      | 総務企画係<br>豊福   |
| 市報による情報発信                | 全戸配布される市報で、月に1回、市立図書館の開館時間やイベント等の情報発信を行う。   | 通年サービス<br>- | ・掲載件数 (12回/R5年度)  | 12回          |      | 総務企画係<br>豊福   |
| 図書館報による情報発信              | イベントやお知らせ、市立図書館の紹介、おすすめの本の紹介する館報を発行して情報発信を行う。   | 通年サービス<br>- | ・館報配布部数 (20,000部/R5年度)<br>※配布先は、本館・分館・分室のほか、県内の公共図書館・市内の学校・歯科医師会・本館近隣の事業所4,000戸 | 20,000部      |      | 総務企画係<br>豊福   |
| 事業内容                     | 市立図書館の取り組みや活用方法を知らずため、コミュニティFMへの定期出演や、マスメディアの取材による情報発信を行う。  | その他事業<br>-  | ① マスメディアへの出演 えばすFMラジオ (10回/R5年度)<br>② 市政記者室投込み (6回/R5年度)                        | ①12回<br>②10回 |      | 総務企画係<br>豊福   |
| SNSを利用した情報発信             | 10代後半～20代の若者をターゲットに、SNSの特性を利用して、図書館の魅力や活用方法を伝える。また、九州内の県庁所在地図書館におけるSNSの利用状況、発信内容確認、目的に最も適したSNSの検討などに取り組む。 | その他事業<br>-  | ・SNSフォロワー数 (499人/R7.1.28現在)   | 550人         |      | 総務企画係<br>豊福   |
| 未利用者をターゲットにした企画や広報のあり方検討 | 未利用者をターゲットにした企画や広報のあり方の検討を行う。   | その他事業<br>-  | ※指標の設定なし  | -            | -    | 総務企画係<br>豊福   |

| 事業内容                            |   | イベント           | イベント参加人数   | 3,500人                     | サービス係                     |
|---------------------------------|---|----------------|--|----------------------------|---------------------------|
| 分室利用促進のためのイベントの実施               | 分室の利用者や普段利用しない市民に来館してもらい、利用のきっかけとなるイベントを開催する。                                     | イベント<br>1-3-1  | ・イベント参加人数 (3,321人/R5年度)  | 3,500人                     | サービス係                     |
| 【本館】<br>除籍資料の市民への配布             | 本館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。  | イベント<br>1-3-2  | ① 参加人数769人 (R6.5実績:410人、R6.11実績:359人)<br>② 除籍本の譲渡冊数 8,641点 (R6.5実績:4,276点、R6.11実績:4,365点)  | ①800名<br>②8,000冊           | サービス係                     |
| 本館外周部でのイベントに併せて除籍本の配布           | 本館外周部で実施されるイベントに併せ、図書館を普段利用しない若い世代をターゲットにした除籍本の配布や図書館の取組の紹介を行う。                   | イベント<br>1-3-3  | ・除籍本の配布数 (781点/R6年度)   | 800点(400点×2回)              | 総務企画係・サービス係               |
| 図書館秋のコンサート                      | 気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、クラシックやアニメ音楽等による演奏会を開催する。                                 | イベント<br>1-3-4  | ・イベント参加人数 (41名/R6年度)   | 50名                        | 矢ヶ部・内山                    |
| 落語会                             | 気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、落語会を開催する。  | イベント<br>1-3-5  | ・イベント参加人数 (35名/R6年度)   | 50名                        | 総務企画係                     |
| ブーカスマつりの開催                      | 自動車図書館の利用が減少する夏休みや冬季に、貸出点数に応じたオリジナルグッズを配り、PRと利用促進を図る。                             | イベント<br>1-3-6  | ① 利用者数 (165人/R6.7~8、R6.12月)<br>② 貸出点数 (765点/R6.7~8、R6.12月)   | ①利用者数/200人<br>②貸出点数/1,000点 | 総務企画係                     |
| 図書館音楽フェス                        | 図書館を普段利用しない若い世代が気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、楽器を演奏できる場を提供する。また、県立盲学校の生徒による演奏会も同時開催する。 | イベント<br>1-3-7  | ・出演者数 (一般3組、盲学校1組/R6年度)  | 10組                        | 総務企画係                     |
| 【大和館】<br>大和館まつり<br>(秋の読書週間イベント) | ①雑誌付録プレゼント:定期購読している雑誌の付録を抽選で利用者に提供する。<br>②ブックリサイクル:大和館で除籍した図書・雑誌を利用者に無償で譲渡する。     | イベント<br>1-3-8  | ・参加人数 (R6年度)<br>① 応募数 1,086枚<br>② 参加人数 648人  | ①応募数 1,000枚<br>②参加人数 650人  | 大和館                       |
| 【諸富館】<br>新築くじびき<br>(雑誌ふらぐプレゼント) | 本(雑誌を含む、代理・延長貸出/CD/DVD/マンガは除く。)を5冊以上借りたらくじを1回ひく。当たりが出たら雑誌付録などのプレゼントを渡す。後日再チャレンジ可。 | イベント<br>1-3-10 | ・参加人数 (113人/R5年度)  | 120人                       | 諸富館                       |
| 【諸富館】<br>ブックリサイクル               | 諸富館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。   | イベント<br>1-3-11 | ・配布数 1,125冊<br>(1回目:341冊/R5.6実績、2回目:784冊/R5.12実績)  | 1,200点                     | 諸富館                       |
| 新規【諸富館】<br>諸富館新築開館イベント          | 諸富館の新築開館を記念して、ノベルティグッズ等を配布し、新しい図書館をPRする。  | イベント<br>新規     | 新築開館した諸富館の利用者を対象に先着100名程度にブックバッグ等のノベルティグッズを配布する。   | 先着100名程度                   | 諸富館                       |
| 【東与賀館】<br>ブックリサイクル              | 東与賀館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。  | イベント<br>1-3-12 | ①-1 除籍(図書)資料の配布数 (648点/R5.10~11実績)<br>②-1 図書リサイクル参加人数 (179人/R5.10~11実績)<br>①-2 除籍(雑誌)資料の配布数 (649点/R5.1~2実績)<br>②-2 雑誌リサイクル参加人数 (141人/R5.1~2実績) | ①1,500点<br>②350人           | 東与賀館<br>古賀れ・古賀れ・<br>鍋島・蒲原 |

| 事業内容 | 【富士館】<br>夏休み子どもワークショップ              | 夏休みの子どもたちを対象に、館内の資料を参考とした手作り体験と、ブックトークを行う。                       | イベント<br>1-3-13 | ・参加人数 (7人/R5年度)                           | 10人              | 富士館<br>副島、岡本、野中、尾崎 |
|------|-------------------------------------|--|----------------|---|------------------|--------------------|
|      |                                     |  |                |   |                  |                    |
| 事業内容 | 【富士館】<br>夏の抽選会                      | 資料を借りた利用者に応募券を配布し、雑誌付録等のプレゼントを配布する。                              | イベント<br>1-3-14 | ・抽選イベント 応募総数 (延べ221人/R5年度)                | 320人             | 富士館<br>副島、岡本、野中、尾崎 |
|      | 【富士館】<br>ほんの森の秋まつり2025<br>(秋の読書週間)  | 秋の読書週間にあわせて、資料を借りた利用者によるプレゼントや除籍本を配布する。                          | イベント<br>1-3-15 | ①ブックリサイクル 925点 (R5年度)<br>②参加人数 90人 (R5年度) | ①1,000点<br>②100人 | 富士館<br>副島、岡本、野中、尾崎 |
|      | 【富士館】<br>冬の抽選会                      | 資料を借りた利用者に応募券を配布し、雑誌付録・カレンダー等のプレゼントを配布する。                        | イベント<br>1-3-16 | ・抽選イベント 応募総数 (延べ 201人/R5年度)               | 230人             | 富士館<br>副島、岡本、野中、尾崎 |
|      | 【三瀬館】<br>秋の読書週間イベント2025<br>(秋の読書週間) | 秋の読書週間に次のイベントを行う。<br>①利用者のおすすめ本紹介<br>②雑誌付録プレゼント<br>③リサイクルブックコーナー | イベント<br>1-3-17 | ・参加人数 ①13人 ②43人 ③70人 (R5年度)               | ①30人②60人③80人     | 三瀬館<br>北古賀、石橋、中島   |
|      | 【川副館】<br>夏休みスタンプラリー                 | 本を借りたらスタンプを押し、集めたスタンプの数に応じてプレゼントを渡すことで、利用者が楽しく来館できる機会を作る。        | イベント<br>1-3-19 | ・スタンプラリーの台紙配布数 (96点/R5年度)                 | 150枚             | 川副館<br>戸田・西・横溝     |
|      | 【川副館】<br>読書くじ<br>(秋の読書週間イベント)       | 秋の読書週間にあわせて、資料を借りた利用者にくじを引かせる。                                   | イベント<br>1-3-20 | ・参加人数 (165人/R5年度)                         | 200人             | 川副館<br>戸田・西・横溝     |
|      | 【川副館】<br>ブックリサイクル                   | 川副館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。                                      | イベント<br>1-3-21 | ・譲渡数 (663冊/R5年度)                          | 600冊             | 川副館<br>戸田・西・横溝     |
|      | 【久保田館】<br>新春イベント                    | 新年の始まりに来館した利用者へ、くぼたくじ(おみくじ)を引いてもらい景品をプレゼントする。                    | イベント<br>1-3-22 | ・参加人数 (57人/R5年度)                          | 70               | 久保田館<br>内田・小松・篠原   |
|      | 【久保田館】<br>秋の読書週間イベント                | 秋の読書週間に、貸出数によって台紙にシールを貼り、その数に応じて景品をプレゼントする。                      | イベント<br>1-3-23 | ・参加人数 (105人/R5年度)                         | 120人             | 久保田館<br>内田・小松・篠原   |
|      | 【久保田館】<br>ブックリサイクル                  | 久保田館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。                                     | イベント<br>1-3-24 | ①配布数 (25点/R5年度)<br>②参加人数 (8人/R5年度)        | ①30点<br>②20人     | 久保田館<br>内田・小松・篠原   |

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 基本目標                        | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 方向性                         | ④市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。  |
| サービス計画に記載した具体例              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の展示・ポスターやチラシの掲示</li> <li>○市民向け講座等の開催</li> <li>○レファレンス事例の公開(「レファレンス協同データベース」への事例登録)</li> </ul> |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が生涯学習などの学習成果を活用する機会を提供するための取組を検討する必要がある。</li> </ul>   |

サービス・事業

| 内容   | サービス・事業の概要             | 種別<br>企画書  | 指標(実績)   | R7目標値      | R7実績 | 担当係(館)<br>担当者          |
|------|------------------------|--|--|------------|------|------------------------|
| 事業内容 | 資料のテーマ展示               | 時事に併せたテーマを設定し、図書館資料の展示を行う。                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示回数: 55回<br/>(一係: 12回/R6年度)<br/>(二係: 43回/R6年度)</li> </ul> | 56回 (R6同等) |      | サービス二係・サービス二係<br>内山・宮地 |
|      | 郷土資料展示                 | 郷土の人物や事柄についての資料の展示を行う。                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示回数 (4回/R5年度)</li> </ul>                                  | 4回 (R5同等)  |      | サービス二係<br>宮地           |
|      | 「レファレンス協同データベース」への事例登録 | 市立図書館のレファレンス事例を、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に登録する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例登録総数 (688件/R5年度末)</li> </ul>                             | 750件       |      | サービス二係<br>宮地           |
|      | 「季節の棚」の展示              | その季節に応じた図書館資料やパンフレットなどの展示を行う。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示回数 (25回/R5年度)</li> </ul>                                 | 24回        |      | 総務企画係<br>豊福            |
|      | 他団体イベント等のポスター掲示やチラシの配布 | 他団体イベント等のポスター掲示やチラシの配布                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター・チラシ受付件数 (1,362件/R5年度)<br/>※受付簿記入分</li> </ul>          | 1400件      |      | 総務企画係<br>豊福            |
|      | 学習成果を発表する機会の提供の検討      | 生涯学習などの学習成果を発表する機会を提供する取組の検討を行う。                   | ※指標の設定なし   | -          | -    | 総務企画係・サービス二係<br>豊福、宮地  |

| 事業内容                                    |   | イベント          | ① 講座開催回数 (3回/R5年度)<br>② 参加者の満足度 (92%/R5年度)                  | ① 3回 (R5同等)<br>② 92% (R8同等) | サービス二係<br>楳本              |
|---|---|---------------|---|-----------------------------|---------------------------|
| 佐賀大学地域連携型<br>公開講座の開催                    | 郷土中に興味を持ってもらうため、また興味を持つ人の知的欲求を満たすため、佐賀大学から講師を招いて地域学講座を開催する。                         | イベント<br>1-4-1 |   |                             |                           |
| 図書館職員おすすめの本の展示                          | 来館者が多様な資料に興味を持つきっかけづくりのため、図書館職員がすすめる本の展示を行う。  | イベント<br>1-4-2 | ・展示資料数 (47点/R6年度)<br>※おすすめ本が貸出に出た場合は、同一作家の別の作品などの関連資料を展示する。 | 50点                         | 総務企画係<br>豊福               |
| 【大和館】<br>七夕笹飾り展示                        | 館内に組み立て式の笹を2か所設置。利用者が七夕飾りや願いごとを短冊に書き、飾る。  | イベント<br>1-4-3 | ・参加人数 (302人/R6年度)   | 300人 (R6同等)                 | 大和館<br>山崎、山口              |
| 【大和館】<br>大人向け映画上映会                      | 気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、大人向けに大和館所蔵のDVD(上映権付)を上映する。                                 | イベント<br>1-4-4 | ・参加人数 (59人/R6年度)  | 59人 (R6同等)                  | 大和館<br>野中、藤木、山口           |
| 【諸富館】<br>秋の読書週間イベント<br>(どくしよの木)         | 葉っぱ型の用紙に、自分がすすめる本のタイトルと感想を書いてもらい、本を模した台紙に貼り付けて紅葉させることで、普段手に取らない本を読むきっかけとする。プレゼントあり。 | イベント<br>1-4-5 | ・参加人数 (100人/R5年度)   | 100人                        | 諸富館<br>藤田・駄原              |
| 【東与賀館】<br>シチメンソウ及び<br>ラムサール条約関係<br>資料展示 | 東よか干潟に関連した資料(シチメンソウやラムサール条約関係)を展示する。<br>(10月上旬～11月下旬)                               | イベント<br>1-4-6 | ・展示回数 (1回/R5年度)   | 1回                          | 東与賀館<br>古賀み・古賀れ・<br>鍋島・蒲原 |
| 【東与賀館】<br>新春イベント                        | 新春イベントとして「福引き」を実施する。  | イベント<br>1-4-7 | ・参加人数 (98人/R5年度)  | 120人                        | 東与賀館<br>古賀み・古賀れ・<br>鍋島・蒲原 |
| 【東与賀館】<br>秋の読書週間イベント                    | POP台紙にすすめる本のタイトルやポイントに記載してもらい、イベント期間中に『きになる本』として紹介する。POPを書いてくれた人にはプレゼントあり。          | イベント<br>1-4-8 | ・参加人数 (41人/R5年度)  | 50人                         | 東与賀館<br>古賀み・古賀れ・<br>鍋島・蒲原 |
| 【三瀬館】<br>七夕笹飾り展示                        | 館入口に本物の笹を設置。利用者が七夕飾りや願いごとを短冊にかき飾る。また、関連本を展示し、日本古来の伝統に興味関心を抱くきっかけをつくる。               | イベント<br>1-4-9 | ・参加人数 (30人/R5年度)  | 55人                         | 三瀬館<br>北古賀、石橋、中島          |

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |  |  |
|-----------------------------|--|--|
| 基本目標                        | ②子どもの成長に役立つ図書館   |  |
| 方向性                         | ①子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。   |  |
| サービス計画に記載した具体例              | <p>○子どもと保護者が一緒に利用しやすいサービスの提供</p> <p>○子どもと保護者が一緒に楽しめるおはなし会の開催</p> <p>○乳幼児と保護者が一緒に本に親しむための取組</p>   |  |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <p>・児童サービス担当職員が健康づくり課主催の「3～6ヶ月児セミナー」に参加して、実際に読み語りをしたり親子で絵本を楽しむ方法などについて話をを行う予定だったが、当該セミナー自体は令和4年度に廃止となった。</p> <p>・その代替策として、本館での赤ちゃん向けのおはなし会の回数を増やし、その中で親子で絵本を楽しむ方法などの話を行うことで対応する。</p> |  |

サービス・事業

| 内容                    | サービス・事業の概要  | 種別<br>企画書 | 指標(実績)  | R7目標値  | R7実績 | 担当係(館)<br>担当者 |
|-----------------------|---|-----------|---|--|------|---------------|
| 本館 児童コーナー及び児童カウンターの運営 | 子ども向けの資料やおはなしの部屋、子どもトイレなどを備えた児童コーナーを運営する。また、児童サービスに精通した職員が常駐する児童カウンターを児童コーナー内に設置する。 | 通年サービス    | ① 旧佐賀市の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (32.9%/R5年度末)<br>② 旧佐賀市の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (8.0点/R5年度)<br>③ 本館の児童サービス利用満足度 (90.7%/R6年5月調査)        | ①44.4%(+11.5%)<br>②28.6点(+0.6点)<br>③96.0%(+5.3%) |      | サービス二係<br>原口  |
| 【大和館】子ども向けサービスの提供     | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。  | 通年サービス    | ① 大和町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (33.3%/R5年度末)<br>② 大和町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (6.8点/R5年度)<br>③ 大和館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (94.1%/R6年5月調査)   | ①44.5%(+11.2%)<br>②27.4点(+0.6%)<br>③96.0%(+1.9%) |      | 大和館<br>宮崎     |
| 【諸富館】子ども向けサービスの提供     | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。  | 通年サービス    | ① 諸富町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (35.7%/R5年度末)<br>② 諸富町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (6.2点/R5年度)<br>③ 諸富館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R6年5月調査)    | ①47.7%(+12.0%)<br>②26.8点(+0.6点)<br>③100%(±0)     |      | 諸富館<br>大塚     |
| 【東与賀館】子ども向けサービスの提供    | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。  | 通年サービス    | ① 東与賀町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (46.8%/R5年度末)<br>② 東与賀町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (5.0点/R5年度)<br>③ 東与賀館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R6年5月調査) | ①60.0%(+13.2%)<br>②5.6点(+0.6点)<br>③100%(±0)      |      | 東与賀館<br>江頭    |

事業内容

|  |  |        |  |   |                            |
|--|--|--------|--|---|----------------------------|
| 【富士館】<br>子ども向けサービスの提供                    | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。   | 通年サービス | ① 富士町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (63.6%/R5年度末)<br>② 富士町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (12.9点/R5年度)<br>③ 富士館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R6年5月調査)    | ①70.1%(+6.6%)<br>②12.9点(+0.6点)<br>③100%(±0%)    | 富士館                        |
| 【三瀬館】<br>子ども向けサービスの提供                    | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。   | 通年サービス | ① 三瀬村の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (79.4%/R5年度末)<br>② 三瀬村の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (14.1点/R5年度)<br>③ 三瀬館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R6年5月調査)    | ①80.2%(+0.8%)<br>②14.7点(+0.6点)<br>③100%(±0%)    | 三瀬館                        |
| 【川副館】<br>子ども向けサービスの提供                    | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。   | 通年サービス | ① 川副町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (26.2%/R5年度末)<br>② 川副町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (3.1点/R5年度)<br>③ 川副館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R6年5月調査)     | ①35.0%(+8.8%)<br>②3.7点(+0.6点)<br>③100%(±0%)     | 川副館                        |
| 【久保田館】<br>子ども向けサービスの提供                   | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。   | 通年サービス | ① 久保田町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (37.2%/R5年度末)<br>② 久保田町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (5.4点/R5年度)<br>③ 久保田館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (90.9%/R6年5月調査) | ①49.6%(+12.4%)<br>②6.0点(+0.6点)<br>③96.0%(+5.1%) | 久保田館                       |
| 【各分室】<br>子ども向けサービスの提供                    | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。   | 通年サービス | ・分室の児童書貸出点数 (85,897点/R5年度)   | 96,600点(+10,703点)                               | サービス一係(分室)<br>坂本           |
| 3歳児以降を対象にした<br>定例おはなし会の開催(本館)<br>※年齢はめやす | 児童コーナー内のおはなしのへやで、おはなしボランティアによるおはなし会を定例で開催する。<br>(毎月第3木曜、毎週土曜日)       | 通年サービス | ① 実施回数 (60回/R5年度)<br>② 参加人数 (903人/R5年度)  | ①62回(R5同等)<br>②900人(R5同等)                       | サービス二係<br>原口               |
| 小学生向けの定例おはなし会<br>(本館)の開催                 | 毎月第1土曜日に、児童コーナーのおはなしのへやでボランティア団体「すばなしの会」による「小学生からのおはなし会(すばなし)」を開催する。 | 通年サービス | ① 実施回数 (11回/R5年度)<br>② 参加人数 (108人/R5年度)  | ①11回(R5同等)<br>②110人(R5同等)                       | サービス二係<br>原口               |
| 赤ちゃん向けの定例おはなし会(本館)の開催                    | 児童コーナーのおはなしのへやで、司書による赤ちゃん向けのおはなし会を定例で開催する。                           | 通年サービス | ① 実施回数 (37回/R5年度)<br>② 参加人数 (613人/R5年度)  | ①39回(R5同等)<br>790人(R5+177)                      | サービス二係<br>原口               |
| 【大和館】<br>定例おはなし会                         | 毎月第2・4水曜日11時に司書が、毎月第1・2・3土曜日11時にボランティア団体がおはなし会を行う。                   | 通年サービス | ・参加人数 (172人/R6年度(4月～12月))  | 340人(R1同等)                                      | 大和館<br>野中・藤木・姉川・山崎・山口・堤・斎藤 |
| 【諸富館】<br>定例おはなし会                         | 第2・4土曜日に、館内の「おはなしのへや」でおはなし会を開催する。「おはなし連絡会 morodom」で協働で運営を行う。         | 通年サービス | ・参加人数 (182人/R5年度)  | 180人  | 諸富館<br>吉田・松尾               |
| 【東与賀館】<br>定例おはなし会の開催                     | 毎月第2・4土曜日におはなしの部屋でおはなし会を行う。<br>おはなし会は、おはなしボランティア「おおきなかぶ」と司書が協働で行う。   | 通年サービス | ・参加人数 (221人/R5年度)  | 230人  | 東与賀館<br>古賀み・古賀れ・鍋島・蒲原      |

事業内容

|   |   |               |                                       |             |                           |
|---|---|---------------|---------------------------------------|-------------|---------------------------|
| 【富士館】<br>えほんのもりおはなし会<br>(定例おはなし会)         | 毎月第4土曜日あるいは第2土曜日に<br>おはなし会を行う。月ごとにボランティアと<br>図書館司書が行う。                                    | 通年サービス<br>-   | ・参加人数 (85人/R5年度)                      | 70人         | 富士館<br>副島・野中・岡本・尾崎        |
| 【三瀬館】<br>定例おはなし会                          | 月1回第3土曜日に、三瀬公民館会議室で<br>おはなし会を行う。<br>おはなし会は三瀬館司書が行う。                                       | 通年サービス<br>-   | ・参加人数 (72人/R5年度)                      | 70人         | 三瀬館<br>北古賀・石橋・中島          |
| 【川副館】<br>出張おはなし会<br>(児童館ゴーゴーキッズ<br>おはなし会) | 第1火曜日(不定期)に、川副児童館で<br>おはなし会を行う。司書が運営を行う。  | 通年サービス<br>-   | ・参加人数 (48人/R5年度)                      | 50人         | 川副館<br>戸田・西・横溝            |
| 【川副館】<br>出張おはなし会<br>(南川副小学校)              | 最終木曜日に、南川副小学校で<br>おはなし会を行う。司書が運営を行う。  | 通年サービス<br>-   | ・参加人数 (92人/R5年度)                      | 90人         | 川副館<br>戸田・西・横溝            |
| 赤ちゃん絵本ガイドブックの配布                           | 図書館各館で配布するとともに、<br>健康づくり課が行っている乳児家庭<br>全戸訪問の際に配布する。                                       | その他事業<br>-    | ・配布数 (1,750冊/R5年度)                    | 2,000冊      | サービス二係<br>原口              |
| 【諸富館】<br>季節を感じるための飾りつけ                    | 七夕やクリスマス、ひな祭りなどにあわせて<br>季節を感じる事ができる飾りつけを館内で<br>行う。特に七夕は、来館者が記入する短冊を<br>筐に結んでもらう参加型の行事とする。 | その他事業<br>-    | ・実施回数 (4回/R5年度)                       | 年4回         | 諸富館<br>大塚                 |
| 【東与賀館】<br>季節を感じるための飾りつけ                   | 七夕やクリスマスにあわせて、来館者が<br>季節を感じる事ができる飾りつけを行う。   | その他事業<br>-    | ・実施回数 (2回/R5年度)                       | 2回          | 東与賀館<br>古賀み・古賀れ・<br>鍋島・蒲原 |
| 【久保田館】<br>季節を感じるための飾りつけ                   | 七夕やクリスマスにあわせて、来館者が<br>季節を感じる事ができる飾りつけを行う。   | その他事業<br>-    | ・実施回数 (2回/R5年度)                       | 2回          | 久保田館<br>内田・小松・篠原          |
| 冬のあったかおはなし会<br>(本館)の開催                    | 子どもと保護者が一緒に楽しむことが<br>できる。冬のあったかおはなし会を<br>開催する。開催にあたっては、<br>おはなしボランティア「がらがらどん」と<br>協働する。   | イベント<br>2-1-1 | ① 実施回数 (1回/R6年度)<br>② 参加人数 (32人/R6年度) | ①1回<br>②50人 | サービス二係<br>原口              |
| 【大和館】<br>おはなしだいすきSP                       | 夏休みに手遊びなどを交えたおはなし会を<br>開催する。  | イベント<br>2-1-2 | ・参加人数 ( 23人/R6年度)                     | 36人(R4同等)   | 大和館<br>野中・藤木・姉川・<br>山崎・山口 |
| 【大和館】<br>こども映画上映会                         | 夏休みにこども向けの映画を上映する。  | イベント<br>2-1-3 | ・参加人数 ( 25人/R6年度)                     | 65人(R5同等)   | 大和館<br>野中・堤・山崎            |
| 【大和館】<br>春の大きなおはなし会<br>(ボランティアとの共同開催)     | ボランティアグループとの共催で、手遊びや<br>大型絵本などを交えた規模を拡大した<br>おはなし会を開催する                                   | イベント<br>2-1-4 | ・参加人数 ( 43人/R5年度)                     | 43人(R5同等)   | 大和館<br>藤木・山口・堤            |

事業内容

| 【諸富館】<br>子ども読書週間イベント<br>(すごろくゲーム) |  | 本を5冊以上借りた子どもにも、すごろく型のゲームに参加してもらおう。   | イベント<br>2-1-5  | ・参加人数 (79人/R5年度)     | 80人(参加者) | 諸富館<br>松尾・吉田          |
|-----------------------------------|--|--|----------------|----------------------|----------|-----------------------|
| 【諸富館】<br>ほかほかふゆのおおはなし会            |  | クリスマススの近い時期に行うおおはなし会。ハンドベルを使ったり、サンタクロースがプレゼントを配る。                            | イベント<br>2-1-7  | ・参加人数 (54人/R5年度)     | 60人      | 諸富館<br>松尾・吉田          |
| 【諸富館】<br>おでかけおほおはなし会              |  | 諸富館のPR及び利用促進を図るために、保育園など、各種施設に出向き、おおはなし会や読み聞かせ等を実施する。                        | イベント<br>2-1-8  | ・参加人数 183人(R6年度新規事業) | 180人     | 諸富館<br>吉田・藤田・駄原・松尾    |
| 【東与賀館】<br>クリスマスおおはなし会             |  | クリスマスに、おおはなしボランティア「おおきなかぶ」と協働で、乳幼児や保護者に読み聞かせ等を行う。                            | イベント<br>2-1-9  | ・参加人数 (24人/R5年度)     | 30人      | 東与賀館<br>古賀み・古賀れ・鍋島・蒲原 |
| 【東与賀館】<br>春の特別おほおはなし会             |  | 春休みに、おおはなしボランティア「おおきなかぶ」と協働で、乳幼児や保護者に読み聞かせ等を行う。                              | イベント<br>2-1-10 | ・参加人数 (12人/R5年度)     | 30人      | 東与賀館<br>古賀み・古賀れ・鍋島・蒲原 |
| 【東与賀館】<br>子ども読書週間イベント             |  | 専用カードを期間中に配布。貸出しの際にスタンプを押し、その数に応じて図書館にちなんだ景品をプレゼントする。                        | イベント<br>2-1-11 | ・参加人数 (38人/R5年度)     | 60人      | 東与賀館<br>古賀み・古賀れ・鍋島・蒲原 |
| 【富士館】<br>夏のおおはなし会                 |  | ボランティア団体「おおはなしのもり」と協働で、読み語り、ブックトーク、工作などを行う。                                  | イベント<br>2-1-12 | ・参加人数 (19人/R5年度)     | 15人      | 富士館<br>副島・尾崎・野中・岡本    |
| 【富士館】<br>冬のおおはなし会                 |  | ボランティア団体「おおはなしのもり」と協働で、読み語り、ブックトーク、工作などを行う。                                  | イベント<br>2-1-13 | ・参加人数 (3人/R5年度)      | 20人      | 富士館<br>副島・尾崎・野中・岡本    |
| 【久保田館】<br>夏のおおはなし会                |  | 夏休み期間中におおはなし会を開催する。絵本・紙芝居・ハネルシアターなどの読み聞かせ、手遊び、工作など。おおはなしボランティア「ぐりとぐら」と協働で行う。 | イベント<br>2-1-14 | ・参加人数 (29人/R5年度)     | 30人      | 久保田館<br>内田・小松・篠原      |
| 【久保田館】<br>クリスマスイベント               |  | クリスマスに合わせ、イベント期間中にアドベントカレンダーのミッションに基づいて本を借りた方に手づくりのクリスマスオーナメントをプレゼントする。      | イベント<br>2-1-15 | ・参加人数 (182人/R5年度)    | 200人     | 久保田館<br>内田・小松・篠原      |
| 【久保田館】<br>冬のおおはなし会                |  | 1～2月中におおはなし会を開催する。絵本・紙芝居・ハネルシアターなどの読み聞かせ、手遊び、工作など。おおはなしボランティア「ぐりとぐら」と協働で行う。  | イベント<br>2-1-16 | ・参加人数 (27人/R5年度)     | 30人      | 久保田館<br>内田・小松・篠原      |

事業内容

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 基本目標                        | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 方向性                         | ②子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスの提供します。  |
| サービス計画に記載した具体例              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもが新たな知識や本と出会うための取組</li> <li>○子どもが図書館や本への興味を持つきっかけづくり</li> <li>○子どもが情報リテラシーを身につけるための取組</li> <li>○郷土に関する調べ学習を支援する取組</li> </ul>               |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども司書講座を開催するにいたり、受講した子どもたちが読書リーダーとして活躍できるように、市内の小中学校図書館と情報共有や連携を図ることが必要である。</li> <li>・電子図書館システムの導入に伴い、子どもたちへログイン方法なども含めたPRが必要である。</li> </ul> |

サービス・事業

| 内容                 | サービス・事業の概要  | 種別<br>企画書   | 指標(実績)  | R7目標値                      | R7実績 | 担当係(館)<br>担当者    |
|--------------------|---|-------------|---|----------------------------|------|------------------|
| おすすめの本小冊子          | 小学校低学年・中学年・高学年、及び中学生向けに、それぞれを対象とした「おすすめの本」の冊子を、夏休みと冬休みに合わせて2回作成。市立図書館や児童館で配布する。 | 通年サービス<br>- | ・作成回数 (2回/R6年度)   | 2回(R6同等)                   |      | サービス二係<br>原口     |
| おすすめの本・課題図書        | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。  | 通年サービス<br>- | ①季節のおすすめの本展示回数 (80回/R5年度)<br>②課題図書展示回数 (2回/R6年度)                                | ①90回(R5同等+10)<br>②2回(R6同等) |      | サービス二係<br>原口     |
| ヤングアダルトコーナーの運営     | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。  | 通年サービス<br>- | ・「おすすめの本紹介」作成回数 (4回/R6年度)   | 4回(R6同等)                   |      | サービス二係<br>原口     |
| 外国語の絵本の収集・提供       | 日本語を母国語としない子どもや、多様な言語に親しみたい子どもたちのために、多言語の絵本の収集・提供を行う。                           | 通年サービス<br>- | ・資料点数 (1739点/R7.1月末)  | 1,749点                     |      | サービス二係<br>原口     |
| 図書館への手紙(児童)        | 本館児童コーナーに「図書館への手紙」を送ることができるポストを設置し、手紙と児童コーナー職員からの返事を児童コーナー内で閲覧できるようにする。         | 通年サービス<br>- | ・手紙への返事 (100%/R5年度)   | 100%                       |      | サービス二係<br>原口     |
| 郷土に関する文献・情報の調べ方の案内 | 郷土に関するパスファインダー(特定のテーマに関する文献、情報の探し方や調べ方の案内をまとめた)を学校に紹介するなど、調べ学習に役立つ情報を提供する。      | その他事業<br>-  | ・パスファインダー作成及び提供数 (12点/R5年度末)<br>※子どもを対象とした郷土に関する本のリストを作成し、パスファインダーを作成する(R6年度～)。 | 12点                        |      | サービス二係・各分館<br>宮地 |

| 事業内容                                 | 「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの運用管理を行う。特に子ども(小学生～高校生)をメインターゲットとする。 | 通年サービス         | ① 商用コンテンツ利用回数(貸出点数と読み放題資料の閲覧回数合計) (7,126回/R5年度)                                  | ① 18,000回(1,500回×12ヶ月)                        | 総務企画係/サービス二係         |
|--------------------------------------|--|----------------|--|---|----------------------|
| 電子図書館システム運用管理事業                      |  | 通年サービス         |  |   | 矢ヶ部・寺下               |
| 図書館見学・職場体験の受入れ                       | 図書館見学や職場体験の受入れを積極的に実施する。同資格の取得を目指す生徒には、資格の取得方法等についてもアドバイスを行う。  | その他事業          | ・学校等の都合によるため目標値は設定しない。<br>・下記は参考値とする。(4件/R6年度)<br>① 見学受入数<br>② 職場体験受入数 (2名/R6年度) | -   | 総務企画係<br>矢ヶ部         |
| ポップ・バルーンをどばそう!<br>(こどもの読書週間)         | 利用者の声を取り入れ、情報の双方向性を深めるために、「ポップ」による絵本や読み物の紹介を利用者から募る。   | イベント<br>2-2-1  | ・イベント参加人数 (170人/R6年度)  | 320人 (R5同等)                                   | サービス二係<br>原口         |
| 子ども司書講座                              | 小学生を対象とした「子ども司書講座」を開催する。   | イベント<br>2-2-2  | ① 講座開催回数 (4回連続/R6実績)<br>② 参加人数 (1人/R6実績)   | ① 3回連続<br>② 10人 (定員)                          | サービス二係<br>原口・陣内      |
| 手づくり絵本教室/作品展                         | 専門の講師による手づくりの絵本を作成する体験教室を行う。また、「手づくり絵本作品展」を行い、優秀作品は電子図書館システムで公開する。   | イベント<br>2-2-3  | ① 教室開催回数 (3回/R6年度)<br>② 教室参加人数 (延べ104人/R6年度)<br>③ 作品展応募人数 (9人/R6年度)              | ① 3回 (R6同等)<br>② 100人 (R6同等)<br>③ 20人 (R6+11) | サービス二係<br>原口         |
| 調べる学習小学生講座/コンクール                     | 小学生を対象に、図書館を使った調べる学習を体験してもらう講座を開催する。また、「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールを開催し、優秀作品を全国コンクールへ推薦する。                            | イベント<br>2-2-4  | ① 講座参加人数 (16人/R6年度)<br>② コンクール応募数 (16作品/R6年度)                                    | ① 20人 (定員)<br>② 50作品 (R4同等)                   | サービス二係<br>レファ担当・児童担当 |
| 「みんなで読もう! オススメ本」                     | 県内の著名人が推薦する児童書や絵本と推薦文を展示する。  | イベント<br>2-2-5  | 展示月(3-4月)の本館児童書(雑誌含む)貸出点数:<br>47,334点 (R6年3-4月)                                  | 50,000点                                       | サービス二係<br>原口         |
| 図書館たんけん隊                             | 小学生を対象にした館内見学ツアーを開催する。   | イベント<br>2-2-6  | ・参加人数 (11人/R6年度 ※同伴者含)   | 10人 ※同伴者含                                     | 総務企画係<br>豊福          |
| 一日こども図書館長                            | こどもの読書週間をPRするため、近隣の小学校に通う児童(2名)に一日図書館長を体験してもらう。また、テレビ局や新聞社に情報提供を行い、取材活動を促す。  | イベント<br>2-2-7  | ・赤松小学校 (2人/R6年度)   | 2人  | 総務企画係<br>豊福          |
| 夏休み理科自由研究の支援<br>「君を助け隊」の開催           | 小学生を対象に、夏休みの自由研究の目的やテーマの決め方、調査方法やまとめ方などについて、専門の講師を招いて個別指導を行う。  | イベント<br>2-2-8  | ① ポイント編 (22人/R6年度)<br>② まとめ編 (20人/R6年度)<br>※いずれも保護者等同伴者を含む                       | ① ポイント編 30人<br>② まとめ編 20人<br>※保護者等同伴者含        | 総務企画係<br>豊福          |
| 【大和館】<br>こどもの読書週間イベント<br>＜図書館で人生ゲーム＞ | 本を借りて、サイコロをふる。サイコロの出た数でマスを進み、ゴールを目指す。参加者にはプレゼントがある。  | イベント<br>2-2-9  | ・参加人数 ( 209人/R6年度)   | 210人 (R6同等)                                   | 大和館<br>姉川・藤木・山口・堤    |
| 【大和館】<br>夏休み小学生司書の<br>お仕事体験          | 夏休み期間中の小学生に、貸出や返却などのカウンター業務や、書架整理など、司書の仕事を体験してもらう。   | イベント<br>2-2-10 | ・参加人数 ( 3人/R6年度)   | 4人 (2人ずつの2日間)                                 | 大和館<br>姉川・山口・堤       |
| 【東与賀館】                               | 夏休み期間中の子どもを対象としたスタンプラリーを実施する。期間: 7月1日～7月17日  | イベント           | ・参加人数 ( 224人 /R5年度)  | 200人  | 東与賀館                 |

| 夏休みイベント  | イベント   | 2-2-12   | 2-2-13 | 2-2-14 | 2-2-15 | 2-2-16 | 2-2-17 | 2-2-18 | 2-2-19 | 2-2-20 | 2-2-21 | 2-2-22 |
|--|--|--|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 【富士館】<br>わくわくスタンプチャレンジ                         | プレゼントを配布。<br>本の貸出(1日1回まで)につき、スタンプを<br>押す。一定数集めるごとにプレゼントを<br>配布。こどもの読書週間は「わくわくスタンプ<br>ダブルスタンプキャンペーン」を行う。<br>※通年イベント(対象は中学生以下) | イベント   | イベント   | イベント   | イベント   | イベント   | イベント   | イベント   | イベント   | イベント   | イベント   | イベント   |
| 【富士館】<br>ほんの森の春まつり2025<br>(こどもの読書週間)           | 子ども向けに、図書館や本に関するクイズ<br>「ミッション・イン・ライブラリー」を行う。<br>イベント期間中は中学生以下を対象に、<br>「わくわくスタンプダブルスタンプ<br>キャンペーン」も行う。                        | 2-2-12   | 2-2-13 | 2-2-14 | 2-2-15 | 2-2-16 | 2-2-17 | 2-2-18 | 2-2-19 | 2-2-20 | 2-2-21 | 2-2-22 |
| 【富士館】<br>図書館オリエンテーション                          | 富士校小学部と協働で実施。<br>学校に outgoing、全学年の児童に向けて<br>市立図書館の使い方やブックトーク、<br>おすすめの本を紹介する。  | 中止(R5年度)   |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 【富士館】<br>図書館見学                                 | 富士校小学部及び北山小学校小学部と協働で<br>実施。<br>図書館内の見学、ブックポスト、児童からの<br>図書館に関する質問に答える。<br>また、おぼろしきやイベントの案内を行う。                                | ①参加人数 20人(R5年度・富士校11人+北山校9人)<br>②富士町在住の7~9歳の利用登録率(53.6%/R5年度末)<br>※37人/69人 |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 【川副館】<br>こどもの読書週間イベント<br>「こども読書ビンゴ」            | 読書に関する項目のビンゴカード用意し、<br>貸出本に対してスタンプを押印。ビンゴの<br>そろった列数に応じて景品をプレゼント。  | 50人  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 【三瀬館】<br>こどもの読書週間イベント<br>「本を借りてプレゼントを<br>もらおう」 | こどもの読書週間に合わせてイベントを<br>実施する。  | 80人  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 【三瀬館】<br>2025夏読書がんばりカード                        | 三瀬小学校と連携し、図書館利用を奨めず<br>取組みや、貸出のたびにシールを貼る台紙<br>を配布する。シールを多く集めた子は<br>学校で表彰。三瀬小以外の参加者は<br>図書館で表彰する。                             | 50人  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 【三瀬館】<br>図書館見学                                 | 三瀬小学校と協働で実施。<br>ブックポストや閉架書庫など、普段入れない<br>場所を見学させるとともに、質問に答える。<br>また、おぼろしきやイベントの案内を行う。   | ①2年生10人程度<br>②79.2%(R4同等)  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 【久保田館】<br>スタンプラリー<br>(春と夏のイベント)                | 春休みと夏休みに実施。課題を達成する<br>毎に台紙にシールを貼り、その数に応じて<br>景品をプレゼントする子ども向けイベント。  | ①70人<br>②110人  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 【久保田館】<br>こどもの読書週間イベント                         | 4月下旬~5月中旬。こどもの読書週間に<br>合わせて、おすすめの本を紹介するPOPを<br>作成してもらい、館内に掲示する。POPを<br>作成した子どもにはプレゼントを配布する。                                  | 80人  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |   |  |
|-----------------------------|---|--|
| 基本目標                        | ②子どもの成長に役立つ図書館  |  |
| 方向性                         | ③子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。   |  |
| サービス計画に記載した具体例              | ○資料の団体貸出や除籍資料の配布<br>○読書や読み語りに関する情報提供や相談受付<br>○読み語りボランティア活動の支援                       |  |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | ・子どもにとって一番身近な図書館である学校図書館について、電子図書館システムの活用も含め、団体貸出に留まらない支援のあり方や情報交換の機会について検討する必要がある。 |  |

サービス・事業

| 内容                            | サービス・事業の概要   | 種別<br>企画書     | 指標(実績)   | R7目標値                          | R7実績 | 担当係(館)<br>担当者         |
|-------------------------------|--|---------------|--|--------------------------------|------|-----------------------|
| 団体貸出サービス(学校団体)                | 佐賀市内の市立小中学校を対象に団体貸出を行う。                                  | 通年サービス<br>-   | ①年間利用学校団体数 (51団体/R5年度)<br>②学校団体への年間貸出点数 (9,617点/R5年度)          | ①51団体<br>②12,000点              |      | 総務企画係・各分館、各分室<br>豊福   |
| おはなし会用資料の貸出                   | 各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。                             | 通年サービス<br>-   | ・貸出点数 (83点/R5年度)   | 115点 (R1同等)                    |      | サービス二係<br>原口          |
| 除籍資料の配布(市立小中学校・市関連施設)         | 図書館本館で除籍した図書や雑誌を、市立の小中学校や、保育所、児童館等、市の子ども育成に関連する施設に配布を行う。 | 通年サービス<br>-   | ①小中学校への配布数 (2,552点/R5年度)<br>②児童館等への配布数 (291点/R5年度)<br>※一係対応分のみ | ①2,500点 (R5同等)<br>②300点 (R5同等) |      | サービス一係<br>内山          |
| 学校図書館への支援のあり方検討               | 学校図書館との情報交換により、学校図書館への支援のあり方を検討する。                       | 通年サービス<br>-   | ※指標の設定なし   | -                              |      | 総務企画係・サービス二係<br>豊福、原口 |
| 保育園・幼稚園・認定こども園等への情報提供や相談受付    | 佐賀市立図書館や読み語りに関する情報提供を行うとともに、読み語り等に関する相談に対しアドバイスを行う。      | 通年サービス<br>-   | ・情報提供回数 (0回/R5年度)  | 2回                             |      | サービス二係<br>原口          |
| 読み語り講座の開催(読み語りボランティア養成講座から変更) | 子育て中の人や読み語りに興味のある人、ボランティア活動をしている人が、読み語りの必要性や基礎知識、技術等を学ぶ。 | イベント<br>2-3-1 | ①開催回数 (2回/R6年度)<br>②受講人数 (延べ58人/R6年度)                          | ①2回 (R6同等)<br>②60人 (R6同等)      |      | サービス二係<br>寺下・内山       |

事業内容

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |   |  |
|-----------------------------|---|--|
| 基本目標                        | ③多様な人々が集う図書館  |  |
| 方向性                         | ①市民のサーブドブレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。  |  |
| サービス計画に記載した具体例              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすい案内サービス</li> <li>○多様なスペースの提供</li> <li>○安心して使用できる居心地のいい空間の提供</li> </ul>   |  |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内の案内表示については、多言語による案内や視覚的に伝わりやすいピクトグラムなどの使用も考慮しながら、それぞれの内容に合わせて分かりやすい物に更新していく必要がある。また、各コーナーにおいて各担当者により必要な案内表示の修正、追加について検討することも必要である。</li> <li>・館内施設の貸出や学習室の利用など、資料の閲覧や貸出など以外に図書館で利用できるサービスについて、市民に分かりやすく伝えるために複数枚の写真や動画などをホームページ等に掲載するなど工夫する必要がある。</li> <li>・市民が利用しやすいスペースを提供するために、大規模改修計画と合わせて進めていく必要がある。</li> </ul> |  |

| サービス・事業 |                                 |  |             |  |                  |                    |
|---------|---------------------------------|--|-------------|--|------------------|--------------------|
| 内容      | サービス・事業の概要                      | 種別<br>企画書  | 指標(実績)      | R7目標値  | R7実績             | 担当係(館)<br>担当者      |
| 事業内容    | わかりやすい案内表示                      | 図書館内の案内表示について点検を行い、老朽化したものやわかりづらいものがある場合は随時更新していく。 | 通年サービス<br>- | ※指標の設定なし   | -                | 総務企画係・各分館・分室<br>豊福 |
|         | 閲覧スペースの設置                       | 各館に利用者が自由に読者や調べものなどができる閲覧スペースを設置する。                | 通年サービス<br>- | ※指標の設定なし   | -                | 総務企画係・各分館<br>若松    |
|         | ギャラリ/多目的ホール等の貸出                 | 講演会や発表会、コンサート等で利用できるよう、市内で活動する団体向けに本館施設の一部を貸出する。   | 通年サービス<br>- | ・施設使用件数(284件/R5年度<br>多目的ホール82件、大集会室98件、和室60件、<br>研修室2件、中央・ロビーギャラリー42件)             | 300件<br>※研修室利用不可 | 総務企画係<br>豊福        |
|         | 学習室の設置                          | 本館及び大和館に学習室を設置する。                                  | 通年サービス<br>- | ・利用人数(本館)(9,884人/R5年度)<br>※本館は学習室26席、フリー学習コーナー20席設置<br>※大和館は学習室31席、利用者数はカウントしていない。 | 10,000人          | 総務企画係・大和館<br>豊福・宮崎 |
| 喫茶室の設置  | 本館利用者の食事や休憩などに利用できるよう、喫茶室を設置する。 | 通年サービス<br>-  | ※指標の設定なし    | -  | -                | 総務企画係<br>若松        |

| 事業内容 | 飲食や休憩、読書など多目的で利用できる屋外読書スペースを設置。椅子や机は、劣化状況を確認しながら入替を検討する。 | 通年サービス | ※指標の設定なし   | -                                  | - | 総務企画係 |    |
|------|--|--------|--|------------------------------------|---|-------|----|
|      |  |        |  |                                    |   | 若松    | 若松 |
| 事業内容 | 屋外読書スペースの設置  | -      | ※指標の設定なし   | -                                  | - | 総務企画係 | 若松 |
|      | 施設の定期点検・修繕   | その他事業  | ① 開館中の空調の停止発生件数：0回<br>② 開館中のエレベーター停止回数：0回  | ①10回<br>②20回                       |   | 総務企画係 | 若松 |
|      | 施設の定期清掃  | その他事業  | ① 日時清掃：全開館日及び特別整理期間中の最終の2日間<br>② 全館ワックスがけ：年2回<br>③ カウンター廻りのワックスがけ：年6回<br>※いずれもR6年度 | ①全開館日、及び特別整理期間中の最終2日間<br>②年2回 ③年6回 |   | 総務企画係 | 若松 |
|      | 施設の警備  | その他事業  | ※指標の設定なし   | -                                  | - | 総務企画係 | 若松 |

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 基本目標                        | ③多様な人々が集う図書館  |
| 方向性                         | ②日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。   |
| サービス計画に記載した具体例              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語を母国語としない人へのサービス</li> <li>○障がいにより図書館の利用や読書が困難な人へのサービス</li> <li>○高齢者を対象としたサービス</li> </ul>  |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語を母国語としない人が図書館を利用しやすいように、市内在住者の母国語の傾向に合わせて、外国語での図書館利用案内の作成や多言語の表示を追加する必要があります。ただし、多くの表示を多言語化することは表示スペース的にも困難なため、主なものを多言語表示として、それ以外のものは「やさしい日本語」を使用するなど内容によって工夫していく必要がある。</li> <li>・市内在住者の母国語の傾向や日常の情報行動を調査し、今後の外国語資料のあり方を検討する必要がある。</li> <li>・令和元年6月に読書ハリアフリー法が施行されたことに伴い、佐賀県立点字図書館などと連携しながら、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を再検討する必要がある。</li> </ul> |

サービス・事業

| 内容  | サービス・事業の概要  | 種別<br>企画書   | 指標(実績)                                  | R7目標値              | R7実績 | 担当係(館)<br>担当者      |
|---|---|-------------|---|--------------------|------|--------------------|
| ハンディキャップサービスコーナーの運営<br><br>郵送・宅配サービスの実施<br><br>マルチメディアプレイヤー図書書の提供<br><br>対面朗読サービスの実施<br><br>拡大読書機・虫眼鏡・老眼鏡の提供<br><br>大活字本の提供 | 本館ハンディキャップサービスコーナーの運営を行う。                                     | 通年サービス<br>- | ※指標の設定なし                                | -                  |      | サービス係<br>測         |
|   | 視覚障がいや身体が不自由などのため来館が困難、かつ家族の支援が受けられない市民を対象に、無料で郵送・宅配による貸出を行う。 | 通年サービス<br>- | ①登録人数(8人/R5年度)<br>②実施件数(66件/R5年度)       | ①11人<br>②100件      |      | サービス係<br>測         |
|   | 文字や音声、画像を同時に再生できる電子書籍「マルチメディアプレイヤー図書」の収集・提供を行う。               | 通年サービス<br>- | ①所蔵数(54点/R5年度)<br>②新規受入点数(0点/R5年度)      | ①57点<br>②23点       |      | サービス係<br>測         |
|   | 本館ハンディキャップサービスコーナー内で、ボランティアによる対面朗読サービスを行う。                    | 通年サービス<br>- | ・実施日数(50日/R5年度)                         | 50日                |      | サービス係<br>測         |
| 拡大読書機・虫眼鏡・老眼鏡の提供  | 小さな文字が見えにくい方のために、拡大読書機や虫眼鏡、老眼鏡の提供を行う。                         | 通年サービス<br>- | ※指標の設定なし                                | -                  |      | サービス係・各分館・各分室<br>測 |
| 大活字本の提供   | 小さな文字が見えにくい方のために、大活字本の収集・提供を行う。                               | 通年サービス<br>- | ①所蔵数(1,584点/R5年度)<br>②貸出点数(3,033点/R5年度) | ①1,650点<br>②3,500点 |      | サービス係・各分館・各分室<br>測 |

| 事業内容           | 読書・バーチャルフリー法への対応方針の検討        | 関連団体や関連部署と連携しながら、障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を検討する。   | その他事業                   | ※指標の設定なし   | -                                  | - | サービス一係                 |
|----------------|------------------------------|--|-------------------------|--|------------------------------------|---|------------------------|
|                |                              |  |                         |  |                                    |   |                        |
| 事業内容           | 高齢者向けサービスのあり方検討              | 認知症支援や高齢者の生きがいづくりなど、高齢者向けのサービスのあり方を検討する。   | その他事業<br>-              | ※指標の設定なし   | -                                  | - | サービス一係<br>内山           |
|                | 電子図書館システム運用管理事業              | 「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料（行政資料・郷土資料・市民の学習成果等）の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの運用管理を行う。特に子ども（小学生～高校生）をメインターゲットとする。 | 通年サービス<br>-             | ① 電子書籍の提供点数 1,083点 (R6.12.24時点)<br>② リフロー型書籍の提供点数 478点+21点 (R6.12.24時点)<br>③ 音声/動画コンテンツの提供点数 45点+100点 (R6.12.24時点) | ① 1,500点<br>② 520点<br>③ 150点       |   | 総務企画係/サービス一係<br>矢ヶ部・真子 |
|                | 外国語資料のあり方の検討及び収集・提供          | 外国籍の方の居住実態等を参考にしながら外国語資料の収集を継続して行うとともに、今後の方針について検討を行う。   | その他事業<br>-              | ① 資料点数 (5,838点/R5年度末)<br>② 貸出回転率 (0.27回/R5年度)  | ① 5,900冊 (R5同様)<br>② 20.27回 (R5同様) |   |                        |
| 多言語での図書館サービス案内 | 図書館内の案内表記の多言語化を検討し、順次実施していく。 | その他事業<br>-   | ・タガログ語による利用案内の作成 (R5年度) | -  | -                                  | - | 総務企画係<br>豊福            |

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |   |  |
|-----------------------------|---|--|
| 基本目標                        | ④市民と共に変革を進める図書館   |  |
| 方向性                         | ①限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。   |  |
| サービス計画に記載した具体例              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○長期的な視点での本館施設の管理</li> <li>○危機管理や業務継続性に関する取組</li> <li>○将来の図書館サービスのあり方の検討</li> <li>○環境に配慮した取組</li> </ul> |  |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | <ul style="list-style-type: none"> <li>○年度事業計画の策定と管理</li> <li>○司書の確保と資質向上への取組</li> <li>○業務効率化や外部資金活用のための取組</li> <li>○図書館要覧の作成</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の達成に向けて、事業計画の進捗管理や事業・体制の改善を行っていく必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス等の感染症や災害時にサービスを継続させるための体制づくりを行う必要がある。</li> <li>・本館大規模改修に向けた準備を進める必要がある。</li> </ul> |

サービス・事業

| 内容                   | サービス・事業の目的  | 種別<br>企画書  | 指標(実績)                                 | R7目標値                        | R7実績 | 担当係(館)<br>担当者 |
|----------------------|---|------------|--|------------------------------|------|---------------|
| 年度事業計画の策定と管理         | 第3次佐賀市立図書館サービス計画に基づき、年度事業計画を策定する。また、事業やサービスの進捗管理を行う。                  | その他事業<br>- | ・R5年度第3回(委員改選年度)佐賀市立図書館協議会に年度事業計画を諮った。 | R6年度第2回佐賀市立図書館協議会に年度事業計画を諮る。 |      | 総務企画係<br>増本   |
| 県内の公共図書館との情報交換       | 年度事業計画の策定や図書館サービスの参考とするため、県内の公共図書館の担当者会議に出席するなどとして、県内の公共図書館との情報交換を行う。 | その他事業<br>- | ・担当者会議への出席回数 (1回/R6年度)                 | 2回                           |      | 総務企画係<br>矢ヶ部  |
| 図書館要覧の作成             | 市立図書館の概要(沿革、施設、理念、事業、各種統計など)を記載した図書館要覧を毎年作成し、ホームページで公開する。             | その他事業<br>- | ・公開状況 (8/4にホームページで公開/R6年度)             | 8/8までに公開                     |      | 総務企画係<br>北島   |
| 【重点事業】<br>本館大規模改修事業  | R5～6年度 基本構想・基本計画の策定、R6～8年度 設計業務<br>～R10年度 改修工事<br>R10年度中 完成及び開館       | その他事業<br>- | ・大規模改修基本構想・基本計画案を策定 (R5年度)             | ・大規模改修基本設計の策定<br>・実施設計の着手    |      | 総務企画係<br>若松   |
| 図書館実習生の受入            | 司書資格を持つ人材を育成するため、本市出身者や市内在住者を中心に図書館実習生の受入を行う。                         | その他事業<br>- | ・受入人数 (5人/R6年度)                        | 学校都合によるため目標値としては設定しない。       |      | 総務企画係<br>矢ヶ部  |
| 司書の資質向上のための管内全体研修の実施 | 年に10回程度の館内全体研修を行う。  | その他事業<br>- | ・実施回数 (8回/R5年度)                        | 10回                          |      | 総務企画係<br>北島   |

事業内容



|      |                        |                                  |                |  |                  |                           |
|------|------------------------|----------------------------------|----------------|--|------------------|---------------------------|
| 事業内容 | 【東与賀館】<br>ブックリサイクル ※再掲 | 東与賀館の除籍した図書・雑誌を、<br>利用者に無償で譲渡する。 | イベント<br>1-3-12 | ①-1 除籍(図書)資料の配布数 (648点/R5.10~11実績)<br>②-1 図書リサイクル参加人数 (179人/R5.10~11実績)<br>①-2 除籍(雑誌)資料の配布数 (649点/R5.1~2実績)<br>②-2 雑誌リサイクル参加人数 (141人/R5.1~2実績) | ①1,500点<br>②350人 | 東与賀館<br>古賀み・古賀れ・<br>鯛島・浦原 |
|      | 【久保田館】<br>ブックリサイクル ※再掲 | 久保田館の除籍した図書・雑誌を、<br>利用者に無償で譲渡する。 | イベント<br>1-3-24 | ① 配布数 (25点/R5年度)<br>② 参加人数 (8人/R5年度)   | ①30点<br>②20人     | 久保田館<br>内田・小松・篠原          |

令和7年度 佐賀市立図書館 事業管理票

|                             |  |  |
|-----------------------------|--|--|
| 基本目標                        | ④市民と共に変革を進める図書館  |  |
| 方向性                         | ②市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。                        |  |
| サービス計画に記載した具体例              | ○市民団体やボランティアとの協働<br>○有識者や市民の意見の活用                      |  |
| 本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など | ・ボランティア同士の交流や図書館職員と意見交換ができる機会が必要である。(ボランティアアンケートの意見より) |  |

サービス・事業

| 内容                          | サービス・事業の目的  | 種別<br>企画書   | 指標(実績)   | R7目標値   | R7実績         | 担当係(館)<br>担当者         |                |
|-----------------------------|---|---|--|---|--------------|-----------------------|----------------|
| 事業内容                        | 「図書館を友とする会・さが」との協働<br>イベントの共催や意見交換会への館長の出席等を継続して実施する。                 | その他事業<br>-  | ①「図書館を友とする会・さが」との共催イベント回数(1回/R5年度)<br>② 意見交換会への館長の出席 (1回/R5年度)   | ①協働事業2回<br>②意見交換会1回   |              | 総務企画係<br>増本           |                |
|                             | おはなしボランティアとの協働  | その他事業<br>-  | ①読み語のボランティアを対象としたイベントでの総合的な満足度(本館) 91.6%(R6年度)<br>② おはなし会の開催回数 159回(本館: 71回、大和: 34回、諸富: 23回、東与賀: 22回、富士: 7回、久保田: 2回)(R5年度) | ①本館: 92%<br>② 160回(本館: 74、大和: 35、諸富: 21、東与賀: 21、富士: 7、久保田: 2) |              | サービス二係・各分館<br>原口、各分館長 |                |
|                             | 対面朗読ボランティアとの協働  | 対面朗読ボランティアと協働し、本館ハンディキャップサービスコーナーで対面朗読サービスを行う。                              | その他事業<br>-   | ① 対面朗読ボランティアの満足度 (75.0%/R6年度)<br>② 対面朗読サービスの実施日数 (50日/R5年度)   | ①70%<br>②50日 |                       | サービス一係<br>坂本・洲 |
|                             | 園芸・植栽・館内の花のお世話のボランティアとの協働(本館)   | 外園部の植栽や花壇、館内の花の世話を行うボランティアに対し、肥料や苗、備品や消耗品の提供を行う。また、ボランティア活動保険の保険料を図書館で負担する。 | その他事業<br>-   | ※指標の設定なし  | -            |                       | 総務企画係<br>若松    |
| 市民団体やボランティアを対象としたアンケート調査の実施 | 図書館で活動する市民団体やボランティアを対象とし、活動の実態や満足度を把握するためにアンケート調査を実施する。               | その他事業<br>-  | ・調査回数 (1回/R6年度)  | 年1回   |              | 総務企画係<br>矢ヶ部          |                |
| 図書館への手紙(一般)                 | 利用感想などを記載して、図書館に送るポストを本館に設置するとともに、手紙と図書館の返事について、館内やホームページで閲覧できるようにする。 | その他事業<br>-  | ・一週間以内の返答率 (85.7%/R5年度)  | 85.0%   |              | 総務企画係<br>矢ヶ部          |                |

| 事業内容 |           | 図書館協議会の開催                                 | 有識者と公募委員で構成される図書館長の諮問機関である「図書館協議会」を年に2回開催し、図書館の運営やサービスについて諮問を行う。  | その他事業         | 開催回数 2回/年<br>※R7年度から委員改選年度も2回に変更  | 2回/年  | 総務企画係           |
|------|-----------|---|---|---------------|---|---|-----------------|
| 事業内容 | 図書館協議会の開催 | 対面朗読ボランティア<br>初級養成講座の実施                   | 新たにボランティア活動を希望する人や、既にボランティア活動中の人を対象に対面ボランティア養成講座を開催する。            | -             | ① 開催回数 (1回/R5年度)<br>② 受講人数 (19人/R5年度)<br>③ 対面朗読ボランティアを対象としたアンケートでの「研修の充実」に対する満足度 (46.4%/R6年度) | 20回/年<br>① 1回 (R6同等)<br>② 20人 (定員)<br>③ 55% | 増本・矢ヶ部          |
|      |           | 読み語り講座の開催※再掲                              | 子育て中の人や読み語りに興味のある人、ボランティア活動をしている人が、読み語りの必要性や基礎知識、技術等を学ぶ。          | イベント<br>4-2-1 | ① 開催回数 (2回/R6年度)<br>② 受講人数 (延べ58人/R6年度)   |   | サービス係<br>測      |
|      |           | 【新規】イベント実施に係る一般公募のボランティア、学生ボランティアとの協働(本館) | 図書館が実施するイベントの準備・運営に参加するボランティアを募集。一般の方についてはボランティア活動保険の加入料を図書館で負担する | イベント<br>2-3-1 | ※指標の設定なし  |   | サービス二係<br>寺下・永測 |
|      |           |   |   | イベント<br>1-3-2 |   | -   | サービス係<br>内山     |

# R7 年度イベント企画書

| 館名        | イベント企画数 |    |    |    |    |
|-----------|---------|----|----|----|----|
|           | R3      | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 本館・分室・自動車 | 19      | 23 | 21 | 20 | 20 |
| 大和館       | 6       | 8  | 8  | 8  | 8  |
| 諸富館       | 9       | 8  | 8  | 9  | 7  |
| 東与賀館      | 9       | 11 | 10 | 8  | 8  |
| 富士館       | 9       | 9  | 10 | 10 | 10 |
| 三瀬館       | 5       | 5  | 6  | 6  | 5  |
| 川副館       | 2       | 4  | 4  | 4  | 4  |
| 久保田館      | 7       | 7  | 7  | 8  | 8  |
| 計         | 65      | 75 | 74 | 73 | 70 |

## OR6 からの主な変更点

### 【R7 新規イベント】

諸富館：（仮称）諸富館新築開館イベント

### 【R7 休止イベント】

諸富館：夏のイベントスタンプラリー／おはなしの素（夏のおはなし会）／図書館お仕事体験

三瀬館：クリスマスふれあいおはなし会

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 分室利用促進のためのイベント   |
| 担当部署/担当者              | サービス一係 / 坂本、分室担当者 / 会計年度任用職員(12名)  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 各分室の利用者（小学生を中心に、幼児から大人まで）  |
| 集客予定人数/定員             | イベント参加者：約3,500人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | イベントを通じ、「図書館利用の楽しさ」を知ってもらい、継続的な利用につなげる。<br>また、「楽しい経験」を家族や友人に伝えることで、未利用者にも興味を持ってもらい、来室のきっかけとすることで、新規利用者の開拓につながっていくことを目指す。 |
| イベントの内容               | 来室や貸出冊数等に応じたスタンプラリーやくじ引き形式<br>⇒景品は手づくり品や雑誌付録など   |
| 日時・場所                 | ・夏季：6分室合同のイベント<br>・秋～冬季：季節のイベント（各分室：1～2回）  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ・ポスター掲示（全館、各公民館、近隣小中学校、近隣幼稚園・保育園等）<br>・市報掲載<br>・図書館ホームページ掲載  |
| 予算                    | 分室・自動車図書館運営経費<br>消耗品費 分室イベント用消耗品 ¥ 50,400  |
| 実施体制                  | 各分室会計年度任用職員2名<br>⇒主に貸出手続きと連動するイベントなので、特別な対応はなし。<br>⇒景品づくりなど準備は、中央カウンター担当者も協力する場合も。                                       |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | ポスター掲示依頼をする公民館学校・保育園等  |
| (昨年度からの改善点)           | イベント開催時に書架の本にも目が向くよう、日頃から展示を工夫することで、継続して利用してもらえるような魅力づくりに努める。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【本館】除籍資料の市民への配布について   |
| 担当部署/担当者              | サービス一係 / 内山   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に佐賀市民を中心とする図書館利用者  |
| 集客予定人数/定員             | 800人（400人×2回） / -   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 本館の除籍資料（書籍・雑誌）を無料で譲渡することにより、資源のリユースに努めるとともに、図書館の魅力をアピールして利用促進を図る。   |
| イベントの内容               | 本館の除籍資料（書籍・雑誌）を無償で配布（年2回）   |
| 日時・場所                 | 5月17日（土）及び11月29（土）、10時～15時予定・本館多目的ホール   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 館内へのポスター掲示、チラシ設置、市報、ホームページ  |
| 予算                    | ボランティア活動保険加入料 350円×人数   |
| 実施体制                  | サービス一係 職員2名、会計年度任用職員6名程度<br>会計年度任用職員は通常勤務または超過勤務で対応<br>公募ボランティア若干名  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 一般及び西九州大学からのボランティアを募集。前日の準備作業及び当日のイベント運営に参加。  |
| (昨年度からの改善点)           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開始時間前後の入場及び待機者の混雑軽減のため整理券を配付。</li> <li>・選書後の持帰り資料冊数等の検収を省略、冊数は参加者の自己申告として従事職員数を削減。</li> <li>・事務処理と人員のバランスを図るため、事務の軽減を図り改善していく。</li> <li>・ホールでの集客イベントではなく、ロビー等にリサイクル資料を設置し希望者が自由に本を持ち帰ることができる形態での実施を検討する。</li> </ul> |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 図書館外周部のイベントに併せた除籍本の配布  |
| 担当部署/担当者              | 総務企画係 / 矢ヶ部、サービス係 / 内山   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 3rdPlaceMarketへの出店者・来店者(特に20代~40代の子育て世代)   |
| 集客予定人数/定員             | 概ね200人程度 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館の外周部で毎年行われている3rdPlaceMarketには、毎年多くの市民が訪れている。特に普段図書館を利用しない若い世代や子ども連れの家族などに、図書館の資料や取組に興味を持ってもらうことで、新規の利用者の獲得に繋げたい。                                    |
| イベントの内容               | 3rdPlaceMarketに図書館のブースを出展し、除籍本のうち特に「暮らし」「子育て」に分類される本・雑誌の配布を行う。また、関連する館内資料の場所の案内・除籍本のリユースに関する取組などについても紹介を行う。<br>※他の出展者と競合しないよう配慮したうえで、紙芝居や絵本、児童書の配布も行う。 |
| 日時・場所                 | 日時未定(春/秋頃の年2回を予定) / 図書館本館外周部   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 株式会社サードプレイスが運営するSNSアカウントや、3rdPlaceMarketのチラシでの広報を行う。(普段の図書館利用者を対象としないため、図書館での広報はあえて実施しない)  |
| 予算                    | 不要   |
| 実施体制                  | 土日祝日のいずれかの開催となるため、担当者の振替休日もしくはシフト変更で対応を行う。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 株式会社サードプレイス  |
| (昨年度からの改善点)           | 午前中~14時頃がピークのため、その時間帯にできるだけ多くの資料を配布できるよう、セッティングや人員配置を行いたい。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 図書館秋のコンサート   |
| 担当部署/担当者              | 総務企画係 / 豊福   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 10代以上  |
| 集客予定人数/定員             | — / 定員50人  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館を普段利用しない幅広い世代の市民等に対して、クラシックやアニメ音楽等による演奏会を開催し、気軽に図書館へ来館するきっかけづくりとし、生の音楽の素晴らしさに触れる機会を提供する。音楽に関連する資料の展示等も合わせて行うことで、資料の利用拡大を図る。 |
| イベントの内容               | 佐賀を中心に活動されている若手音楽家を招き、親しみのあるクラシックやアニメ音楽等を生楽器により演奏する。演奏会の中では、楽器や曲などについてのトークを交えていただくことで、より深く音楽の持つ魅力を楽しんでもらう。                     |
| 日時・場所                 | 令和7年11月16日（日）午後・本館2階多目的ホール   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 本館・分館・分室・自動車図書館にチラシ・ポスターの設置、ホームページへの掲載、市政記者投げ込みによる新聞への掲載、ラジオ等による広報。  |
| 予算                    | 報償金（謝礼）6,000円/1h×2h×2人=24,000円<br>手数料（著作権使用料）2,200円  |
| 実施体制                  | 広報担当2名、団体貸出または自動車図書館担当1名<br>日曜日の開催となるため、当日指定休の広報担当1名及び団体貸出または自動車図書館担当1名についても超過勤務で対応する。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 若い音楽家の集い、佐賀県音楽協会   |
| (昨年度からの改善点)           | 参加申込において、演奏者の関係者が多く認められたため、一般の募集定員50名の参加者とは別に関係者席を設けることで、より多くの市民が参加できるようにする。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 落語会   |
| 担当部署/担当者              | 総務企画係 / 豊福  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 10代以上   |
| 集客予定人数/定員             | — / 定員50人   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館を普段利用しない10代の若い世代から幅広い世代の市民等に対して、幅広い世代に人気がある落語会を開催し、気軽に図書館へ来館するきっかけづくりとする。また、関連資料の展示を行い、図書館の利用拡大を図る。                                      |
| イベントの内容               | 佐賀県内で「落語の笑いで佐賀を元気に！」を合言葉に活動されている笑菱会（佐賀大学落語研究会OB会）のメンバー3名の出演により、「笑いで健康になること」をテーマとし、落語会を開催する。   |
| 日時・場所                 | 令和8年1月11日（日）午後・本館2階多目的ホール   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 本館・分館・分室・自動車図書館にチラシ・ポスターの設置、ホームページへの掲載、市政記者投げ込みによる新聞への掲載、ラジオ等による広報。   |
| 予算                    | 委託料14,000円  |
| 実施体制                  | 広報担当2名、団体貸出または自動車図書館担当1名<br>日曜日の開催となるため、当日指定休の広報担当1名及び団体貸出または自動車図書館担当1名は、超過勤務または振替勤務で対応する。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |   |
| (昨年度からの改善点)           | 図書館では毎年恒例のイベントとして定着し、好評を博しているが、申込者50名のうち、15名の欠席があった。そのほとんどが欠席の連絡はなく、結果として当日は空席が目立つ状態であったため、受付時の説明において欠席する際には早めの事前連絡をしてもらうように、説明を徹底するようにしたい。 |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | ブーカスマつりの開催   |
| 担当部署/担当者              | 総務企画係 / 豊福   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：市内全域で図書館の資料を利用できるようにします。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 自動車図書館の利用者、及び新規利用者   |
| 集客予定人数/定員             | 7月 60人 / 8月 30人 / 12月 120人   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 市内小中学校の夏休み期間や冬季は、自動車図書館ブーカス号の利用が減少する傾向があるため、夏休みやクリスマスの時期に合わせてイベントを開催することで、ブーカス号のPRを行うと共に、各サービスステーションにおける利用促進を図る。   |
| イベントの内容               | 期間中にブーカス号で図書館資料を借りた利用者に対して、手づくりのマグネットやしおりなどのオリジナルグッズを贈る。   |
| 日時・場所                 | 日時未定（夏・冬開催予定）・各自動車図書館サービスステーション  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 本館・分館・分室・自動車図書館にチラシ・ポスターの設置、ホームページへの掲載、ラジオ等による広報。  |
| 予算                    | なし   |
| 実施体制                  | 自動車図書館担当 2名<br>通常の巡回の中で開催しているため、追加人員等の必要なし。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |  |
| (昨年度からの改善点)           | ブーカスマつりの開催により期間中の巡回においては利用者数や貸出点数は大幅に減少することなく一定の成果は得られているが、特に夏季の猛暑については巡回中止により利用は大幅に減少している。そのため、8月においては午前中の巡回など検討しているが、新規利用者を増やすことも含めて、自動車図書館ブーカス号の館報での特集やSNSでの情報発信など一層のPRも兼ねた広報を行う。 |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 図書館音楽フェス  |
| 担当部署/担当者              | 総務企画係 / 豊福  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 趣味で歌唱や楽器演奏などの音楽活動を行っている個人、団体  |
| 集客予定人数/定員             | — / 定員10組   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館を普段利用しない若い世代の市民等に対して、楽器を演奏できる場を提供することで、図書館へ来館するきっかけづくりとする。さらに、県立盲学校の生徒による演奏会も同時開催し、多くの市民が身近に音楽を楽しめることで図書館のPRや資料の利用拡大を図る。                 |
| イベントの内容               | 趣味で楽器の演奏を楽しんでいる市民に練習の成果を披露する場として図書館を利用してもらおう。佐賀県立盲学校に協力を依頼し、生徒による演奏会も開催することで多くの市民が身近に音楽を楽しめる音楽会とする。観覧は自由として音楽に興味がある市民や出演者の関係者など多くの参加が見込まれる。 |
| 日時・場所                 | 令和7年12月7日（日）午後2時・本館2階多目的ホール   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 本館・分館・分室・自動車図書館にチラシ・ポスターの設置、佐賀市内小中学校へチラシ等の配布、ホームページへの掲載、市政記者投げ込みによる新聞への掲載、ラジオ等による広報。  |
| 予算                    | なし  |
| 実施体制                  | 広報担当2名、団体貸出または自動車尾図書館担当職員1名<br>日曜日の開催となるため、当日指定休の広報担当1名及び団体貸出または自動車図書館担当職員1名は、超過勤務または振替勤務で対応する。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 佐賀県立盲学校   |
| (昨年度からの改善点)           | 令和6年度においては、初めての開催で認知度が低く参加者が少なかったが、次年度での参加の意向を示した個人や団体が多かったため、出場者枠数を増やし、また一般参加者については、参加しやすいように初級者と上級者とを分けて2部構成も検討する。                        |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【大和館】大和館まつり <秋の読書週間イベント>   |
| 担当部署/担当者              | 大和館 / 山崎、野中、齋藤、姉川、藤木   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 市民 ※どなたでも参加できる   |
| 集客予定人数/定員             | <1>1000人 / 定員なし <2>650人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館利用者の読書意欲の向上及び新規利用者の増加を図ることを目的とする。   |
| イベントの内容               | <1>雑誌付録プレゼント：定期購読している雑誌の付録を抽選で利用者に提供する。<br><2>ブックリサイクル：大和館で除籍した図書・雑誌を利用者に無償で譲渡する。  |
| 日時・場所                 | <1>10月31日（金）～11月9日（日）大和館内<br><2>10月31日（金）～11月6日（木）春日公民館ロビー   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ配布、館内にポスター掲示</li> <li>・図書館HP及び大和館ブログによりPR</li> <li>・大和館カウンターでのPR</li> <li>・公民館だより（春日公民館）掲載</li> </ul> |
| 予算                    | 不要   |
| 実施体制                  | 司書   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | <p>&lt;1&gt;景品の写真を表示したパネルが度々落下したため、落下しないように工夫する。</p> <p>&lt;2&gt;開始直後は大人数で混雑するので、大和町内4小学校の司書の先生には開始日前日（館内整理日）に提供することを検討する。</p>                   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【諸富館】新春くじびき（雑誌ふろくプレゼント）  |
| 担当部署/担当者              | 諸富館 / 駄原   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 諸富館利用者   |
| 集客予定人数/定員             | 120人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 利用者が楽しく来館できる機会を作り、たくさんの本との出会いや貸出数・登録者数の増加へ繋がりたい。イベントを通して、利用者と積極的にコミュニケーションをとり、図書館や職員に対し親しみを感じてもらおうようにする。 |
| イベントの内容               | 本（雑誌を含む。代理・延長貸出/CD/DVD/マンガは除く。）を5冊以上借りたらくじを1回ひく。当たりが出たら雑誌付録などのプレゼントを渡し、外れたら参加賞を渡す。後日再チャレンジ可。             |
| 日時・場所                 | 1月初め～4, 5日間。場所：諸富館内  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 諸富館内・入口ポスター掲示 11月発行の「もろどみかんだより」に掲載   |
| 予算                    | 不要   |
| 実施体制                  | 通常のカウンター業務で対応  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | 年明け早々のイベントとなるため、準備は12月中に完了しておく方が望ましい。くじのバランスに注意する。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【諸富館】ブックリサイクル   |
| 担当部署/担当者              | 諸富館 / 藤田  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。                                    |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 図書館利用者  |
| 集客予定人数/定員             | 譲渡冊数1,000冊  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 除籍した雑誌・書籍でも他での利用が見込まれるものがあるため、いつも諸富館を利用していただいている方々に譲渡し、活用してもらう。 |
| イベントの内容               | 諸富館で除籍した雑誌・書籍を利用者へ譲渡する。   |
| 日時・場所                 | 6月・12月の2回 / 諸富館内  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 諸富支所、諸富館内にポスター掲示。「もろどみかんだより」に掲載                                 |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 事前準備、会場設営は全員  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | 開催を年2回にしたことの定着、広報は、他館・諸富支所にポスター掲示                               |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 仮称【諸富館】諸富館新築開館イベント   |
| 担当部署/担当者              | 諸富館 / 全員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に諸富町在住の幼児から一般の利用者   |
| 集客予定人数/定員             | 100人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 新しくなった図書館をイベントを通して知ってもらい図書館や職員に対して親しみを感じてもらうようにする。来館者を増やすことで、新規利用者の獲得や貸出点数の増加を図っていききたい。                          |
| イベントの内容               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館記念グッズの配布（ブックバック等のノベルティグッズ）</li> <li>・ブックリサイクルを開館時に合わせ実施する等。</li> </ul> |
| 日時・場所                 | 開館予定：令和7年9月20日（土）～／諸富館内  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 諸富支所、諸富館内にポスター掲示。「もろどみかんだより」に掲載  |
| 予算                    | 必要   |
| 実施体制                  | 令和7年9月20日は土曜シフトを全員出勤に変更してイベント対応する予定  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | おはなし会"morodomi" 諸富町公民館   |
| (昨年度からの改善点)           |  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【東与賀館】ブックリサイクル  |
| 担当部署/担当者              | 東与賀館 / 古賀み、古賀れ、鍋島、蒲原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に東与賀町内を中心とする市民   |
| 集客予定人数/定員             | 延べ350人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 東与賀館の除籍資料（書籍・雑誌）を無料で譲渡することにより、資源のリユースに努めるとともに、図書館の魅力をアピールして利用促進を図る。 |
| イベントの内容               | 東与賀館の除籍資料（書籍・雑誌）を無償で配布（年2回）   |
| 日時・場所                 | 10月下旬～11月下旬（書籍）、1月下旬～2月下旬（雑誌）を予定・東与賀館                               |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ・館内へのポスター掲示   |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | なし  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【富士館】夏休み子どもワークショップ  |
| 担当部署/担当者              | 富士館 / 全職員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 事前の募集で申し込みをした利用者  |
| 集客予定人数/定員             | 10人程度   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 夏休み中の子どもたちが楽しめるイベントとして企画。図書館資料を参考に参加者とともに手作りをし、ブックトークを行うことで図書館の利用促進を図る。     |
| イベントの内容               | 司書が講師となり、参加者とともに手芸もしくは工作を行う。また、ブックトークと関連本の紹介を行う。詳細は未定。                      |
| 日時・場所                 | 8月上旬/富士公民館内研修室  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ポスター・チラシの配布（館内・本館・近隣分館・ふれあい広場・富士町内小学校）、富士館広報紙「えほんの森つうしん」「ふじかん小中学生通信」、ホームページ |
| 予算                    | 「消耗品費」より支出  |
| 実施体制                  | 担当者のシフト変更にて実施する。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |   |
| (昨年度からの改善点)           | 図書館利用促進のため、富士館窓口受付のみとする。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【富士館】夏の抽選会  |
| 担当部署/担当者              | 富士館 / 全職員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 資料を貸出利用してくれた全来館者  |
| 集客予定人数/定員             | 応募総数延べ320人程度  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 夏のイベントとして、地域利用者も普段図書館を利用しない人も図書館への親しみや本への関心を深めてもらい、さらなる図書館利用の促進につなげたい。                |
| イベントの内容               | 資料を借りてくれた方に、応募券を渡す。好きな雑誌付録等の番号を記入してもらい、応募する。プレゼントの当選については抽選で決定、当選者には電話で連絡して、取りに来てもらう。 |
| 日時・場所                 | 応募期間…2025年7月中 抽選結果の連絡…8月上旬予定／富士館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ポスターの掲示（館内・近隣分館、ふれあい広場、富士町内小中学校、保育園）、ホームページ、富士館広報紙7月発行の『ほんの森通信』                       |
| 予算                    | 応募用紙と雑誌付録プレゼントを入れる袋については消耗品費で対応。  |
| 実施体制                  | 平日も土日も通常の勤務シフト体制で行う。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |   |
| (昨年度からの改善点)           |   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【富士館】ほんの森の秋まつり 2025  |
| 担当部署/担当者              | 富士館 / 全職員  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 全来館者   |
| 集客予定人数/定員             | 100人程度   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 秋の読書週間に伴い、市民のさらなる読書推進につなげるべく企画。また除籍本を市民に無料で譲渡することで、書架の刷新・入れ替えを図る。  |
| イベントの内容               | 「ブックサイクル」・・・除籍した本や雑誌を希望者に譲渡する。<br>「読書の秋キャンペーン」本を借りた数に応じてプレゼントを用意する。<br>「わくわくスタンプ ダブルスタンプキャンペーン」・・・イベント期間中は中学生以下を対象として実施。 |
| 日時・場所                 | 秋の読書週間中（正確な日時は未定）/富士館内   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ポスターの掲示（館内・本館・近隣分館分室・ふれあい広場・富士町内小中学校・保育園）、富士館広報紙「ほんの森通信」「えほんの森つうしん」「ふじかん小中学生通信」、ホームページ、館報                                |
| 予算                    | シフト変更できない場合は超勤で対応。プレゼントに係る費用は消耗品費で対応。  |
| 実施体制                  | ブックリサイクルは土曜日に実施する予定のため担当者のシフト変更が超過勤務で対応。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |  |
| (昨年度からの改善点)           | ブックリサイクルについては、公民館内のホールを使用するが、準備を含めて2日連続で借りることができるよう日程を調整したい。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【富士館】冬の抽選会  |
| 担当部署/担当者              | 富士館 / 全職員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 資料を貸出利用してくれた全来館者  |
| 集客予定人数/定員             | 応募総数延べ230人程度  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 冬のイベントとして、地域利用者も普段図書館を利用しない人も図書館への親しみや本への関心を深めてもらい、さらなる図書館利用の促進につなげたい。                            |
| イベントの内容               | 資料を借りてくれた方に、応募券を渡す。好きな雑誌付録等の番号を記入してもらい、応募する。プレゼントの当選については抽選で決定、当選者には電話で連絡して、取りに来てもらう。             |
| 日時・場所                 | 応募期間…2025年12月中 抽選結果の連絡…1月上旬予定／富士館   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ポスターの掲示（館内・近隣分館、ふれあい広場、富士町内小中学校、保育園）、ホームページ、富士館広報紙11月発行の『ほんの森通信』、12月発行の『えほんの森つうしん』、『ふじかん小中学生通信』   |
| 予算                    | 応募用紙と雑誌付録プレゼントを入れる袋については消耗品費で対応。  |
| 実施体制                  | 平日も土日も通常の勤務シフト体制で行う。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |   |
| (昨年度からの改善点)           | プレゼントの当選者が期日までに取りに来られなかった場合、当選は無効になります、と連絡時に伝えるようにする。応募が少なそうなものや雑誌付録のカレンダーについては、プレゼントの組み合わせを検討する。 |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【三瀬館】秋の読書週間イベント2025  |
| 担当部署/担当者              | 三瀬館 / 石橋、北古賀、中島  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 三瀬館を利用するすべての方  |
| 集客予定人数/定員             | 170名程度/定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 秋の読書週間に合わせイベントを行うことにより、いっそう本や図書館への関心意欲を高め、図書館来館者を増やす。  |
| イベントの内容               | ①ヨムヨムツリー：利用者が推薦する本をリング型の台紙に記入し、ツリーに飾ってもらう。参加者にはプレゼントあり。②雑誌付録プレゼント：購入雑誌の付録を先着でプレゼントする。③ブックリサイクルコーナー：除籍資料を譲渡するコーナーを設置する。 |
| 日時・場所                 | 秋の読書週間（10月27日～11月9日）に合わせて開館日等考慮してイベント日程を決める・三瀬館内、公民館ロビー  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 図書館HP、三瀬公民館だより、三瀬館だより、チラシ・ポスターを三瀬小、三瀬中、三瀬保育園、北山東部小へ配布  |
| 予算                    | 台紙やこより、プレゼント製作の材料代として消耗品費を使用する可能性がある。  |
| 実施体制                  | 期間中勤務の担当者が実施する。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 三瀬公民館  |
| (昨年度からの改善点)           | ブックリサイクルは1日だけではなく、期間中はコーナーを設置する。閉館時に来られる利用者のために、公民館に依頼し、閉館時にも公民館ロビーに設置させてもらう。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【川副館】夏休みスタンプラリー   |
| 担当部署/担当者              | 川副館 / 全職員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 全ての図書館利用登録者。  |
| 集客予定人数/定員             | 台紙配布数150枚   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 夏休みイベントをきっかけに、図書館利用の楽しみ、本への興味を促し、川副館の利用増加を目的とする。カード未登録利用者への新規登録も促したい。 |
| イベントの内容               | 貸出冊数に応じてスタンプ押印。スタンプ数に応じて景品をプレゼント                                      |
| 日時・場所                 | 日時未定（夏頃年1回を予定）<br>佐賀市立図書館川副館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 川副町内小・中学校、川副児童館、川副地区4公民館へのポスター掲示。南川副公民館だより。図書館ホームページへの掲載。             |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | たくさんの方に達成できるよう難易度の調整を行いたい。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【川副館】読書くじ（秋の読書週間イベント）  |
| 担当部署/担当者              | 川副館 / 全職員  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 全ての図書館利用登録者。   |
| 集客予定人数/定員             | 200人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 秋の読書週間に合わせて、図書館利用の楽しみや本への興味を促すことを目的とする。同時に、広報を強め川副館の利用増達成と、カード未登録利用者への新規登録も促したい。 |
| イベントの内容               | 本の貸出でくじが引ける。本の貸出冊数の条件あり。   |
| 日時・場所                 | 日時未定（秋頃年1回を予定）<br>佐賀市立図書館川副館   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 川副町内小・中学校、川副児童館、川副地区4公民館へのポスター掲示。南川副公民館だより。図書館ホームページへの掲載。                        |
| 予算                    | 不要   |
| 実施体制                  | 司書   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | 気軽に参加できる内容にする。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【川副館】ブックリサイクル  |
| 担当部署/担当者              | 川副館 / 全職員  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。                                       |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | すべての世代の図書館利用者。利用カードを持たない人も対象。                                      |
| 集客予定人数/定員             | 概ね100人程度 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 保存年を過ぎた雑誌を公共施設や図書館利用者に無償譲渡し有効利用を図るとともに、新たな図書館利用者の掘り起こしもかねて利用促進を図る。 |
| イベントの内容               | 川副館で除籍した図書資料や保存年限の過ぎた雑誌を譲渡する。                                      |
| 日時・場所                 | 日時未定(秋頃の年1回を予定)<br>南川副公民館和室  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 川副町内小・中学校、川副児童館、川副地区4公民館へのポスター掲示。南川副公民館だより。図書館ホームページへの掲載。          |
| 予算                    | 不要   |
| 実施体制                  | 司書   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | 問合せが多いので、チラシを作成してカウンターや公民館事務室に置く。                                  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【久保田館】新春イベント  |
| 担当部署/担当者              | 久保田館 / 小松、内田、篠原                                     |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館                              |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。                        |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 利用者全員   |
| 集客予定人数/定員             | 70人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 新年の始まりに合わせて来館していただいた利用者に、図書館への親しみを深めてもらい、継続的な利用を促す。 |
| イベントの内容               | 年始の新春イベントとして、本を借りてくれた方にプレゼントを渡す。                    |
| 日時・場所                 | 1月初旬・久保田館   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 館内ポスター掲示<br>館報「くぼたかんだより」にてお知らせ                      |
| 予算                    | プレゼントの内容により消耗品費にて工作用品を購入                            |
| 実施体制                  | 担当司書 3名   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | なし  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【久保田館】秋の読書週間イベント   |
| 担当部署/担当者              | 久保田館 / 小松、内田、篠原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 利用者全員  |
| 集客予定人数/定員             | 120人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 読書週間を活用して、図書館利用数を増やしたい。<br>大人の方にも図書館を使う楽しさを知ってもらいたい。                             |
| イベントの内容               | 期間中にシールスタンプラリーを実施する。3冊以上の貸出しでシールが集まり、シールの数に応じてプレゼントがもらえる。                        |
| 日時・場所                 | 10月下旬～11月上旬・久保田館   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 館内ポスター掲示<br>思斉館小学部・中学部図書室・児童センターへポスター配布<br>佐賀市立図書館HPにてお知らせ<br>館報「くぼたかんだより」にてお知らせ |
| 予算                    | プレゼントの内容により消耗品費にて工作用品を購入   |
| 実施体制                  | 担当司書 3名  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |  |
| (昨年度からの改善点)           | なし   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【久保田館】ブックリサイクル  |
| 担当部署/担当者              | 久保田館 / 小松、内田、篠原   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に久保田町内を中心とする市民   |
| 集客予定人数/定員             | 20人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 久保田館の除籍資料（書籍・雑誌）を無料で譲渡することにより、資源のリユースに努めるとともに、図書館の魅力をアピールして利用促進を図る。 |
| イベントの内容               | 久保田館の除籍資料（書籍・雑誌）を無償で配布（年1回）   |
| 日時・場所                 | 3月中・久保田館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ・館内へのポスター掲示   |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | なし  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 佐賀大学地域連携型公開講座  |
| 担当部署/担当者              | サービス二係 / 宮地  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 郷土の歴史・文化等に興味がある市民  |
| 集客予定人数/定員             | 60 / 60 ※資料等の配布があるので、長机に2人掛けとする  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 質の高い講座を実施することにより、郷土に興味を持つ市民を増やし図書館利用の促進を図る。  |
| イベントの内容               | 佐賀大学教員による佐賀の歴史・文化に関する講義100分(各回)<br>月1回×3ヶ月＝3回  |
| 日時・場所                 | ○10月・11月・12月…月1回土曜日の午後<br>○佐賀市立図書館2階 多目的ホール  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ○市報 ○館報 ○図書館ホームページ<br>○チラシ・ポスター（本館、分館、県立図書館、アバンセ、青少年センター、高校・大学等に設等に設置）   |
| 予算                    | 報償金(講師謝金)：6,000円/1h×2h×3人＝36,000円  |
| 実施体制                  | 係長(総括)及びレファレンス担当2名(司会・受付)<br>土曜日開催のため、担当職員は当日指定休とし超勤（または振替）対応とする。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 佐賀大学地域学歴史文化研究センター  |
| (昨年度からの改善点)           | ○これまで11・12・1月で実施していたが、1月に無断欠席者が増加するため、すべて年内に開催するように変更する（10月・11月・12月に開催予定）。<br>○市政への提言等もあり、今での来館、メール、郵便での申し込みをはがきに統一し、先着順受付から抽選に変更する。 |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 図書館職員おすすめの本展示  |
| 担当部署/担当者              | 総務企画係 / 豊福   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 本館利用者  |
| 集客予定人数/定員             | — / —  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 読書週間（10月27日～11月9日）の期間に合わせて図書館職員が薦める一般書を展示して、来館者へ興味を持ってもらい、読書週間のPRを行う。また、来館者に普段は読む機会がない分野や作家の本にも目を向けてもらうことで、POPで紹介した資料、及びそれに関連する資料等の貸出により来館者の読書推進と、図書館の利用促進を図る。 |
| イベントの内容               | 佐賀市立図書館本館（分室も含む）の職員、及び会計年度任用職員に来館者に対してお薦めする一般書のPOPの作成を依頼する。展示コーナーには、POPと対象の資料等を展示する。   |
| 日時・場所                 | 10月31日（金）～11月26日（水） / 1階返却カウンター横   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 本館・分館・分室・自動車図書館にチラシ・ポスターの設置、ホームページへの掲載、ラジオ等による広報。  |
| 予算                    | なし   |
| 実施体制                  | 広報担当2名   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |  |
| (昨年度からの改善点)           | ポップで紹介している資料や関連資料の貸し出しは多いが、今後の事業の参考となる利用者のアンケートについては、あまり回答が得られていない。そこで、アンケート用紙の内容を回答しやすいように見直し、またポップ展示コーナーの紹介については、多くの人の目を引く内容で、SNSでの情報発信なども行うようにしたい。          |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【大和館】七夕飾り展示  |
| 担当部署/担当者              | 大和館 / 山崎、齋藤  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 来館者  |
| 集客予定人数/定員             | 300人 / 定員なし（R6実績（302人）同等）  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 七夕飾りを通じて図書館と伝統行事について関心を持ってもらう。                                     |
| イベントの内容               | 組み立て式の笹を図書館内に2か所設置。利用者が七夕飾りや願いごを短冊に書き飾る。                           |
| 日時・場所                 | 6月10日（火）～7月8日（火）大和館内   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ブログに掲載   |
| 予算                    | 消耗品費：色用紙、こより、ラッシャンペン：2千円   |
| 実施体制                  | 司書   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | 引き続き大人を含めて参加してもらう。<br>昨年度は参加者が多く準備したこよりが足りなくなった。今年度は不足の無いように準備したい。 |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【大和館】大人向け映画上映会   |
| 担当部署/担当者              | 大和館 / 野中、山口、堤  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 市民 ※参加を希望される方  |
| 集客予定人数/定員             | 60人 / 60人  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 市民の方に図書館に来館するきっかけをつくり、図書館に興味を持ってもらうため。   |
| イベントの内容               | 大人向けに大和館所蔵のDVD（映像権付）を上映する。   |
| 日時・場所                 | 7月10日（金） 10：00～ 春日公民館大会議室  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ配布</li> <li>・図書館HP及び大和館ブログによりPR</li> <li>・大和館カウンターでのPR</li> <li>・公民館だより（春日公民館）掲載</li> </ul> |
| 予算                    | 消耗品費：不要  |
| 実施体制                  | 司書   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | <p>昨年度はアンケートを受付時に配布しイベント終了後に回収したことで混乱しなかったため今年度も同様にしたい。</p> <p>遮光のために貼り付けした黒模造紙が途中で剥がれないように工夫する。</p>                                   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【諸富館】秋の読書週間イベント（どくしょの木）  |
| 担当部署/担当者              | 諸富館 / 藤田・駄原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 諸富館利用者   |
| 集客予定人数/定員             | 100人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 自分のおすすめしたい本を他の人に読んでもらったり、他の人がおすすめした本を読んでみたり、普段手に取らない本を読むきっかけを作り、図書館をより良く活用してもらおう。                |
| イベントの内容               | 葉っぱの用紙におすすめの本のタイトルと感想を書いてもらい、読書の木に貼り付け紅葉させる。プレゼントあり。   |
| 日時・場所                 | 秋の読書週間に合わせて約1か月 / 諸富館内   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 諸富館だより（諸富、北川副、蓮池地区に配布）、諸富館内・入口・支所・諸富北・南小へポスター掲示、ホームページ、図書館だより、市報さが                               |
| 予算                    | 不要   |
| 実施体制                  | 通常のカウンター業務で対応  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | 大人より子どもの参加が多いので、葉っぱ用紙は一般書・児童書と分けずに貼る。昨年度は大人も子供も参加者が多く、両面にすき間なくたくさん貼っていただいた。カウンター担当職員の声かけも効果的であった |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【東与賀館】シチメンソウ及びラムサール条約関係資料展示                                       |
| 担当部署/担当者              | 東与賀館 / 古賀み、古賀れ、鍋島、蒲原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に東与賀町内を中心としたの市民  |
| 集客予定人数/定員             | 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 郷土に関連した資料を展示することで、住民の郷土への愛着や好奇心を育むとともに、普段利用しない分野の資料に興味を持つきっかけを作る。 |
| イベントの内容               | ラムサール条約湿地に登録された東よか干潟に関連し、シチメンソウやラムサール条約に関連した資料を展示する。              |
| 日時・場所                 | 10月上旬～11月下旬・東与賀館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ・東与賀館内でのPR  |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 環境部環境政策課、東与賀支所  |
| (昨年度からの改善点)           | なし  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【東与賀館】新春イベント  |
| 担当部署/担当者              | 東与賀館 / 古賀み、古賀れ、鍋島、蒲原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に東与賀町内を中心とする市民   |
| 集客予定人数/定員             | 120人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 新年のイベントとして、「福引き」を用意することにより、住民が図書館に足を運ぶ機会の増進を図り、図書館により興味を持ってもらうきっかけを作る。  |
| イベントの内容               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を借りてくれた利用者にくじを引いてもらう。</li> <li>・くじは「大吉」「中吉」「小吉」の三種類あり、それぞれのプレゼントが入った箱の中から好きなものを選んでもらう。</li> <li>・プレゼントは雑誌の付録、職員手作りの物を進呈。</li> </ul> |
| 日時・場所                 | 1月上旬・東与賀館   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内でのポスター掲示</li> <li>・図書館ホームページに掲載</li> <li>・東与賀館カウンターでのP R</li> </ul>   |
| 予算                    | プレゼントの材料代として、消耗品費を使用する可能性あり。  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | R6年度から、くじは本の貸出し冊数にかかわらず（従来は本5冊以上の貸出しでくじ1回）1日1回引いてもらうことにした。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【東与賀館】秋の読書週間イベント  |
| 担当部署/担当者              | 東与賀館 / 古賀み、古賀れ、鍋島、蒲原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 図書館を利用する全ての人（利用者カードの有無は問わない）  |
| 集客予定人数/定員             | 50人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 秋の読書週間（10月下旬～11月上旬）に合わせ、様々な本との出会いやふれあいを手助けすることを目的とする。   |
| イベントの内容               | 館で準備したPOP台紙に、おすすめの本のタイトルやポイントを記載してもらい、イベント期間中『きになる本』として紹介する。POPを書してくれた人には、プレゼント（しおり、手作りおもちゃ、シール等）を進呈。 |
| 日時・場所                 | 10月上旬～11月上旬を予定・東与賀館   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内へのポスター掲示</li> <li>・図書館ホームページでのお知らせ掲示</li> </ul>             |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | なし  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【三瀬館】七夕笹飾り展示   |
| 担当部署/担当者              | 三瀬館 / 石橋、北古賀、中島  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。                                       |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 三瀬館の来館者  |
| 集客予定人数/定員             | 55人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 七夕飾りを設置し来館者に季節を感じてもらうとともに、七夕に関連する資料を展示することで日本古来の伝統を継承し、来館意欲を高める。 |
| イベントの内容               | 笹を切り、公民館入り口に設置。七夕飾りを作り飾る。短冊やペンを準備。図書館内に七夕関連本を展示。                 |
| 日時・場所                 | 6月第3週位から7月7日過ぎまで。三瀬公民館ロビー。                                       |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 三瀬館だより、三瀬公民館だより  |
| 予算                    | 短冊用紙やこより等消耗品費を使用する可能性がある。  |
| 実施体制                  | 6月第3週の天候を見て笹を切りに行き、設置。笹の設置や片付けは公民館の方が行う。                         |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 三瀬公民館  |
| (昨年度からの改善点)           | 公民館のロビーに設置するので、笹や飾りの準備、片付け等連携しておこなう。                             |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 冬のあったかおはなし会   |
| 担当部署/担当者              | サービス二係 児童サービス担当 / 原口、寺下   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 2歳前後～小学生までの子どもとその保護者  |
| 集客予定人数/定員             | 50名程度   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子どもたちが本の楽しさを知り、豊かな心を育てるきっかけを作る。日曜日に開催することで、親子で楽しんでもらい、図書館は「楽しい場所」と印象付け、今後の図書館の利用を促進する。                              |
| イベントの内容               | おはなしボランティアの「おはなし会がらがらどん」や「おはなし広場の会」「すばなしの会」にも出演してもらい、大型絵本・エプロンシアター・ブラックパネルシアターなどのおはなし会を開催する。また、サンタから子どもたちにプレゼントを渡す。 |
| 日時・場所                 | ○クリスマス前の日曜日<br>○佐賀市立図書館 2階 多目的ホール   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ○市報さが（11月15日号）○図書館ホームページ<br>○チラシ・ポスター（本館・分館・分室）<br>○各児童館・保育園・幼稚園・ゆめぼけっとにポスターを配布。                                    |
| 予算                    | ・令和3年度予算で購入済※サンタからのプレゼントとして1個100円程度<br>のものを100個程度購入   |
| 実施体制                  | 児童サービス担当2名（当日指定休の担当職員は超勤対応または振替とする）<br>・撮影等（広報）<br>・受付（児童）<br>・サンタ役（男性職員1名）   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | おはなしボランティア「おはなし会がらがらどん」・「おはなしひろばの会」・「すばなしの会」  |
| (昨年度からの改善点)           | 令和6年度は令和2年度に中止して以降5年ぶり開催。定員50名、事前申し込み制。<br>令和7年度は申込方法について検討する。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【大和館】おはなしだいすきスペシャル  |
| 担当部署/担当者              | 大和館 / 野中、藤木、山口、姉川、齋藤  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 市民 ※参加を希望される方   |
| 集客予定人数/定員             | 36人 / 36人   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子どもが本好きになるようにきっかけをつくるため。  |
| イベントの内容               | 夏休みに手遊びなどを交えたおはなし会を開催する。  |
| 日時・場所                 | 8月1日（金）11:00～ 春日公民館大会議室   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ配布、館内にポスター掲示</li> <li>・図書館HP及び大和館ブログによりPR</li> <li>・大和館カウンターでのPR</li> <li>・公民館だより（春日公民館、春日北公民館）掲載</li> </ul> |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | 参加者全員がポスター、チラシで知ったとのことなので近隣の分室にもポスター掲示を依頼したい。開場から開始まで30分あり時間を持って余す方がいたため開始の15分前に開場する。また、定例のおはなし会が11時からなので本おはなし会も開始時刻を合わせて11時からとする。                      |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【大和館】こども映画上映会   |
| 担当部署/担当者              | 大和館 / 山口、野中、齋藤  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 市民 ※参加を希望される方   |
| 集客予定人数/定員             | 65人 / 65人   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子どもと保護者が図書館に来館するきっかけをつくり、図書館に慣れ親しんでもらうことを目的とする。   |
| イベントの内容               | 夏休みにこども向けの映画を上映する。  |
| 日時・場所                 | 8月21（金）11：00～ 1時間程度 春日公民館大会議室   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ配布、館内にポスター掲示</li> <li>・図書館HP及び大和館ブログによりPR</li> <li>・大和館カウンターでのPR</li> <li>・公民館だより（春日公民館、春日北公民館）掲載</li> </ul> |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | 昨年度は一昨年度から参加者数が減少したため、今年度は多くの人に参加してもらえるよう上映時間を午前中にするとともに良い内容の作品を選びたい。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【大和館】春の大きなおはなし会（ボランティアとの共同開催）   |
| 担当部署/担当者              | 大和館 / 堤、藤木、山崎   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 市民 ※参加を希望される方   |
| 集客予定人数/定員             | 43人 / 43人   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子どもと保護者が図書館に来館するきっかけをつくり、図書館に慣れ親しんでもらうことを目的とする。   |
| イベントの内容               | ボランティアグループと共催で手遊びや大型絵本などを交えた規模を拡大したおはなし会を開催する。  |
| 日時・場所                 | 2月21日（土）11時00分～ 40分程度 春日公民館大会議室   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ配布、館内にポスター掲示</li> <li>・図書館HP及び大和館ブログによりPR</li> <li>・大和館カウンターでのPR</li> <li>・公民館だより（春日公民館、春日北公民館）掲載</li> </ul> |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 司書及びボランティアグループ  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | おはなし会やまと  |
| (昨年度からの改善点)           | R5年度からの改善点（R6年度は資料作成時点で未実施）<br>・想定人数以上の参加者があったため会場を春日公民館大会議室に変更する。事前練習を全員で通してできるよう日程の調整を行うこととする。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【諸富館】 こども読書週間イベント（すごろくゲーム）  |
| 担当部署/担当者              | 諸富館 / 松尾、吉田   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 諸富館利用の幼児～小学生  |
| 集客予定人数/定員             | 80人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館には様々な資料があることをイベントを通して知ってもらい、職員と会話したり触れ合って、図書館や職員に対し親しみを覚えてもらうようにする。貸出冊数を増やすねらいもある。 |
| イベントの内容               | 本を5冊以上借りた子ども達にすごろくをふってもらい、ゴールしたらプレゼントを渡す。   |
| 日時・場所                 | こどもの読書週間に合わせて約3週間 / 諸富館内  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 諸富館内外・諸富支所・諸富北、南小にポスター掲示、ホームページ、図書館だより、市報さが   |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 通常のカウンター業務で対応   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | 子ども達が喜んでくれるようなささやかなプレゼントを早めに準備する。プレゼントがマンネリ化しないよう工夫する。すごろくゲームの台紙、プレゼントの数に注意。          |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【諸富館】ほかほかふゆのおはなし会  |
| 担当部署/担当者              | 諸富館 児童書担当 / 吉田、松尾  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に諸富町在住の幼児から小学生低学年の親子  |
| 集客予定人数/定員             | 60人程度 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 通常のおはなし会より大きなおはなし会なので、参加者に多く来館してもらい諸富館のPRやおはなし会の楽しさを知って頂く。新規利用者の獲得や本の貸出冊数の増加を狙う。                                     |
| イベントの内容               | ボランティア「おはなし連絡会morodomi」と司書が協働で行うおはなし会。ハンドベルから始まり紙芝居や大型絵本、ブラックシアターなどを使って約60分にわたり行う。最後にはサンタさんから手作りのプレゼントを渡す。           |
| 日時・場所                 | 12月第2週目の土曜日 10:30～11:30 / 諸富公民館和室  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ホームページへの掲載 市報・諸富館だより・ワイヤーママに掲載 館内、支所、諸富北、南小学校、子育て支援センターにポスターチラシの掲示・配布、ボランティアへ配布                                      |
| 予算                    | 不要   |
| 実施体制                  | 土日祝日のいずれかの開催となるため、担当者の振替休日もしくはシフト変更で対応を行う。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | おはなし連絡会“morodomi”  |
| (昨年度からの改善点)           | ボランティアさんとの打合せや合同練習が少なかったため、設備の設置やおはなしの順番など反省点があった。年末のこの時期色々な場所でイベントが多いので、PRをもっとやった方が良かった。小学生の参加が少ないため、小学校へのPRも検討したい。 |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【諸富館】おでかけおはなし会  |
| 担当部署/担当者              | 諸富館 / 吉田、松尾   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に諸富町在住の幼児から小学生低学年の親子   |
| 集客予定人数/定員             | 概ね60人程度   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 保育園など、各種施設に図書館から出向き、おはなし会や読み聞かせ等を実施。これにより諸富館のPR及び利用促進を図る。                             |
| イベントの内容               | 要望を受けた保育園等に2名で出向き、大型絵本や大型紙芝居などを使っておはなし会や読み聞かせを実施し、図書館のPRや地域の人たちとのコミュニケーションを図る。        |
| 日時・場所                 | 依頼日時 / 保育園  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 年度初めに案内チラシとFAX依頼書を作成し、それぞれに出向き配布をする。  |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 平日の開催となるため依頼当日のシフトで対応する。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | おはなしの内容が長くなると、子供たちが飽きてくるので、参加型の絵本を途中で入れたりと、手遊びなどを行いメリハリをつける。当日落ち着いてできるよう、十分にリハーサルを行う。 |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【東与賀館】クリスマスおはなし会  |
| 担当部署/担当者              | 東与賀館 / 古賀み、古賀れ、鍋島、蒲原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に東与賀町内の親子  |
| 集客予定人数/定員             | 30人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 乳幼児や保護者に読み聞かせ等を行うことにより本の素晴らしさを知ってもらう。   |
| イベントの内容               | 紙芝居、エプロンシアター、絵本、うた、詩の朗読、大型絵本、工作、プレゼント配布   |
| 日時・場所                 | 12月下旬・東与賀文化ホールミーティングルーム   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内でのポスター掲示</li> <li>・図書館ホームページに掲載</li> <li>・東与賀館カウンターでのP R</li> </ul> |
| 予算                    | 工作・プレゼントの材料代として、消耗品費を使用する可能性あり。   |
| 実施体制                  | おはなしボランティアと司書が協働で行う。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | おはなしボランティア「おおきなかぶ」  |
| (昨年度からの改善点)           | 開催日を極力土曜日に計画し、東与賀児童館とも日程調整等を行い、少しでも多くの多くの子供たちが参加できるよう努めたい。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【東与賀館】春の特別おはなし会   |
| 担当部署/担当者              | 東与賀館 / 古賀み、古賀れ、鍋島、蒲原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に東与賀町内の親子  |
| 集客予定人数/定員             | 30人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 乳幼児や保護者に読み聞かせ等を行うことにより本の素晴らしさを知ってもらう。   |
| イベントの内容               | 紙芝居、エプロンシアター、絵本、うた、詩の朗読、大型絵本、工作、プレゼント配布   |
| 日時・場所                 | 3月・東与賀文化ホールミーティングルーム  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内でのポスター掲示</li> <li>・図書館ホームページに掲載</li> <li>・東与賀館カウンターでのP R</li> </ul> |
| 予算                    | 工作・プレゼントの材料代として、消耗品費を使用する可能性あり。   |
| 実施体制                  | おはなしボランティアと司書が協働で行う。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | おはなしボランティア「おおきなかぶ」  |
| (昨年度からの改善点)           | 開催日を極力土曜日に計画し、東与賀児童館とも日程調整等を行い、少しでも多くの多くの子供たちが参加できるよう努めたい。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【東与賀館】こども読書週間イベント  |
| 担当部署/担当者              | 東与賀館 / 古賀み、古賀れ、鍋島、蒲原   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 利用者カードを保有する中学生以下の子供  |
| 集客予定人数/定員             | 60人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子どもの来館者数減少に歯止めをかけるとともに、カード未所有の子ども達への新規登録も同時に促す。  |
| イベントの内容               | 専用カードを期間中に配布して貸出しの際にスタンプを押し、その数に応じて図書館にちなんだ景品をプレゼント。   |
| 日時・場所                 | こどもの読書週間(4月中旬～5月上旬)を予定・東与賀館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内へのポスター掲示</li> <li>・図書館ホームページでのお知らせ掲示</li> <li>・東与賀館カウンターでの声掛け</li> </ul> |
| 予算                    | プレゼントの材料代として、消耗品費を使用する可能性あり。   |
| 実施体制                  | 司書   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | なし   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【富士館】夏の大おはなし会   |
| 担当部署/担当者              | 富士館 / 全職員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 幼児～小学生、保護者  |
| 集客予定人数/定員             | 15人程度   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子どもが図書館や読書に親しみ、親子で楽しい時間を共有するきっかけを作り、読書推進につなげる。  |
| イベントの内容               | 絵本や大型絵本、紙芝居の読み語り、ブックトーク、工作など。   |
| 日時・場所                 | 7月12日（土）<br>富士公民館内 談話室①②  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ポスターの掲示（館内・本館・近隣分館分室・ふれあい広場・富士町内小学校・保育園）、富士館広報紙「ほんの森通信」「えほんの森つうしん」「ふじかん小中学生通信」、ホームページ |
| 予算                    | 工作をする際には材料費を消耗品費より支出  |
| 実施体制                  | 土曜日に実施するため担当者のシフト変更か、1名（3時間程度）の超過勤務で対応。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 富士館おはなし会ボランティア「おはなしのもり」   |
| (昨年度からの改善点)           | 小学校の夏休みイベントと重なるため、大おはなし会の日程を第4土曜日から第2土曜日に変更。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【富士館】冬の大おはなし会   |
| 担当部署/担当者              | 富士館 / 全職員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 幼児～小学生、保護者  |
| 集客予定人数/定員             | 20人程度   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子どもが図書館や読書に親しみ、親子で楽しい時間を共有するきっかけを作り、読書推進につなげる。  |
| イベントの内容               | 絵本や大型絵本、紙芝居の読み語り、ブックトーク、工作など。   |
| 日時・場所                 | 12月13日（土）<br>富士公民館内 談話室①②   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ポスターの掲示（館内・本館・近隣分館分室・ふれあい広場・富士町内小学校・保育園）、富士館広報紙「ほんの森通信」「えほんの森つうしん」「ふじかん小中学生通信」、ホームページ |
| 予算                    | 工作をする場合、またはプレゼント作成用に材料費を消耗品費より支出  |
| 実施体制                  | 土曜日に実施するため担当者のシフト変更か、1名（3時間程度）の超過勤務で対応。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 富士館おはなし会ボランティア「おはなしのもり」   |
| (昨年度からの改善点)           |   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【久保田館】夏のおはなし会   |
| 担当部署/担当者              | 久保田館 / 小松、内田、篠原   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 乳幼児～小学生低・中学年とその保護者  |
| 集客予定人数/定員             | 30人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 職員が話し手となることで、図書館をより身近に感じてもらい、読書意欲の向上につなげたい。図書館への親しみも深めてもらう。                             |
| イベントの内容               | 絵本・紙芝居・パネルシアター等の読み聞かせ<br>手遊び<br>工作  |
| 日時・場所                 | 7月 久保田公民館内大会議室  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 館内ポスター掲示<br>思斉館小学部へポスター配布、久保田保育園・幼稚園・児童センターへ周知<br>佐賀市立図書館HPにてお知らせ<br>館報「くぼたかんだより」にてお知らせ |
| 予算                    | 工作の内容により消耗品費にて工作用品を購入   |
| 実施体制                  | 司書が中心となり、おはなしボランティアと協力して行う。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 久保田町のおはなし会グループ「ぐりとぐら」に協働を呼びかけたい。  |
| (昨年度からの改善点)           | なし  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【久保田館】クリスマスイベント  |
| 担当部署/担当者              | 久保田館 / 小松、内田、篠原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 利用してくれた来館者   |
| 集客予定人数/定員             | 200人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館利用の楽しみや本に対する興味を促し、次年の継続的な利用へとつなげる。  |
| イベントの内容               | アドベントカレンダーからシールを選び、館内に貼り付ける。<br>イベント後半では、本を借りるとプレゼントがもらえる。                       |
| 日時・場所                 | 12月・久保田館   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 館内ポスター掲示<br>思斉館小学部・中学部図書室・児童センターへポスター配布<br>佐賀市立図書館HPにてお知らせ<br>館報「くぼたかんだより」にてお知らせ |
| 予算                    | 工作の内容により消耗品費にて工作用品を購入  |
| 実施体制                  | 担当司書3名   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | なし   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【久保田館】冬のおはなし会  |
| 担当部署/担当者              | 久保田館 / 小松、内田、篠原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 乳幼児～小学生低・中学年とその保護者   |
| 集客予定人数/定員             | 30人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 職員が話し手となることで、図書館をより身近に感じてもらい、読書意欲の向上につなげたい。図書館への親しみも深めてもらう。                            |
| イベントの内容               | 絵本・紙芝居・パネルシアター等の読み聞かせ<br>手遊び<br>工作   |
| 日時・場所                 | 1～2月 久保田公民館 大会議室   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 館内ポスター掲示<br>思斉館小学部・久保田保育園・久保田幼稚園・久保田児童センターへ周知<br>佐賀市立図書館HPにてお知らせ<br>館報「くぼたかんだより」にてお知らせ |
| 予算                    | 工作の内容により消耗品費にて工作用品を購入  |
| 実施体制                  | 司書が中心となり、おはなしボランティアと協力して行う。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 久保田町のおはなし会グループ「ぐりとぐら」に協働を呼びかけたい。   |
| (昨年度からの改善点)           | なし   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | こどもの読書週間 ポップバルーンをとばそう！   |
| 担当部署/担当者              | サービス二係 児童サービス担当 / 原口、陣内  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 幼児から大人   |
| 集客予定人数/定員             | 来館者が随時参加するため定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 児童コーナー横に、大人も子どもも興味を持ち、かつコミュニケーションを取り持つツールとして、「ポップ」による絵本・読み物の紹介を利用者から募り、本への関心・興味を促し、図書館の利用促進につなげる。図書館から一方的に本を紹介するのではなく、利用者の声を取り入れることで、情報の双方向性を深めたい。 |
| イベントの内容               | ポップを完全な白紙ではなく子どもが書きやすいようにタイトル・作者名を記入する欄と、無地のバルーンイラストを入れ、青空に見立てた大きな画用紙にそのバルーンを貼っていき、ともに作品を完成させる。  |
| 日時・場所                 | ○3月下旬から5月中旬まで（こどもの読書週間を含む期間）<br>○佐賀市立図書館 1階児童コーナー横 ※「みんなで読もうオススメ本」と同時開催  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ○市報 ○図書館ホームページ ○館内掲示   |
| 予算                    | 不要   |
| 実施体制                  | 児童サービス担当 4名  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | 紹介された本を展示してもすぐに借りられてしまうため、紹介本の随時チェックをする。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 子ども司書講座  |
| 担当部署・担当者              | サービス二係 児童サービス担当 / 原口、陣内  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 佐賀市内の学校に通う小学5～6年生・中学1～2年生  |
| 集客予定人数/定員             | 10名程度  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子どもたちが司書の仕事を学び、体験することによって図書館への関心や読書への意欲を一層高め、講座で学んだことを活かし、読書リーダーとして活躍できることを目的に、学校図書館とも連携し、講座を開催する。 |
| イベントの内容               | 司書の仕事や必要な知識（十進分類表・配架の仕方・本の修理等）を、講義及び実践形式で子どもたちに教える。最後に修了証を授与する。                                    |
| 日時・場所                 | ○10～11月予定（3回講座）<br>○佐賀市立図書館（2階多目的ホール ほか）   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ○図書館ホームページ<br>○ポスター・申込用紙（本館・分館・分室）<br>○市内小学校にポスター・申込用紙を配布  |
| 予算                    |  |
| 実施体制                  | 児童サービス担当2名・講座の内容によってサービス二係・サービス一係から応援。日曜日開催のため、担当職員は当日指定休とし超勤（または振替）対応とする。                         |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 各小中学校図書館   |
| (昨年度からの改善点)           | 令和6年度は学校行事と重なり参加者が少なかった。講座では時間が足りないところがあった。令和7年度は参加しやすい日程設定を行い、テキストの改善等より充実した内容を検討する。              |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 手づくり絵本教室および「手づくり絵本作品展」   |
| 担当部署・担当者              | サービス二係 児童サービス担当 / 原口、陣内  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 講座→小学生以上<br>作品展→児童の部：小学生以下、大人の部：中学生以上  |
| 集客予定人数/定員             | 講座：30名程度   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 手づくり絵本を通して絵本や物語の素晴らしさや魅力を知ってもらうことで、子どもから大人まで本や図書館に関心を持ち、豊かな感受性と想像力を育む。                                       |
| イベントの内容               | 講師を招き教室を開催することで、初心者・経験者ともに取り組みやすい環境をつくり、作品展への出品を促す。  |
| 日時・場所                 | 講座→5月～6月予定、佐賀市立図書館 多目的ホール<br>作品展→募集期間：7月下旬～9月上旬、展示期間：10月、表彰：1月予定   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ○市報 ○図書館ホームページ ○ポスター・申込用紙(本館・分館・分室)<br>○市内小中学校にポスター・申込用紙を配布<br>○必要に応じ市の広報ラジオ・さがんメールなど、その他の広報手段も用いる。          |
| 予算                    | ・報償金（教室講師謝礼）：36,000円<br>・作品展の参加賞は令和3年度購入分を使用する。  |
| 実施体制                  | 講座→講師は外部に依頼予定。児童サービス担当2名。日曜日開催のため担当職員は当日指定休とし超勤（または振替）対応とする。<br>作品展→表彰式は、日曜日開催のため担当職員は当日指定休とし超勤（または振替）対応とする。 |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | 作品展は来館者による人気投票とし、上位各1作品を電子図書館で公開する。令和6年度よりも募集期間を延長する。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館を使った調べる学習小学生講座</li> <li>・図書館を使った調べる学習地域コンクール</li> </ul>   |
| 担当部署・担当者              | サービス二係 児童サービス担当 /全員、レファレンス担当 /全員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座→市内在住または市内の小学校に通う小学生とその保護者</li> <li>・コンクール→市内在住または市内に通勤通学の小中高生及び大人</li> </ul>  |
| 集客予定人数/定員             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座→小学生 各回10組程度（低学年は保護者同伴必須）</li> <li>・コンクール応募作品→小中高生及び大人 50点程度(令和5年度 16点)</li> </ul>   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 当該講座の開催、地域コンクールの実施により、利用者の調べる能力の向上、利便性の向上及び図書館利用の促進を図る。  |
| イベントの内容               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座→小学生を低学年・高学年の2部に分け、疑問に思ったことを図書館にある資料を使って調べ、まとめる方法について、実際に体験しながら学ぶ講座</li> <li>・コンクール→佐賀市内の小中高生及び大人を対象として地域コンクールを実施し、入賞者を表彰するとともに全国コンクールに推薦</li> </ul> |
| 日時・場所                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座→6月(低学年、高学年とも)…多目的ホール</li> <li>・コンクール→6月～8月 過去受賞作品展示 7月 募集開始<br/>10月 審査会 11月 表彰式…多目的ホール</li> </ul>   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○市報 ○図書館ホームページ ○チラシ・ポスター（本館・分館・分室）</li> <li>○市内小中学校校長会における周知（募集要項、申込書の配布）</li> <li>○さがんメールによる全小中学生保護者への周知</li> </ul>                                    |
| 予算                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・報償金(コンクール賞品)：24,000円(3部門)</li> <li>  同じ(出席謝礼)：4,500円/1人×2人=9,000円</li> <li>・消耗品：賞状筒等 5,219円</li> </ul>   |
| 実施体制                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・係長及び児童サービス担当4人・レファレンス担当4人</li> <li>・土、日曜日開催のため、担当職員は当日指定休とし超勤（または振替）対応とする。</li> </ul>  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座における学校図書館司書の協力</li> <li>・コンクール応募における校長・教職員・学校図書館司書等の協力</li> </ul>  |
| (昨年度からの改善点)           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○調べる学習コンクールにおけるモデル校指定については、学校現場における負担を考慮して一旦中断することとし、今後改めて再開を検討する。</li> <li>○令和6年度においても、小中学校校長会やさがんメールでの周知を重点に置いた対応を実施する。</li> </ul>                    |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 「みんなで読もう! オススメ本」  |
| 担当部署・担当者              | サービス二係 / 原口   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 来館者（主に子ども及び保護者を対象とする）   |
| 集客予定人数/定員             | 定員：なし / 期間中の展示資料の貸出点数：50点程度   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | ・県内の著名人が推薦する児童書・絵本と推薦文(POP)を展示することで、自分が読んだことのない著者やジャンルの本に子どもや保護者が興味を持つきっかけをつくる。   |
| イベントの内容               | ・県内の著名人が推薦する児童書・絵本の展示・貸出と推薦文の展示(推薦文は県立図書館から貸借)  |
| 日時・場所                 | R7年3月中旬～5月中旬を予定<br>※年度またぎのイベント、子ども読書週間ポップバルーンを飛ばそう!と同時開催  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ・図書館のInstagramアカウントを使用した広報を行う。<br>・1F児童コーナー横(閲覧室入口付近)で実施するため来館者はイベントに気づきやすい。  |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | サービス二係児童担当で実施する。広報や掲示物の作成にあたっては広報担当にも協力を依頼する。また、展示方法については同時期に行われる「子どもの読書週間 ポップバルーンをとばそう!」と調整を行う。                                      |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | ・佐賀県立図書館から掲示用ポスターの貸借またはデータを提供してもらう。   |
| (昨年度からの改善点)           | ・展示する資料はすぐに借りられてしまう傾向にある。同一著者の資料をすぐに補充するなどして、展示場所に何も資料がない状態を作らないようにすることで、利用者が様々な資料を手にとるきっかけづくりに繋げたい。<br>・推薦者に関する情報やモノ等も可能であれば展示を行いたい。 |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 図書館たんけん隊  |
| 担当部署・担当者              | 総務企画係 / 豊福  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 小学生   |
| 集客予定人数/定員             | — / 定員5人（保護者同伴可）  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 小学生を対象として、佐賀市立図書館を身近に感じてもらうイベントを開催することにより、参加者と保護者に対して図書館のPRを行い、さらなる利用拡大を図る。   |
| イベントの内容               | 一般の来館者が通常は入ることが出来ない館内施設や普段利用している時には気付かない施設の構造物などの秘密について、クイズを出題しながら、探検気分で見学してもらう。また、各クイズの終了時に探検ノートに貼るシールを配布したり、探検が修了した時に、オリジナルスタンプを押してもらうことで、楽しみながら見学してもらい、達成感も感じてもらう。 |
| 日時・場所                 | 6月22日（日）10：30～11：30 / 図書館内施設  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 本館・分館・分室・自動車図書館にチラシ・ポスターの設置、ホームページへの掲載、市内学校へのポスターの配布、市政記者投げ込みによる新聞への掲載、ラジオ等による広報。   |
| 予算                    | なし  |
| 実施体制                  | 広報担当2名、団体貸出または自動車図書館担当1名<br>日曜日の開催となるため、当日指定休の広報担当1名及び団体貸出または自動車図書館担当1名は、超過勤務または振替勤務で対応する。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |   |
| (昨年度からの改善点)           | 参加者が集まりづらいため、イベントの内容が分かりやすいポスターやSNSによる広報を検討する。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 一日こども図書館長   |
| 担当部署・担当者              | 総務企画係 / 豊福  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 小学生   |
| 集客予定人数/定員             | — / 定員2人（保護者同伴可）  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子ども達に図書館長として、図書館施設の見学や仕事を体験してもらうことで、図書館をより身近に感じてもらい、さらなる読書の推進と図書館の利用拡大を図る。また、マスコミの取材により、多くの市民等へ図書館の効果的なPRを行う。 |
| イベントの内容               | 佐賀市の小学校に協力を依頼し、小学生2名を一日図書館長として任命して、来館者等に「こどもの読書週間」や図書館のPRを行ってもらう。また図書館の施設の見学と資料の貸し出しの業務などを体験してもらう。            |
| 日時・場所                 | 4月20日（日）9：45～11：00 / 図書館内施設   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 本館・分館・分室・自動車図書館にチラシ・ポスターの設置、ホームページへの掲載、市政記者投げ込みによる新聞への掲載、ラジオ等による広報。   |
| 予算                    | なし  |
| 実施体制                  | 広報担当2名<br>日曜日の開催となるため、当日指定休の広報担当1名は、超過勤務または振替勤務で対応する。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 佐賀市立小学校   |
| (昨年度からの改善点)           | 多くの利用者へのPRと、貸出カウンター作業体験時などで利用していただけるように、事前のPRや広報の方法を工夫する必要がある。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 夏休み理科自由研究「君を助け隊」  |
| 担当部署・担当者              | 総務企画係 / 豊福  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 小・中学生   |
| 集客予定人数/定員             | ポイント編 定員30名 / まとめ編 先着30名（いずれも保護者同伴含）  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 小中学生の夏休みの理科分野の自由研究について、各専門の講師により指導や助言を行い、また図書館資料での調べ方などを学ぶことで、自由研究に取り組みやすい環境づくりを図ると共に、このイベントを通して図書館の資料等を活用して自ら調べるといった習慣を身につけてもらう。                             |
| イベントの内容               | ポイント編は、自由研究の目的やテーマの決め方などの基本的な内容について指導や助言を行う。また、図書館の職員が資料の探し方の説明を行い、テーマの方向付けの支援を行う。まとめ編は、採集した昆虫等の標本や本等で調べても分からなかった点などの解説、また、研究のまとめ方などについて各専門分野の講師が個別に指導や助言を行う。 |
| 日時・場所                 | ポイント編 7月20日（日）14：00～16：00<br>まとめ編 8月17日（日）14：00～16：00 / 本館2階多目的ホール  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 本館・分館・分室・自動車図書館にチラシ・ポスターの設置、佐賀市内小中学校へチラシ等の配布、ホームページへの掲載、市政記者投げ込みによる新聞への掲載、ラジオ等による広報。  |
| 予算                    | 催事等開催運営委託料 42,000円×2回＝84,000円   |
| 実施体制                  | 広報担当2名、団体貸出担当1名<br>日曜日の開催となるため、当日指定休の広報担当1名及び団体貸出担当1名は、超過勤務または振替勤務で対応する。  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 佐賀県科学団体連絡会  |
| (昨年度からの改善点)           | 図書館で理科の自由研究についてのイベントを開催していることを広くPRするために、夏休み前から1階に関連展示コーナーを設置し、SNSでの開催の様子など早めの広報活動を行う。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【大和館】こどもの読書週間イベント <図書館で人生ゲーム>   |
| 担当部署・担当者              | 大和館 / 姉川、藤木、山口、堤  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 市民 ※中学生まで   |
| 集客予定人数/定員             | 210人程度 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 子どもの読書意欲を高め、今まで読んだことのない本を手にするきっかけにする。また、図書館を利用する頻度の少ない大人や子どもに図書館を身近に感じてもらうきっかけとする。  |
| イベントの内容               | 本を借りて、サイコロをふる。<br>サイコロの出た数でマスをすすみ、ゴールを目指す。<br>参加者にはプレゼントがある。  |
| 日時・場所                 | 4月25日（金）～5月11日（日） 大和館内  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ配布、館内にポスター掲示</li> <li>・図書館HP及び大和館ブログによりPR</li> <li>・大和館カウンターでのPR</li> <li>・公民館だより（春日公民館、春日北公民館）掲載</li> </ul> |
| 予算                    | 無し  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 無し  |
| (昨年度からの改善点)           | イベント開始曜日を火曜日としていたが、イベントの前半は子どもたちの来館が少なかったため今回から開始曜日を金曜日に変更する。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【大和館】夏休み小学生司書のお仕事体験   |
| 担当部署・担当者              | 大和館 / 山崎、堤、姉川   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 小学生4、5、6年生（大和町小学生優先）  |
| 集客予定人数/定員             | 4人  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | こどもの成長に役立つ図書館としてこどもが図書館や本への興味を持つきっかけづくりを目的とする。図書館の司書がどんな仕事をしているか、様々な種類の仕事を体験してもらい、仕事の楽しさ、大変さ、やりがいを感じ、図書館への興味・関心を持ってもらう。                                 |
| イベントの内容               | 夏休みを利用して小学生に貸出、返却などのカウンター業務のほか書架整理など司書としての仕事を体験してもらう。   |
| 日時・場所                 | 1日目 8月6日（水）大和館内<br>2日目 8月7日（木）大和館内  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ配布、館内にポスター掲示</li> <li>・図書館HP及び大和館ブログによりPR</li> <li>・大和館カウンターでのPR</li> <li>・公民館だより（春日公民館、春日北公民館）掲載</li> </ul> |
| 予算                    | 不要  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | 1日目に1人が失念してキャンセルしたため、今年度から前日に電話連絡して参加を促すこととする。開館前の書架整理は、一部を前日に行うこととする。後日、体験の様子をA4にまとめたものを渡したい。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【東与賀館】夏休みイベント   |
| 担当部署・担当者              | 東与賀館 / 古賀み、古賀れ、鍋島、蒲原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 利用者カードを保有する中学生以下の子供   |
| 集客予定人数/定員             | 200人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 本や図書館に関するクイズを週替わりで掲示し、クイズ形式で楽しみながら図書館について理解を深め、親しみを持ってもらう。  |
| イベントの内容               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント台紙や館内に掲示した「お題」に挑戦してもらい、正解した子どもにシールを1コ付与。</li> <li>・シールを集めていく段階でその数に応じてプレゼント（折り紙や雑誌付録等）を進呈。</li> </ul> |
| 日時・場所                 | 7月中旬～8月下旬・東与賀館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内ポスターの掲示</li> <li>・図書館ホームページに掲載</li> <li>・東与賀館カウンターでの声かけ</li> </ul>                                      |
| 予算                    | プレゼントの材料代として、消耗品費を使用する可能性あり。  |
| 実施体制                  | 司書  |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | R6年度の参加者数が伸び悩んだため、こどもたちにより親しみやすい企画となるよう努めたい。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【富士館】わくわくスタンプチャレンジ  |
| 担当部署・担当者              | 富士館 / 全職員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 中学生以下   |
| 集客予定人数/定員             | 100人（スタンプカード配布予定人数）   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館への親しみや関心を深めてもらい、子どもたちの利用促進につなげていきたい。また、利用登録を行うきっかけ作りにしたい。  |
| イベントの内容               | 富士館で本の貸出（1日1回まで）につき、カードにスタンプを1つ押し、スタンプを一定数集めるごとに、手作りグッズなどをプレゼントする。読書週間は「わくわくスタンプ ダブルスタンプキャンペーン」を行う。 |
| 日時・場所                 | 通年 富士館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ポスターの掲示（館内、ふれあい広場）、『えほんのもり通信』、『ふじかん小中学生通信』  |
| 予算                    | プレゼントの材料費等を消耗品費から支出する可能性がある。  |
| 実施体制                  |   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |   |
| (昨年度からの改善点)           | 通年のイベントのため、ポスターを常に掲載しておくようにする。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【富士館】ほんの森の春まつり 2025  |
| 担当部署・担当者              | 富士館 / 全職員  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 中学生以下の子ども  |
| 集客予定人数/定員             | 50人程度  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 富士館で子どもたちの読書振興につなげるべく、ほんの春まつりを企画。イベントを通して、図書館への親しみや関心を深めてもらい、今後の図書館サービスのさらなる向上につなげていきたい。                 |
| イベントの内容               | 子供向けに、図書館や本に関するクイズなどを解いてもらう「としょかんクイズ」を行う。参加者にはプレゼントを用意。また、イベント期間中は中学生以下を対象とした「わくわくスタンプダブルスタンプキャンペーン」を実施。 |
| 日時・場所                 | 4月22日（火）～5月11日（日） / 富士館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ポスターの掲示（館内、本館、近隣分館、ふれあい広場、富士町内小学校・保育園）、館報、ホームページ、富士館広報紙4月発行の『えほんのもり通信』、『ふじかん小中学生通信』                      |
| 予算                    | プレゼントに係る費用は消耗品費で対応。  |
| 実施体制                  | 平日も土日も通常の勤務シフト体制で行う。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |  |
| (昨年度からの改善点)           | マンネリ化を防ぐため、内容を一部変更して実施する（旧：ミッション・イン・ライブリー）。「わくわくスタンプダブルスタンプキャンペーン」は好評のため昨年に続き実施。                         |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【富士館】図書館オリエンテーション   |
| 担当部署・担当者              | 富士館 / 尾崎、野中、岡本  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。                   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 富士校小学部 全学年  |
| 集客予定人数/定員             | 80人程度   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館への親しみや関心を深めてもらい、子どもたちの利用促進につなげていきたい。また、来館するきっかけを作りたい。          |
| イベントの内容               | 学校に出向いて佐賀市立図書館の使い方やブックトークを行い、おすすめの本を紹介する。また、おはなし会やイベントの案内を行う。     |
| 日時・場所                 | 7月上旬 富士校小学部   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     |   |
| 予算                    | 交通費   |
| 実施体制                  | 学校と連携して実施時期を決定する。全学年対象であること、また学校で実施するため、実施当日は富士館全員（4名）で対応する必要がある。 |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 富士校 小学部   |
| (昨年度からの改善点)           | 開催日時、担当時間などの打ち合わせを学校側と確実にを行う。                                     |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【富士館】図書館見学  |
| 担当部署・担当者              | 富士館 / 全職員   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。                           |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 富士校小学部2年生及び北山校2年生   |
| 集客予定人数/定員             | 富士校10人程度 北山校6人程度予定数   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館への親しみや関心を深めてもらい、子どもたちの利用促進につなげていきたい。また、来館するきっかけを作りたい。                  |
| イベントの内容               | 館内の見学、ブックポスト、児童からの図書館に関する質問に答える。また、おはなし会やイベントの案内を行い、時間があれば大型絵本などを読み語りをする。 |
| 日時・場所                 | 未定／富士館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     |   |
| 予算                    |   |
| 実施体制                  | 学校と連携して実施時期を決定し、必要があれば担当者のシフト変更にて実施する。                                    |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 富士校小学部及び北山校   |
| (昨年度からの改善点)           | 学校と事前に日程、時間配分、事前質問などを打ち合わせをしておく。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【川副館】こどもの読書週間イベント「こども読書ビンゴ」  |
| 担当部署・担当者              | 川副館 / 全職員  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 利用カードを持つ、中学生までの子ども   |
| 集客予定人数/定員             | 50人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | こどもの読書週間にあわせて実施。このイベントをきっかけに、子どもたちに図書館利用の楽しさを感じてもらおう。また、本への興味を促し、川副館の利用増を目的とする。カード未登録利用者への新規登録も促したい。 |
| イベントの内容               | 読書に関する項目のビンゴカード用意、貸出本に対してスタンプを押印。ビンゴのそろった列数に応じて景品をプレゼント。   |
| 日時・場所                 | 4月8日～5月10日 佐賀市立図書館川副館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 川副町内小・中学校、川副児童館、川副地区4公民館へのポスター掲示。南川副公民館だより。図書館ホームページへの掲載。  |
| 予算                    | 不要   |
| 実施体制                  | 司書   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | カウンターで参加の声かけを行う。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【三瀬館】こどもの読書週間イベント 本を借りてプレゼントをもらおう                           |
| 担当部署・担当者              | 三瀬館 / 石橋,北古賀,中島   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。             |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 期間中に三瀬館で本を借りた方（高校生まで）                                       |
| 集客予定人数/定員             | 80人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | こどもの読書週間に合わせ、子どもたちの図書館利用を増やし、読書促進のきっかけをつくる。                 |
| イベントの内容               | 期間中三瀬館で本を借りたら、図書館職員手作りのグッズや雑誌付録をプレゼントする。                    |
| 日時・場所                 | 春の子ども読書週間期間（4月23日～5月12日）に合わせて開館日等考慮してイベント日程を決める。・三瀬館内       |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 図書館HP（三瀬館からのお知らせ）三瀬館だより、三瀬公民館だより、チラシ（三瀬保育園、三瀬小、三瀬中、北山東部小）配布 |
| 予算                    | プレゼント製作の材料代として消耗品費を使用する可能性がある。                              |
| 実施体制                  | -   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし  |
| (昨年度からの改善点)           | 新年度が始まったすぐのイベントなので、前年度からしっかり準備、広報し、新規の利用者増につなげていきたい。        |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 【三瀬館】2025夏 読書がんばりカード  |
| 担当部署・担当者              | 三瀬館 / 石橋、北古賀、中島   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 主に三瀬小・北山東部小の児童、それ以外の幼児、児童   |
| 集客予定人数/定員             | 50人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 夏休み子ども達に、図書館に足を運んでもらうきっかけをつくる。  |
| イベントの内容               | 三瀬小・北山東部小の児童には学校司書を通してがんばりカードを配ってもらう。それ以外の児童、幼児には図書館で配布する。貸出をしたら、日付にシールを貼っていき、多く集めた子どもには図書館で作成した賞状と記念品を贈呈する。参加賞も準備する。 |
| 日時・場所                 | 7月学校の終業式の日から夏休み終了日まで 三瀬館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 三瀬小、北山東部小には事前にカードを配布する<br>図書館HP（三瀬館からのお知らせ）、三瀬館だより、三瀬公民館だより   |
| 予算                    | 記念品の製作の材料代として消耗品費を使用する可能性がある。   |
| 実施体制                  | 夏休みが短縮された場合は夏休みを中心とした日程にする。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 三瀬小学校、北山東部小学校   |
| (昨年度からの改善点)           | 学校との連携がうまくいこう事前に学校司書との打ち合わせが必要。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【三瀬館】図書館見学   |
| 担当部署・担当者              | 三瀬館 / 石橋、北古賀、中島  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 三瀬小学部2年生   |
| 集客予定人数/定員             | 10人程度 小学2年生予定数   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 図書館への親しみや関心を深めてもらい、子どもたちの利用促進につなげていきたい。また、来館するきっかけを作りたい。                                     |
| イベントの内容               | 館内の見学、ブックポストや閉架書庫など普段は入れない所も紹介し、児童からの図書館に関する質問に答える。また、おはなし会やイベントの案内を行い、時間があれば大型絵本などを読み語りをする。 |
| 日時・場所                 | 6月頃／三瀬館  |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     |  |
| 予算                    |  |
| 実施体制                  | 学校と連携して実施時期を決定し、必要があれば担当者のシフト変更にて実施する。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 三瀬小学校  |
| (昨年度からの改善点)           | 三瀬公民館と合同見学である場合は、学校及び三瀬公民館と事前に時間配分を打ち合わせをしておく。   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【久保田館】スタンプラリー（春と夏のイベント）  |
| 担当部署・担当者              | 久保田館 / 小松、内田、篠原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。                                  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 幼児～中高生の子ども   |
| 集客予定人数/定員             | 延べ180人 / 定員なし  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 春休みと夏休みの期間中になるべく多くの本を手にとってもらい、読書を楽しんでほしい。<br>継続的に図書館を利用する習慣づけのきっかけとしたい。          |
| イベントの内容               | イベント期間中にスタンプラリーを実施する。読書に関するお題やミッションをこなすとスタンプが集まり、スタンプの数に応じてプレゼントがもらえる。           |
| 日時・場所                 | 春：2月中旬～3月末、夏：7月中旬～8月末・久保田館   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 館内ポスター掲示<br>思斉館小学部・中学部図書室・児童センターへポスター配布<br>佐賀市立図書館HPにてお知らせ<br>館報「くぼたかんだより」にてお知らせ |
| 予算                    | プレゼントの内容により消耗品費にて工作用品を購入   |
| 実施体制                  | 担当司書3名   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | なし   |
| (昨年度からの改善点)           | なし   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | 【久保田館】こどもの読書週間イベント   |
| 担当部署・担当者              | 久保田館 / 小松、内田、篠原  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 幼児～中高生の子ども   |
| 集客予定人数/定員             | 80人 / 定員なし   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 読書体験をアウトプットし、共有する楽しみを知ってもらいたい。また、他者のおすすめ本を目にすることで、読書の幅を広げてほしい。                             |
| イベントの内容               | こどもの読書週間に合わせ、おすすめの本を紹介するPOPを作成してもらう。POPは館内に掲示する。POPを作成してくれた子には粗品をプレゼントし、次回イベントへの参加意欲を促進する。 |
| 日時・場所                 | 4月中旬～5月中旬・久保田館   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | 館内ポスター掲示<br>思斉館小学部・中学部図書室・児童センターへポスター配布<br>佐賀市立図書館HPにてお知らせ<br>館報「くぼたかんだより」にてお知らせ           |
| 予算                    | プレゼントの内容により消耗品費にて工作用品を購入   |
| 実施体制                  | 担当司書3名   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     |  |
| (昨年度からの改善点)           | なし   |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |  |
|-----------------------|--|
| イベント名称                | ①読み語り講座、②読み語り講座（赤ちゃんへの読み語り）  |
| 担当部署/担当者              | サービス二係 児童サービス担当 / 寺下、内山  |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ②子どもの成長に役立つ図書館   |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性③：子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。  |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 住所、年齢、性別は問わず、おはなしボランティアとして活動をしている人、子育て中の人や読み語りに興味がある人。   |
| 集客予定人数/定員             | ①40名程度、②40名程度  |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 読み語りに興味がある人やおはなしボランティアとして活動をしている人、子育て中の人に参加してもらい、子どもへの読み語りの必要性や基礎的知識を学ぶ。読み語りを通して子どもの心を育て、本に親しむ環境を作ることを目指す。       |
| イベントの内容               | 子どもを対象とした絵本の読み聞かせ方法、選書などについて講師を招いて講演、実演を行う。  |
| 日時・場所                 | ○10月～11月（予定）（①②各1回講座）<br>○佐賀市立図書館2階 多目的ホール   |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | ○市報 ○図書館ホームページ ○ポスター・申込用紙(本館・分館・分室)<br>○必要に応じ市の広報ラジオ・さがんメールなど、その他の広報手段も用いる。<br>○講座の内容に応じて市内小学校・保育園等にポスター・申込用紙を配布 |
| 予算                    | ・報償費（講師謝礼） 6,000円×2h×1人×2日＝24,000円<br>・費用弁償（講師旅費） 3,300円×2日＝6,600円   |
| 実施体制                  | 講師は外部に依頼予定。児童サービス担当2名。日曜日開催のため、担当職員は当日指定休とし超勤（または振替）対応とする。   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | ・おはなしひろばの会、すばなしの会  |
| (昨年度からの改善点)           | 令和6年度は、小学生への読み語りと赤ちゃんへの読み語りの2回開催した。アンケートで実技指導を希望するものもあったため、講師と相談し検討したい。読み語り身近な存在になるような講座にしたい。                    |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

## R7年度イベント企画書

|                       |   |
|-----------------------|---|
| イベント名称                | 対面朗読ボランティア初級養成講座  |
| 担当部署/担当者              | サービス一係 ハンディキャップサービス担当 / 瀧   |
| 関連するサービス計画の基本目標       | ③多様な人々が集う図書館  |
| 関連するサービス計画の方向性        | 方向性②：日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。   |
| 対象 ※できるだけ具体的に         | 受講後対面朗読ボランティアを行うことができる人   |
| 集客予定人数/定員             | 講座参加者20名/定員   |
| 目的<br>※何をどのような状態にしたいか | 活字資料の利用が困難な利用者の希望に対し資料をその場で朗読するサービスを、継続して提供するために必要なボランティアを養成する。<br>活動維持に必要なボランティアの人数を一定数以上確保するため、定期的（年1回）に講座を開催する。                              |
| イベントの内容               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者への対応（声掛け、案内の仕方など）を学ぶ</li> <li>・朗読の仕方（発声、イントネーション等）を学ぶ</li> <li>・図書館での対面朗読サービスについて学ぶ など</li> </ul> |
| 日時・場所                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月、土曜日の2時間（10:10～12:10）×4回を予定</li> <li>・佐賀市立図書館本館2階大集会室</li> </ul>                                     |
| 広報手段<br>※対象に対し適切か     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市報</li> <li>・図書館ホームページ</li> <li>・チラシ・ポスター（本館）</li> </ul>  |
| 予算                    | 読書活動支援経費<br>報償金（講師謝礼） ¥ 28,000  |
| 実施体制                  | 講師は外部に依頼。視覚障がい者のため当日は送迎を行う。<br>ハンディキャップサービス業務担当職員は超過勤務または振替対応   |
| 協働する部署・団体・ボランティア等     | 佐賀市立図書館対面朗読ボランティア   |
| (昨年度からの改善点)           | ・受講期間中に貸出をしているテキスト「音訳マニュアル」の使用、活用方法を知りたいとの意見があったため、次回は対応を検討する。  |

※目的達成のために適切な手段が取れているか、しっかり検討を行ってください。

※昨年度と同様のイベントを行う場合は、昨年度の反省を基に改善する点を記入してください。

# SAGA LIBRARY PARK(佐賀市立図書館大規模改修) 基本設計ゾーニング(素案)

## 1. 基本設計の考え方

### 佐賀市の未来を育む図書館

- ・人が集まり、まちに賑わいを生み訪れる人の体験を豊かにする地域の交流拠点にします
- ・周辺環境と一体的に感じられるようにします
- ・30年先も魅力的な場所であり続けます

### これからの時代に求められる居場所(サードプレイス)

- ・利用者の多様な居場所をつくります
- ・安心してすごせる場をつくります
- ・「本を好きになるきっかけ」を生み出す場所にします

## 2. 基本構想・基本計画を踏まえた「市民の声」への対応

### 〈屋内〉

- ・自由にのびのびと過ごせる空間をつくります
- ・様々なイスやベンチを配置します
- ・子どもを連れて過ごしやすい環境を整えます
- ・バリアフリーに配慮した動線を整備します

### 〈屋外〉

- ・出入口の変更などにより、公園と図書館の行き来を行いやすくします
- ・北駐車場からの利便性を向上させます
- ・公園側エリアでの屋外イベントへの環境整備を行います

## 3. 1階と2階の考え方

### 空間特性を踏まえ、1階2階に最適な機能を配置

#### 1F これからの時代に求められる図書館を育むサードプレイス的な場所

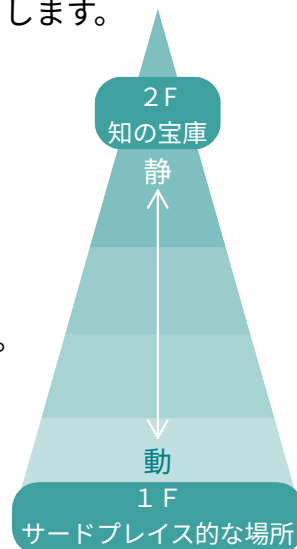
公園や外部の環境と隣接する1階は、周辺とつながり賑わいのある空間をつくります。多様な人が自由に集い、のびのびと過ごせる「サードプレイス的な場所」とします。

- ・本だけでなく、モノやコト、人と出会える場
- ・様々な体験を通して、図書館を訪れる、本に興味を持つきっかけを生み出す場

#### 2F これまでの図書館の魅力を引き継ぐ知の宝庫

静かな環境をつくりやすい2階は、集中して本と向き合える空間とします。本を中心としたフロアにし「知」の宝庫としての役割を担います。

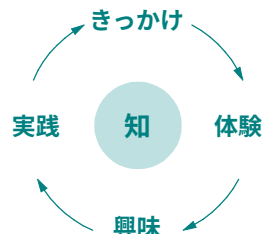
- ・これまでの利用者も初めての利用者も親しみやすい空間をつくる。
- ・選書やレファレンスの充実。



### 本を好きにさせてくれる「知」を創り出す配置

中心となる「知」を創り出す、4つの要素を取り入れたゾーンを配置します。

- 〈きっかけ〉 多様な情報、本に興味を持つ「きっかけ」や人と出会う
- 〈体験〉 きっかけから生まれるひらめきや考え、「体験」や活動を育む
- 〈興味〉 考えや活動を発表し「興味」を持つ
- 〈実践〉 本から学び「実践」。次の興味へと繋げる



# 4. ゾーニングの考え方

## 1階 これからの時代に求められる図書館を育む(サードプレイスのな場所 = 人の集まり)



## 2階 これまでの図書館の魅力を引き継ぐ(知の宝庫)



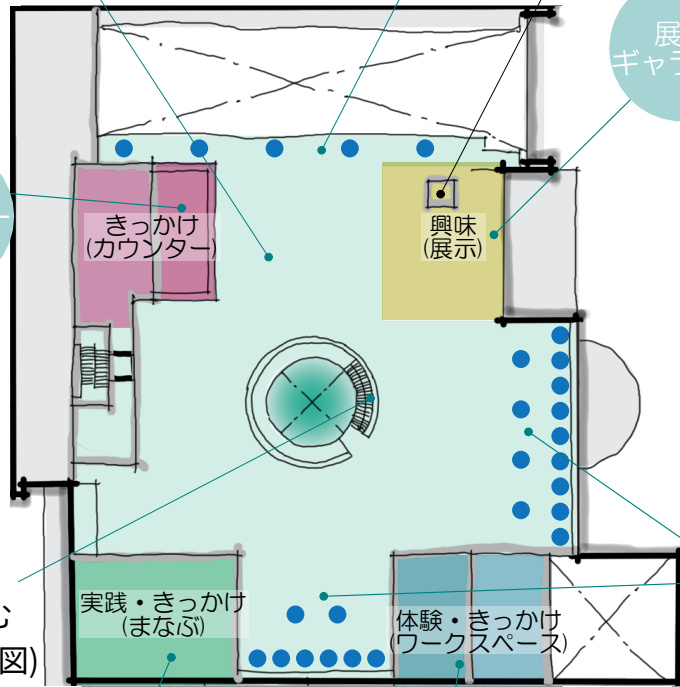
様々な居場所  
書架や様々なイスやベンチを配置



開放的な読書空間  
吹抜け沿いに座席を設け、開放感のある心地よい空間を創出



カウンター



エレベーター



展示ギャラリー

市民の学習の成果を展示



公園側

らせん階段周囲に座席を設け柔らかな光がさし込む空間を創出(P4：イメージ図)

実践・きっかけ(まなぶ)

体験・きっかけ(ワークスペース)

開放的な読書空間  
窓際にイスやベンチを配置



学びを深める場



ワークスペース



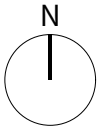
緑を眺めながら、穏やかにくつろげる空間



学習や読書に集中できる静かな空間



グループ学習やテレワーク複数人でのミーティングが可能なスペース



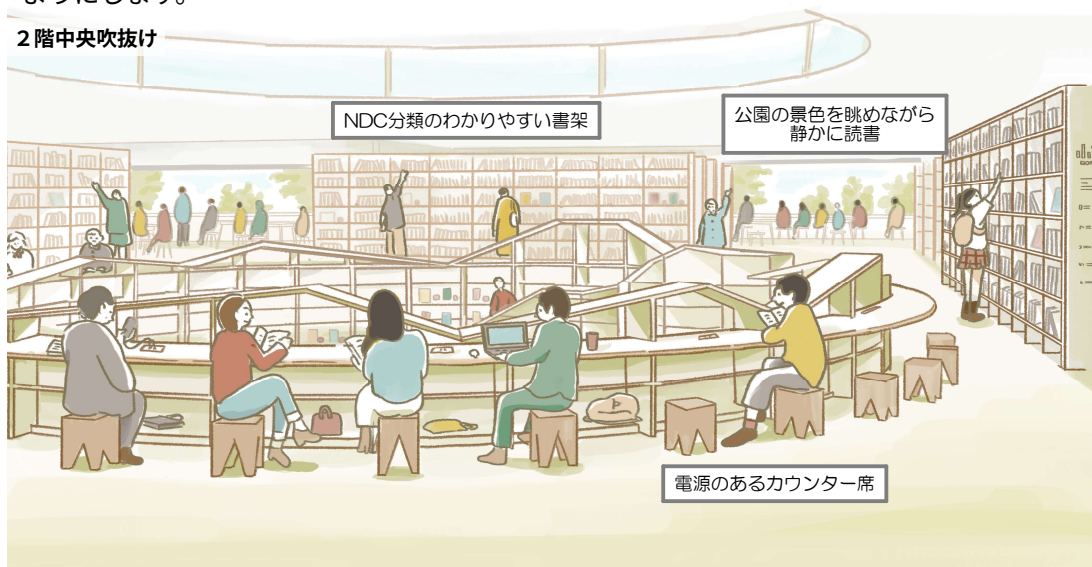
# 1階・2階のイメージ(らせん階段周辺)

1階の中心部から2階を眺める風景



1階の中心部は、既存の円形吹抜を活かし、2階への動線を設け、自然と2階に足を運べるようにします。

2階中央吹抜け



2階は、整然と並べられた書架の間から、豊かな周辺環境を望める空間とします。グループワークや座席を十分に設け、読書・学習のための環境を整えます。

## 図書館と公園の繋がり



美しい木々は心を和ませてくれます。館内から臨めるよう窓側にイスやベンチを配置します。

にぎわいを生む様々なイベントが実施しやすくなるような環境整備を行います。

公園での利用を想定してイスの貸出等を行い、図書館と公園の一体的な利用を生み出します。

# 令和6年度第1回佐賀市立図書館協議会 議事録

開催日時: 令和6年9月11日(水) 11時00分~12時00分

開催場所: 佐賀市立図書館2階 多目的ホール

出席者: 【委員: 10名】

白根会長、家永委員、荒木委員、大塚委員、原田委員  
梅崎委員、高原委員、井上委員、福田委員、堀川委員

【事務局: 7名】

八谷館長、江里ロサービス一係長、中島サービス二係長、  
大塚諸富分館長兼川副分館長、江頭東与賀分館長兼久保田分館長、  
副島富士分館長兼三瀬分館長、協議会担当 矢ヶ部

【傍聴者: 2名】

## 1. 開会

## 2. 館長挨拶

皆さんこんにちは、館長の八谷でございます。本日は、ご多用の中、ご出席いただき、ありがとうございます。

図書館では、「市民とともに育つ図書館づくり」を基本理念として、図書の充実はもちろんのこと、教育・文化・生涯学習の拠点として、市民の学ぶ意欲や探求心に応えるとともに、読書や本を通して、子どもの成長や豊かな人づくりに取り組んでいるところでございます。

さて、令和5年度の利用者は38万人と、コロナ以降徐々に増えてきており、利用者アンケートでは、約9割の方が満足されている状況です。今後も市民の身近な図書館としてサービスの向上に努めていきたいと考えております。

また、「大規模改修事業」につきましては、市民アンケートや街頭ヒアリング、若者からの意見など、多くの市民の皆さんの意見を反映した基本構想・基本計画が出来上がりました。今後は、この構想・計画を具現化するために進めてまいりたいと考えています。

本日は、図書館が実施しております様々な事業について、皆様方からご意見をいただき、サービスのさらなる充実につなげていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

## 3. 副会長選出

・立候補・他薦なし。事務局案を提案し、家永委員が副会長となることで委員の承認を得た。

## 4. 協議会

### (1) 会長挨拶

(白根会長)

皆様、お忙しいなか、また暑いなかご参加いただきありがとうございます。ChatGPTやAIが非常に発達し、簡単な情報が簡単に手に入るような状態になりましたが、一方で、SNSなどを介して、誤った情報、偽の情報も沢山押し寄せてくる時代になりました。そんな時代だからこそ、図書館の存在というのが大変重要なのではないかと思います。押し寄せてくる様々な情報のなかから、自分が生きて

いくうえで生活していくうえで、どの情報が役に立ち正確なのか、見分ける力を身につける、あるいはサポートするという役割を図書館は担っていると思うので、図書館の存在はこれからますます重要になってくるはずですが、ちょっと違った方向も見えつつあるのが残念です。

佐賀市立図書館は大規模改修という大変な事業を控えているため、ぜひ委員の皆様から建設的なアドバイスをいただけたらと思っています。よろしくをお願いします。

## (2) 議事

### ①前回協議会報告

#### 【事務局からの説明】

##### (事務局)

- ・前回協議会は、令和6年3月21日に開催された。
- ・議題については、「前回協議会報告」、「令和6年度佐賀市立図書館事業計画について」であり、内容は、別紙議事録のとおりである。
- ・前回の協議会でいただいた意見への対応状況については、協議会資料の4ページから5ページに記載している。

##### (1) 外国語の利用案内について

- ・タガログ語版の利用案内が完成したため、市の国際課、佐賀県国際交流プラザ、佐賀大学等に、日本語版と複数の外国語版の利用案内の設置依頼を行っている。

##### (2) 電子図書館システムの学校への広報について

- ・昨年度は校長会、佐賀市教育情報化推進リーダー研修会で、システムの紹介と活用をお願いを行った。また、特別支援学級での活用をお願いした神野小学校には、個別に訪問して説明をした。
- ・今年度は、利用状況の把握と周知を目的に、教員及び学校司書に対してアンケート調査を行った。現在集計中だが、横展開できる活用事例があれば、他自治体の事例とあわせて各学校に周知していきたいと考えている。また、兵庫小学校に個別訪問し、教職員に説明を行った。

##### (3) 館内案内の多言語/やさしい日本語対応について

- ・トイレの緊急呼び出しボタンを流水ボタンと勘違いされることが多いため、“ふりがな”と“英語表記”を行った。また、児童コーナーの掲示物については、内容がわかりづらいものから“やさしい日本語”での表記に変更していく予定である。

- ・継続対応中の案件については、協議会資料の5ページから6ページに記載している。前回から対応状況の変更点はないため、説明は省略する。

- ・大規模改修に関する意見については、協議会資料の6ページから7ページに記載している。
- ・展示スペースやボランティア、子どもの利用など、また施設設備に関するもの、ソフト面に関する要望などに意見をいただいております。大規模改修において十分考慮し、検討しながら事業に取り組む。

## 【質疑・意見】

(質疑・意見なし)

### ②令和5年度の図書館事業報告について

#### 【事務局からの説明】

##### (事務局)

- ・別冊の「令和5年度佐賀市立図書館事業計画の実施報告」に沿って説明する。
  - ・まず「第3次佐賀市立図書館サービス計画の成果指標」について、令和5年度の目標と実績、そして「第3次佐賀市立図書館サービス計画」が満了する令和7年度の目標値を記載している。
  - ・「佐賀市立図書館のサービスが充実していると思う市民の割合」については、教育委員会が市民を対象に毎年実施しているアンケート調査によるものであり、次の「佐賀市立図書館のサービスに満足している利用者の割合」は、実際に図書館に来館された方に対するアンケート調査によるものである。
  - ・「佐賀市立図書館のサービスが充実していると思う市民の割合」は目標値には達していないものの、下段の「佐賀市立図書館のサービスに満足している利用者の割合」は目標値を大きく上回っている。これは新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々なサービスを再開したことが満足度向上につながったのではないと思われる。
  - ・次の「令和5年度の重点事業」については、後ほど説明する。
  - ・「令和5年度の事業実施にかかる留意点」について、電子図書館システムの試験導入や本館の大規模改修、図書館情報ネットワークシステムの更新など、影響範囲やボリュームが大きな事業、また複数年にまたがる事業があったため、図書館だけでなく、市役所の他の部署との情報共有や連携を図りながら事業を実施した。
  - ・2 ページから 5 ページには「第3次佐賀市立図書館サービス計画」に掲げる4つの基本目標の達成状況を記載している。
  - ・基本目標の一つ目は「個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館」、二つ目は「子供の成長に役立つ図書館」、三つ目は「多様な人々が集う図書館」、四つ目は「市民と共に変革を進める図書館」。以上の4つの目標を掲げている。
- #### 「個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館」
- ・「市民の図書館利用登録率」は毎年伸びているが、「貸出サービスを利用した市民の数」と「市民一人あたりの貸出点数」は減少している。これは新型コロナウイルス感染症が蔓延していた令和2～4年頃は、自宅生活のために貸出が一時増加したものの、その制約がなくなったことで、貸出面の利用ではなく館内で過ごす利用者が増加したためと推察している。
  - ・なお、図書館本館来館者数は、前年度と比べて1万5千人増えており、令和2年度と比べると5万5

千人増えている状況である。

### 「子どもの成長に役立つ図書館」

- ・その他の指標の令和5年度実績値が空欄となっているが、数値の確認が取れたので申し上げる。  
「子どもに本を読んであげている家庭の割合」は 93.0%、「学校の授業時間以外に読書をする小学生の割合」は 77.8%、「学校の授業時間以外に読書をする中学生の割合」は 67.9%である。
- ・成果指標については、前年度を下回る結果となっている。

### 「多様な人々が集う図書館」

- ・成果指標は前年度を上回っている。先に述べたとおり、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々なサービスを再開したことが満足度向上につながったのではないと思われる。

### 「市民と共に変革を進める図書館」

- ・上段の「各年度の事業計画の目標達成率」については、目標に対して実績が大きく下回っている。これは、設定している目標値が新型コロナウイルス蔓延前の数値をベースにしていること、新型コロナウイルス感染症の5類移行により様々な事業を再開させたものの、まだまだ回復には至っていない状況にあることが原因だと考えている。
- ・下段の「図書館ボランティアの満足度」については、前年度から10%以上上昇している。図書館は、読み聞かせ、対面朗読、美化活動など様々なボランティアの皆様によって運営を支援いただいているが、中止していた活動が再開できたことによるものかと思われる。

- ・次に、令和5年度に重点的に実施した事業について各担当が報告・説明する。

### 『電子図書館システム試験導入事業』

- ・この事業は、「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの拡充」と「行政資料・郷土資料・市民の学習成果等の整理公開」を目的に、子どもを主なサービスの対象として電子図書館システムの試験運用を行うものである。令和4年度にシステムを構築しており、令和5年6月から令和7年5月までが試験運用期間となっている。令和5年度はサービス開始の初年度だったが、予定どおりに6月2日にサービスを開始した。
- ・サービスの開始にあたっては、子ども達や学校での利用を促進するため、図書館の利用登録がなくても電子図書館が利用できるように、佐賀市立の小中学校に通学している児童生徒と教職員には専用のアカウントを発行した。このアカウントは、一人一台端末にログインする時と同じID・パスワードで利用することができる。また、一人一台端末のデスクトップにも電子図書館システムへのショートカットを配信している。
- ・学校への広報のため、令和5年5月の校長会、6月の佐賀市教育情報化推進リーダー研修会で電子図書館の概要や使用方法について説明したほか、神野小学校には教職員向け研修に職員を講師として派遣した。
- ・蔵書数と利用状況については、令和5年度末時点で、蔵書数は1,062点、資料の閲覧回数は、の

べ10,999回となっている。このうち約7割が子ども達による利用である。

- ・この事業については令和6年度も引き続き重点事業として実施している。課題や今後の方向性については、令和6年度重点事業の説明の際に説明する。

#### 『(本館大規模改修事業)本館改修工事』

- ・図書館本館は開館から30年近く経過し、改修の時期を迎えている。今回の改修は「単に建物機能の原状回復を目的とするのではなく、市民の様々な意見や声を反映させて、新しい体験を創る場をしたい」という市長の思いから、メインコンセプトを「佐賀ライブラリーパーク」と定めて、「図書館なのに公園みたいに過ごせる場所」という考え方で進めることとした。
- ・令和5年度は、この「ライブラリーパーク」というメインコンセプトに基づく、大規模改修の基本構想・基本計画の策定に取り組んだ。
- ・アンケート調査や街頭インタビューなどによる市民ニーズ調査では、「子どもを見守りながら、子育てや趣味の情報を得たい」「コーヒーを飲みながら、たまには図書館でテレワークをしたい」「ゆったりとしたスペースでくつろぎたい」「色々なイベントに友達と一緒に来て過ごしたい」など、本だけでなく新しい機能を期待されていることがわかった。
- ・そこで、これまであまり図書館を使用していない方々の来館のきっかけとなる様々な体験を設け、何度も図書館に足を運んでもらううちに、気づいたら本が好きになっている、そんな本を好きにさせてくれる図書館を目指すこととした。
- ・詳しくは基本構想・基本計画をご覧ください。

#### 『図書館情報ネットワークシステム更新事業(R5:システム更新)』

- ・図書館情報ネットワークシステムは、資料の貸出・返却等に利用している図書館の業務システムや、図書館のホームページ、分館・分室と本館を繋ぐネットワーク等を包括したシステムである。このシステムを令和6年1月末に更新し、予定どおり令和6年2月から新システムが稼働している。
- ・利用者から見るところでは、ホームページのデザイン変更、検索・予約等のWebサービスの利便性向上、本館自動貸出機の増設、佐賀市公式スーパーアプリとの連携強化などを行った。そのほか、内部的にはセキュリティの強化などを行っている。

#### 『ビジネス支援・郷土資料分野についてサービスのあり方検討』

- ・これまでも、就労支援情報などビジネスに関する情報や、郷土に関する情報の収集を行ってきたが、大規模改修後における、この分野のサービスのあり方について検討を行う必要がある。現段階では、「基礎的部分」を強化することとしており、大規模改修後を見据えたものにはなっていないが、今後、そこにつなげていくために、引き続き検討を行う。
- ・今後も、豊かな地域づくりや街づくりの役に立つよう、積極的な情報収集と情報提供に努めたい。

#### 『ビジネス支援・郷土資料分野についてサービスのあり方検討』

- ・これまでも学校図書館とのネットワーク化や団体貸出などを行ってきたが、大規模改修後を見据えたサービスのあり方について検討を行う必要がある。令和5年度には方針の決定に至っていない

め、引き続き検討を行いたい。

#### 『外国語での図書館サービス案内作成と館内表示の多言語化』

・市内在住の日本語を母国語としない人達が図書館を快適に利用できるよう、英語以外の外国語による利用案内の設置や館内の主な表示の多言語化を図るもので、令和4年度のベトナム語の利用案内に続き、令和5年度はタガログ語の利用案内を作成した。若干の遅れはあったものの年度内に事業は完了した。

#### 『障がい等により読書が困難な方に対するサービスのあり方再検討』

・令和元年6月に施行された「読書バリアフリー法」を受け、読書が困難な人々に対するサービスのあり方を見直す必要があり、県内また全国の先進地の状況なども参考にしながら、効果的なサービスや資料収集方針について検討を行った。今後、大規模改修も予定されていることから、施設のバリアフリー化を含め、ハンディキャップサービス関係資料や収集方針など、引き続き検討を進めていく。

#### 『業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討』

・人口減少や少子高齢化の進行、公共施設や道路や橋などのインフラの老朽化などにより、行政経営は年々厳しさを増している。図書館運営も例にもれず、限られた人員と予算の中で、市民満足度の高いサービス提供に向けた効率的、かつ効果的な運営が求められている。また、市の自主財源の負担軽減を図るべく、様々な外部資金の獲得の検討も求められている。

・令和5年度は、「図書館情報ネットワークシステム更新事業」により、自動貸出機の増設を行った。また、大規模改修後を見据えた職員会議を重ねて、職員体制等のシミュレーションを行った。

・雑誌スポンサーについては、図書館所蔵の雑誌の購入代金を企業が負担することで、その雑誌カバーの表と裏面に企業の広告を掲載することができるもだが、残念ながら令和5年度の実績はなかった。ただし、「電子図書館システム」において、佐賀銀行の「さぎんSDGs私募債」を通じて株式会社エンターアイから電子書籍を33点寄贈いただいた。引き続き、企業からの支援を得るための努力を行っていきたい。

#### 『講演会等へ参加し職員の資質向上や将来のサービスのあり方検討』

・有識者による講演会や外部研修に積極的に参加することで、図書館司書としての専門知識や技術向上を目指すことを目的としている。

・令和5年度は、概ね予定通りの職員研修の開催や県立図書館主催の研修会への参加を行った。ただし、全国規模の研修会については予算の都合上、参加を見合わせた。

#### 【質疑・意見】

##### (白根会長)

・電子図書館システム試験導入事業のなかで、図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実ということが目的のひとつとなっている。こういった方々の利用がどの程度あったか

というのは把握できているか。

#### **(事務局)**

- ・図書館では利用者の要配慮情報などのデータを持たず、それらと個々の利用IDを紐づけることは行っていないため、利用統計として把握することは難しい。学校の教職員に行ったアンケートの中で、特別支援学級での利用や保健室登校の生徒での利用というような個別の事例は把握している。

### **③令和6年度重点事業の経過報告について**

#### **(事務局)**

##### **『電子図書館システム試験導入事業』**

- ・事業の概要は、令和5年度の図書館事業報告で説明したとおりである。令和6年度はサービス開始の2年目であり、令和7年6月以降の本運用に向けて方針を作成する年でもある。
- ・7月から8月にかけて学校に協力いただいて行った教職員向けのアンケートや学校での利用統計からは、朝の読書の時間や隙間時間などに利用されている学校もある一方で、電子図書館の存在自体を知らなかった教職員の数が5割を超えているなど、学校ごとの周知や活用状況に差があることがわかっている。
- ・教職員や子ども達、保護者に存在を知ってもらえるように、利用が進んでいる学校や先進自治体での活用事例などを紹介しながら広報を進めていきたいと考えている。
- ・また、教職員からの資料に関する要望としては、特に「複数人で同時に閲覧できる資料」「授業での電子黒板への投影が可能な資料」「調べ学習に活用できる資料」に関する要望が多いため、こういった資料の拡充についても取組んでいく。その際、できるだけ国の補助金や外部団体からの寄附などを活用していく予定である。

##### **『大規模改修事業(R6年度:基本構想・基本計画策定、基本設計・実施設計策定)』**

- ・配布資料事業内容の4つ目に「基本設計・実施設計策定事務」と記載しているが、今年度は実施設計を行わないため削除をお願いする。
- ・令和6年度は、まず4月23日から5月31日までパブリックコメントを実施し、基本構想・基本計画に対する意見聴取を行った。そして、設計業務を行うための費用について、市議会8月定例会に補正予算を計上し、可決いただいた。今後は基本設計を行う業者選考を行う。また、改修工事中の仮移転先の調査や リニューアル後のサービス提供のあり方の検討、また様々な体験に向けた建物の利活用に関する民間事業者からの聞き取り調査を実施する予定である。

##### **『学習成果を発表するための取組』**

- ・図書館の役割として、市民の生涯学習のための資料や情報の提供や各種講座等のイベントの開催だけでなく、それらも含め、市民が学んだ学習の成果を発表する機会を提供することも重要であると考えている。
- ・現在、多目的ホールやギャラリー等の館内施設の貸し出しについては、団体に限定して貸し出しを行っているため、個人単位での学習の成果を発表できる機会の提供はできていない。そこで、より

多くの市民に学習の成果を発表できる機会を提供するために、図書館主催による個人の作品を集めた展示会等の開催などを検討していく。

- ・この他に、現在行っている「対面朗読ボランティア初級養成講座」や「読み語り講座」等の事業についても引き続き継続していく。

#### 『視聴覚資料・マンガ資料の収集方針検討』

- ・視聴覚資料もマンガ資料も開館当初より提供を行ってきたが、状況の変化も大きく、今後どのように収集し提供していくのかを見直す必要がある。状況を把握し、収集や提供について、検討を行っていく。

#### 『子どもの利用登録率や貸出点数を増加させるための取組』

- ・子どもたちが読書に親しむ状況を把握するために、登録率や貸出点数を指標としている。子どもたちが図書館や読書に興味・関心を持てるよう、さまざまな取組みを行っている。

#### 『図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組』

- ・『子どもの利用登録率や貸出点数を増加させるための取組』と関連する。子どもたちが図書館や本に親しむためには、保護者の理解が必要だと考えており、図書館や読書について、保護者の理解を促すための取組みを行っていく。

#### 『学校図書館との情報交換や支援のあり方検討』

- ・「令和5年度の図書館事業報告」で説明した事業の継続であり、本年度も引き続き検討を行う。

#### 『高齢者が健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることの検討』

- ・高齢者に対して、図書館の普段の利用の有無に関わらず、健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることについて検討していく。市内の高齢者福祉及び保健・介護に係る各部署、および、保健・医療・介護分野の関係機関、施設等における取組みを調査し、図書館が連携・協力できることを検討していきたい。

#### 『今後の外国語資料のあり方検討』

- ・外国語資料は5,000冊以上所蔵しているが、利用は少ない状況である。必要とされる資料の収集や提供について、検討を行いたい。

#### 『障がい等により読書が困難な方に対するサービスのあり方再検討』

- ・県立図書館が主催する読書バリアフリー研修会に参加しながら、県内の公共図書館のサービス状況等について情報収集している。大規模改修に向けて、県内や全国の先進地の状況なども参考にし、近隣の関係施設とも協力しながら、視覚障害だけでなく、様々な障害により読書が困難な方々に対するサービス内容について検討していきたい。

### 『業務継続性の向上や危機管理に関する取組』

- ・災害時や今後予定する大規模改修期間中やリニューアル後の図書館サービスの提供に影響が出ないよう、図書館本館の電話設備にデジタル技術を活用して、より良いものに変えていくデジタルトランスフォーメーション化や、現在は図書館本館内にサーバーームを設けて管理している図書館情報システムを外部サービスに委託するクラウド化の検討を行っている。
- ・今年度の上半期は、電話設備の更新の調査、検討や、図書館情報システムの外部サービス委託に関する調査を行っており、ほぼスケジュール通りに進めている。

### 『業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討』

- ・「雑誌スポンサー制度を含めた外部資金活用の検討」については、これまでに雑誌スポンサーになっていただいた企業や団体に働きかけを行っており、現時点では実績がないものの、成果に結びつくよう引き続き取り組んでいく。また、あわせて「電子図書館システム」における電子書籍の充実に向けても、企業に支援を得るための働きかけを行っていく。
- ・「外部団体等との協働の可能性」については、西九州大学、NPO法人スチューデントサポートオフィス、NPO法人ポコアボッコが、引きこもりの方や発達障がい児などの社会参加促進に向けた取り組み「園芸を通じてみんなのタネが育つ場所づくり」、通称「タネパラ」の活動場所の提供を開始した。図書館本館の東玄関前で毎週水曜日に活動されている。
- ・「図書館を友とする会・さが」などのボランティア活動との連携や、春と秋に実施される「サードプレイスマーケット」などの賑わいづくりイベントなどとの協働によって、より良い図書館サービスの充実を図っていききたい。

### 『講演会等へ参加し職員の資質向上や将来のサービスのあり方検討』

- ・本年度も概ね予定通りの職員研修の開催や県立図書館主催の研修会への参加行っている。ただし、全国規模の研修会については予算の都合上、参加を見合わせる予定である。

### 【質疑・意見】

#### (委員)

- ・多言語についての資料収集について、具体的にどのような資料を想定しているか？

#### (事務局)

- ・現在割合が多いのは英語である。それ以外の言語についても必要があると考えているが、佐賀市内在住者が使用している言語の割合などについてリサーチして、本として貸出ができるものをまず収集していけるような形を考えたい。

#### (委員)

- ・例えばタガログ語に関する資料を収集するとして、具体的にどのような資料になるか？タガログ語で書かれた日本語紹介の本や日本の文化の紹介に関する本とか、あるいは元々フィリピンで発行されているようなタガログ語で書かれた書籍をイメージされるのか、そういったことを含めてどのような資料を収集されるのか教えていただきたい。

#### (事務局)

・どのくらいの規模で収集するかによって、優先順位が変わってくる。先日NHKの番組で外国出身の方が多く住まれている地域の図書館の館長が話をしていたが、自分の国の言葉の本が一冊でもあるとそれで安心できるということだった。例えば、先ほど委員がおっしゃったような日本の文化を紹介するものも生活していくうえで必要なかもしれないが、例えば母国語で書かれたその国の昔話や絵本など、大人の方でも懐かしく思ってホッとする時間を過ごすことができるかもしれないと思った。まさしくどのような本が必要なのかというところは、担当者も含めてきちんと把握できていない。今までは比較的入手しやすい外国語の資料を集めていたが、何が必要なかをきちんと把握し、どのような資料を収集するか検討を重ねていきたい。

#### (委員)

・前回も申し上げたが、令和5年度に比べて令和6年度は更に事業が多い。限られた予算と人員で運営する大変さもあるし、大規模な事業を抱えているなかで、本当に大変だと思う。

・例えば多言語化を進めるとか、障がい者に対するサービスを進めるなども非常に大事なことだと思うが、例えばすぐそこに「あいさが」がある。「あいさが」や県立図書館などと、もっとお互いに役割分担してよいのではないか。

・この時代の流れのなかで、電子図書館システムの導入も新たな事業として進められているが、前年度は神野小学校にしか訪問していない。そういったところは積極的に職員が行って周知すればよいのではないか。

・事前にいただいた資料を全て読ませていただいたが、図書館の方は真面目で几帳面できめ細かい。先日パブリックコメントを送付したが、わざわざそれに対する回答もいただいた。だからこそ、図書館サービスに満足している利用者の割合が高いのだと思う。そこはもう皆さん充分評価していると思うので、取捨選択やスクラップアンドビルドで事業を進めて貰えればと思う。

#### (事務局)

・県立図書館や「あいさが」なども近隣にあるので、その辺りの住み分けも必要だと考えている。

・ただ、図書館を利用される方を第一に考えていきたいと考えており、大規模改修後の事業のあり方や運営の仕方について、事業の効率化や取捨選択ができるものがあるかなどを詰めていく必要があると考えている。いったん止めてしまうと、今まで楽しみにされていた方が残念に思われ図書館から遠ざかることがないように考えていきたい。

・今後検討が必要なことも数多くあると思うが、協議会には都度報告をさせていただきたい。

#### (白根会長)

・関連のある施設や機関と連携を密にすると同時に、図書館は「みんなの図書館」でもある。どんな状況にある人でも気軽に訪れて過ごせるという施設なので、その辺りも考えながらプライオリティーを決めていけばよいのではないか。

#### ④その他

##### 【質疑・意見】

#### (委員)

・小学校1年生の子どもが図書館で折り紙の本を探す際に、まず自分で探してみて、わからなければ

図書館の人に聞くように伝えた。結局自分では見つけられず、どの人に尋ねてよいか分からなかったということだった。大人の意見としては、カウンターにいる人やエプロンをしている人に尋ねればよいと勝手に思っていたが、子どもからしたらみんな大人で、どの人に聞いたらよいかわからないのだと感じた。これは、障がいのある方や日本語を母国語としない方などにも共通する意見なのかもしれない。

- ・誰に聞いたらよいのか、という案内はとても大切だと思う。困ったときは誰に聞けばよいのか、やさしい日本語で案内があればよいのではないかと思った。

#### (事務局)

- ・子どもや外国籍の方、あまり利用されない方など、どこに聞けばよいか分かりづらいかもしれない。館内の表示等を検討させていただきたい。

#### (委員)

- ・電子図書館について、今後外部の寄附や寄贈などによって充実を図っていくということだったが、佐賀県PTA協議会から佐賀市に今年度5月に多額の寄附を行っている。寄附金の使い道を考えているところだが、全ての児童・生徒のために使うような形で使って欲しい。そのための案として、電子書籍の充実に使っていただけたらと考えている。寄附金が全て電子書籍に回るということではないと思うが、現在の電子図書館の予算規模からすると大きな金額だと思う。
- ・限られた人的資源のなかで、仮に何百万円単位の寄附を使ってくださいとお渡しして、かえってご迷惑になるようなことはないか？

#### (事務局)

- ・迷惑だということは全くない。ぜひお願いしたい。市の予算は毎年厳しくなっており、電子書籍は紙の書籍に比べると割高である。PTAから寄附いただければ、学校での活用も更に進むのではないかと思うし、家庭への周知にも繋がるのではないかと思う。

#### (委員)

- ・もう一点確認で、蔵書数が増えることでランニングコストがあがるようなことはあるのか。

#### (事務局)

- ・システムの使用にかかる基本的なランニングコストが月5万円となっている。このなかで使える容量は決まっているが、電子書籍はそれほどデータの量が大きいわけではないので、かなりの量が増えない限りはランニングコストが上がることはない。

#### (委員)

- ・司書として働いている人たちのことについて、図書館で置かれている立場や意味を注視している。今回の大規模改修にしても、情報を提供する役割である司書が日々の雑務に追われて、予算もないので全国規模の研修に行く機会がないなど、そういうことでもいいのかと疑問である。
- ・きちんと司書として研修を受けて、受けた人は報告を行ってみんなで共有するようにするなど、そういうところに投資をしないでよいのか。図書館員の質の向上は図書館の質の向上につながる。どんなに忙しくても、司書の勉強や学びはとても必要なことだと思うので、そういった予算は死守して欲しい。

#### **(事務局)**

- ・毎月館内整理日に全体研修を行っている。8月には国立国会図書館の方を講師にリモートで研修をする予定だったが、台風の影響で延期となっている。予算がないなかで、司書の資質向上については県の研修なども活用して取組んでいる。また、研修には極力参加をするよう司書にも呼びかけている。毎月の研修については、様々なテーマを設けて資質向上につなげていきたい。

#### **(白根会長)**

- ・司書の研修の機会については、ぜひ充実していただきたい。

#### **(委員)**

- ・大規模改修の建築士は既に決まっているか。テレビを見ていて、佐賀県出身の建築士で非常に感銘を受けた方がいた。図書館のリニューアルを行った際に、建築士がおはなしボランティアの要望を聞く場を設けたりされていた。そういう機会が今回のリニューアルでもあれば参加したい。

#### **(事務局)**

- ・大規模改修の基本設計については、8月議会で予算がついたという状況である。設計者がどこになるかは、今後決定していくものである。その際、意見交換などについても提案はさせていただきたいと考えている。

#### **(委員)**

- ・行きたい図書館にするためには、楽しくないと駄目だと思う。その楽しさというのは、職員の皆さんが自分の楽しさを前面に出せている場所が、楽しい図書館なのだと思う。佐賀市立図書館は、子どものスペースはすごく楽しいと思う。色々工夫されていて、子どもも楽しく利用している。しかし、郷土コーナーや郷土の作家コーナーなど、大人のスペースは少し寂しく感じる。そこには図書館職員の顔などは全然出ていないような気がする。
- ・全ての仕事を同時に同じだけ進める必要はないと思う。皆で話し合い、遅れてもよい仕事、仕訳してよい事業などを整理して、楽しさが出てくるような図書館にしてもらおうとよいと思う。

#### **(事務局)**

- ・職員が楽しく仕事をしていないと、来られるお客様、利用者にもその気持ちが伝わらないと思う。楽しく仕事ができるように、職員にも声掛けを行ったりして協議しながら進めていきたい。業務に追われているというところが、表に出てきてしまっているのではないかと考えている。余裕がないと周りが見えなくなってしまうので、余裕を持った仕事ができるように気持ちを切り替えて取り組んでいけたらと思う。

#### **(委員)**

- ・いつも図書館を利用して非常に満足しているが、10時頃に新聞を読みに行くといつも同じ人が長時間読んでいるので不自由に思うことがある。
- ・大和館と富士館にはよく寄るが、DVDを借りる際、本館と違って緑の付箋をカウンターに持って行く形になっている。そのため、現在借りられているDVDについても書架でパッケージを見て、どんな資料があるか確認することができる。大規模改修の際にでも、プリントでもよいので一覧が確認でき

るようになればよいと思った。

**(事務局)**

- ・新聞を目指して開館と同時に駆け込んで来る利用者は確かにいる。担当職員としては、皆さんに見ていただきたいので、お互いに譲りあいながら利用してもらうよう表示している。しかし、一人一人で読むスピードや利用の仕方が違うため、読むのに時間がかかる利用者もいる。同じ新聞を複数用意するのは難しいため、そういった状況である。
- ・パッケージの画像などは見ることができないが、視聴覚資料のリストは現在も用意している。分館のように空ケースを書架に置き本体はバックヤードで保管する方法と、本館のように本体を書架に並べる方法があるが、前者の場合は本体を保管する場所が必要になる。そのようなスペースの確保が難しいため、開館当初から現在の形をとっている。

**(白根会長)**

- ・他に意見や質問がなければ協議会を終了したい。本日の議事についてはこれで承認として良いか。
- ・特にご意見がないようなので、これで承認としたい。

**(事務局)**

- ・次回の図書館協議会は、令和7年2月頃を予定している。日程等詳細が決まり次第、連絡を行う。